
第 19 回
八潮市市民意識調査
報告書

令和 7 年 1 月
八潮市

はじめに

本市は、「共生・協働」「安全・安心」をまちづくりの基本理念として掲げ、市民の皆様が八潮市に住むこと、住み続けることを誇りに思える「住みやすさナンバー1のまち 八潮」を目指してまちづくりを進めております。

令和6年1月には、新庁舎が開庁しました。この庁舎は災害に強く、また、環境にも優しい構造となっており、環境に配慮した施設の認証となる「ZEB Ready」を県内庁舎で初めて取得しました。庁舎の2階には、さまざまな市民活動や交流の場として活用できる「サークル広場」を整備しており、たくさんの人々が集い、賑わう新たなまちづくりの拠点となるものと期待しています。

また、令和6年3月から、つくばエクスプレス八潮駅が快速列車の停車駅となり、市民生活の利便性が一層向上するとともに、まちづくりの更なる発展に寄与するものと考えております。

今回の市民意識調査は、現在の市民の皆様の生活意識や市政への要望および評価の実態を把握するとともに、生活に関わりがある項目を設問事項に取り入れ、ご意見を伺わせていただきました。

皆様から賜りました貴重なご意見やご要望につきましては、今後の市政運営の基礎資料として、有効に活用してまいります。

結びに、ご多用にもかかわらず、この調査にご協力いただきました市民の皆様にご心からお礼を申し上げます。

令和7年1月

八潮市長 大山 忍



目 次

I. 調査の概要	1
II. 市民意識調査結果	5
1. あなた（回答者）ご自身について	7
2. 定住意向、住みやすさについて	17
3. 市からの情報について	26
4. 市政に対する評価と今後への期待	41
5. 多文化共生について	57
6. 各家庭での防災対策について	60
7. その他	62
人権・男女共同参画に関するアンケート	68
8. 人権問題について	68
9. 男女共同参画について	72
III. 調査票	83

I . 調査の概要

1. 調査の目的

本調査は、市が推進している施策の満足度や重要度などを市民から聴取し、評価の実態を把握するとともに、市民の生活意識や市政への要望を伺い、市政に市民の声を反映させるための基礎を得ることを目的として実施しました。

2. 調査の概要

調査地域	八潮市全域
調査対象	八潮市在住の満 18 歳以上の市民（令和 6 年 6 月 1 日現在）
調査方法	郵送配布、郵送回収あるいはインターネット回収
対象者数	3,000 人
抽出方法	住民基本台帳から性別、町丁別、男女年齢構成比による等間隔無作為抽出
有効回収数	1,141（うち郵送回収：539、インターネット回収：602） 【参考】前回調査（令和 4 年）：1,190
有効回収率	38.1% 【参考】前回調査（令和 4 年）：39.7%
実施期間	令和 6 年 8 月 7 日（水）～8 月 31 日（土）

3. 本調査報告書の留意点

- ・本文、表、グラフなどに使われる「n」（number of case）は、各設問に対する回答者数です。
- ・百分率（%）の計算は、小数点第 2 位を四捨五入し、小数点第 1 位まで表示しました。したがって、四捨五入の影響で、各回答の合計が 100%にならない場合があります。
- ・2 つ以上選んでよい設問においては、1 人の回答者が複数に回答可能のため、各回答の合計が 100%を超える場合があります。
- ・本文、表、グラフは、表示の都合上、調査票の選択肢等の文言を一部簡略化している場合があります。
- ・回答者数が 30 未満の場合、比率が上下しやすいため、傾向を見るにとどめ、本文中では触れていない場合があります。
- ・なお、本文の分析で用いている「居住地区別」の区分は次のとおりです。

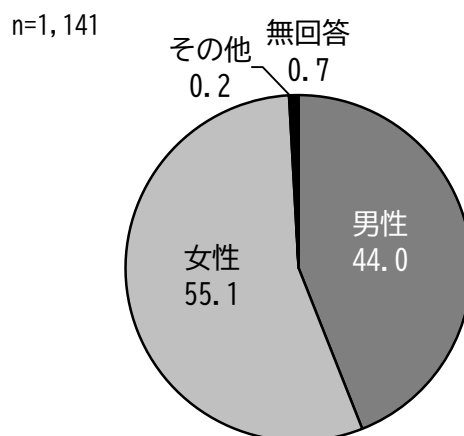
A ブロック	八條、鶴ヶ曽根、新町、小作田、松之木、伊草、伊草一～二丁目
B ブロック	上馬場、中馬場、中央一～四丁目、八潮一～八丁目、緑町一～五丁目
C ブロック	木曽根、二丁目、南川崎
D ブロック	伊勢野、大瀬、古新田、圀、大原、浮塚、大瀬一～六丁目、茜町一丁目
E ブロック	大曽根、西袋、柳之宮、南後谷

II. 市民意識調査結果

1. あなた（回答者）ご自身について

問1 あなたの性別をお尋ねします。（あなたが自認している性別をお答えください）（○は1つ）

性別は、「男性」が44.0%、「女性」が55.1%となっています。



【年代別、居住地区別】

(単位：人)

(単位：%)

		回答者数	男性	女性	その他	無回答
全体		1,141	44.0	55.1	0.2	0.7
年代別	19歳以下	22	54.5	45.5	0.0	0.0
	20歳代	174	44.8	55.2	0.0	0.0
	30歳代	208	42.8	56.7	0.5	0.0
	40歳代	229	44.1	55.9	0.0	0.0
	50歳代	251	42.2	57.8	0.0	0.0
	60歳代	142	45.1	52.8	0.0	2.1
	70歳代以上	110	47.3	51.8	0.9	0.0
居住地区別	Aブロック	149	47.0	51.7	0.7	0.7
	Bブロック	312	44.9	54.8	0.0	0.3
	Cブロック	160	43.1	56.3	0.0	0.6
	Dブロック	375	45.6	54.4	0.0	0.0
	Eブロック	136	37.5	61.8	0.7	0.0

※網掛けは最も多いもの（その他・無回答を除く）

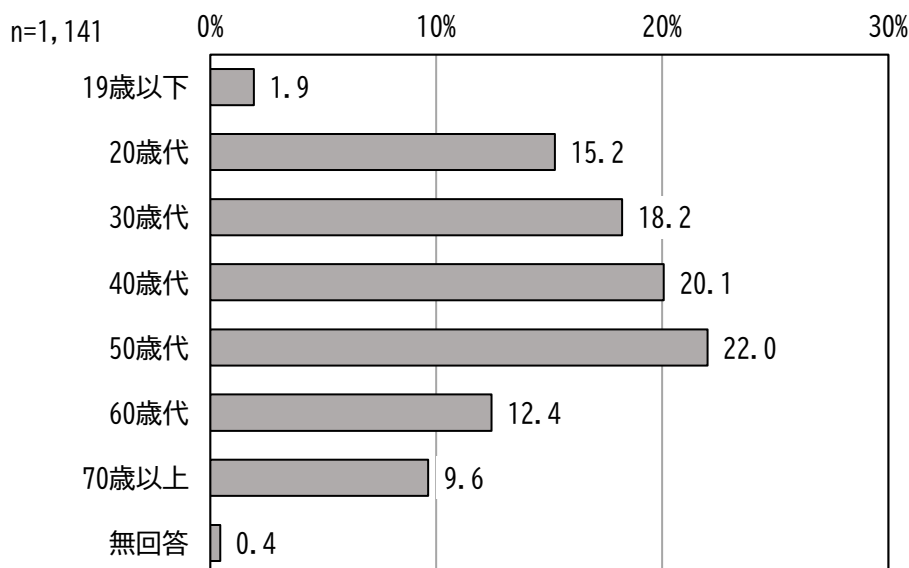
Ⅱ. 市民意識調査結果

問2 あなたの年齢をお尋ねします。(○は1つ)

年齢は、「50 歳代」が 22.0%と最も多く、次いで、「40 歳代」が 20.1%、「30 歳代」が 18.2%となっています。

性別でみると、男女ともに「50 歳代」が最も多くなっています。

居住地区別でみると、「40 歳代」はCブロックとDブロックで、「50 歳代」はAブロックとBブロックとEブロックで最も多くなっています。



【性別、居住地区別】

(単位：人)

(単位：%)

		回答者数	19歳以下	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	無回答
全体		1,141	1.9	15.2	18.2	20.1	22.0	12.4	9.6	0.4
性別	男性	502	2.4	15.5	17.7	20.1	21.1	12.7	10.4	0.0
	女性	629	1.6	15.3	18.8	20.3	23.1	11.9	9.1	0.0
居住地区別	Aブロック	149	1.3	9.4	9.4	15.4	29.5	20.1	14.8	0.0
	Bブロック	312	3.8	15.4	14.1	12.8	23.7	18.3	11.9	0.0
	Cブロック	160	0.6	17.5	17.5	23.1	20.0	10.6	10.6	0.0
	Dブロック	375	1.3	17.3	25.3	26.7	18.7	6.1	4.5	0.0
	Eブロック	136	1.5	13.2	19.9	21.3	22.1	10.3	11.8	0.0

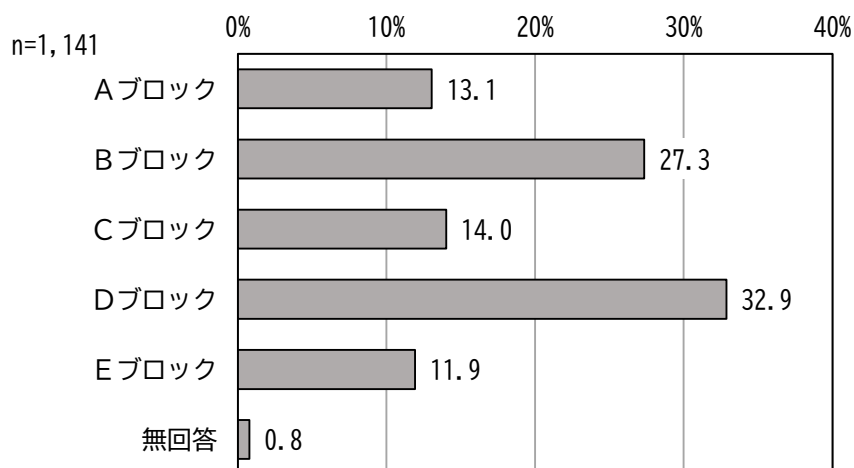
※網掛けは最も多いもの（無回答を除く）

問3 あなたのお住まいの地区をお尋ねします。(○は1つ)

居住地区は、「Dブロック」が 32.9%と最も多く、次いで、「Bブロック」が 27.3%となっています。

性別でみると、男女ともに「Dブロック」が3割台と最も多くなっています。

年代別で見ると、「Bブロック」では 19 歳以下と 50 歳代以上が、「Dブロック」では 20 歳代から 40 歳代が最も多くなっています。



Aブロック	八條、鶴ヶ曽根、新町、小作田、松之木、伊草、伊草一～二丁目
Bブロック	上馬場、中馬場、中央一～四丁目、八潮一～八丁目、緑町一～五丁目
Cブロック	木曽根、二丁目、南川崎
Dブロック	伊勢野、大瀬、古新田、圀、大原、浮塚、大瀬一～六丁目、茜町一丁目
Eブロック	大曽根、西袋、柳之宮、南後谷

【性別、年代別】

(単位：人)

(単位：%)

	回答者数	Aブロック	Bブロック	Cブロック	Dブロック	Eブロック	無回答
全体	1,141	13.1	27.3	14.0	32.9	11.9	0.8
性別							
男性	502	13.9	27.9	13.7	34.1	10.2	0.2
女性	629	12.2	27.2	14.3	32.4	13.4	0.5
年代別							
19歳以下	22	9.1	54.5	4.5	22.7	9.1	0.0
20歳代	174	8.0	27.6	16.1	37.4	10.3	0.6
30歳代	208	6.7	21.2	13.5	45.7	13.0	0.0
40歳代	229	10.0	17.5	16.2	43.7	12.7	0.0
50歳代	251	17.5	29.5	12.7	27.9	12.0	0.4
60歳代	142	21.1	40.1	12.0	16.2	9.9	0.7
70歳以上	110	20.0	33.6	15.5	15.5	14.5	0.9

※網掛けは最も多いもの(無回答を除く)

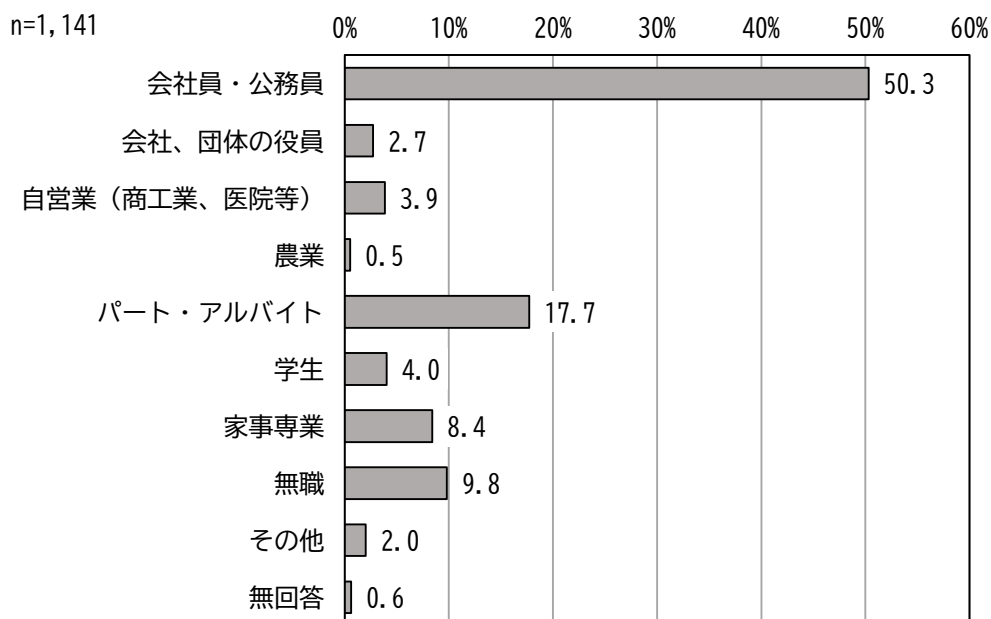
Ⅱ. 市民意識調査結果

問4 あなたのご職業をお尋ねします。(○は1つ)

職業は、「会社員・公務員」が50.3%と最も多く、次いで、「パート・アルバイト」が17.7%となっています。

性別でみると、「会社員・公務員」は男性が65.3%、女性が38.6%で最も多くなっており、男性が女性を26.7ポイント大きく上回っています。反対に「パート・アルバイト」では26.4ポイント、「家事専業」では15.3ポイント、女性が男性を大きく上回っています。

年代別でみると、「会社員・公務員」は20歳代から60歳代にかけて最も多く、特に20歳代では6割台、30歳代では7割台、40歳代と50歳代では5割台となっています。「パート・アルバイト」は20歳代以上で1割を超えており、特に40歳代から60歳代では2割台となっています。



【性別、年代別】

(単位：人)		(単位：%)									
	回答者数	会社員・公務員	会社、団体の役員	（自営業、 商工業、医院等）	農業	パート・アルバイト	学生	家事専業	無職	その他	無回答
全体	1,141	50.3	2.7	3.9	0.5	17.7	4.0	8.4	9.8	2.0	0.6
性別											
男性	502	65.3	4.8	5.6	0.8	3.0	4.4	0.0	13.9	1.8	0.4
女性	629	38.6	1.1	2.5	0.3	29.4	3.8	15.3	6.7	2.2	0.0
年代別											
19歳以下	22	18.2	0.0	0.0	0.0	9.1	68.2	0.0	0.0	4.5	0.0
20歳代	174	62.1	0.6	0.0	0.0	12.6	17.8	1.7	3.4	1.7	0.0
30歳代	208	73.1	1.9	3.8	0.0	10.1	0.0	8.7	0.5	1.9	0.0
40歳代	229	54.1	4.8	2.6	1.7	22.3	0.0	8.7	4.4	1.3	0.0
50歳代	251	53.4	3.2	6.0	0.0	23.5	0.0	6.8	4.4	2.4	0.4
60歳代	142	33.8	4.2	7.0	1.4	23.9	0.0	8.5	16.2	4.2	0.7
70歳以上	110	3.6	0.9	4.5	0.0	11.8	0.0	23.6	55.5	0.0	0.0

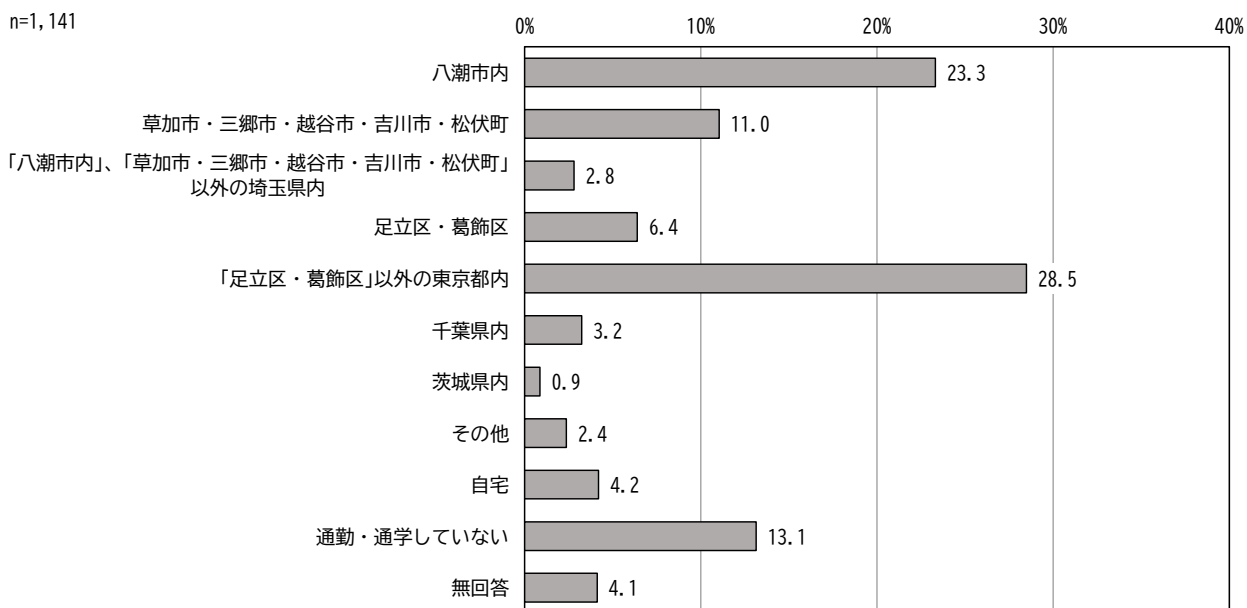
※網掛けは最も多いもの（その他・無回答を除く）

問5 あなたの通勤・通学先をお尋ねします（パートタイマー等の方も含みます）。（○は1つ）

通勤・通学先は、「足立区・葛飾区」以外の東京都内」が28.5%と最も多く、次いで、「八潮市内」が23.3%となっています。

年代別でみると、「足立区・葛飾区以外の東京都内」は20歳代から30歳代で4割台、40歳代で3割台と最も多くなっています。また、「八潮市内」は50歳代から60歳代にかけて約3割を占めています。

居住地区別でみると、「足立区・葛飾区以外の東京都内」はDブロックで4割台、「八潮市内」はA、C、Eブロックで2割台と最も多くなっています。また、Bブロックは「足立区・葛飾区以外の東京都内」と「八潮市内」がともに2割半を超えてほぼ同じ割合となっています。



【性別、年代別、居住地区別】

(単位：人)		(単位：%)										
	回答者数	八潮市内	吉川市・三郷市・松伏町	草加市・越谷市	松伏町・八潮市以外	「八潮市・葛飾区」以外の東京都内	千葉県内	茨城県内	その他	自宅	通勤・通学していない	無回答
全体	1,141	23.3	11.0	2.8	6.4	28.5	3.2	0.9	2.4	4.2	13.1	4.1
性別												
男性	502	17.3	11.4	4.2	7.2	34.9	4.6	1.4	3.0	2.0	11.8	2.4
女性	629	28.0	11.0	1.6	5.9	23.7	2.2	0.5	1.9	6.0	14.5	4.8
年代別												
19歳以下	22	9.1	27.3	22.7	9.1	9.1	4.5	4.5	13.6	0.0	0.0	0.0
20歳代	174	16.1	11.5	4.0	6.9	46.0	6.3	0.6	2.9	1.1	4.0	0.6
30歳代	208	23.6	8.7	2.9	4.3	41.3	3.4	1.4	1.9	3.4	9.1	0.0
40歳代	229	24.9	14.0	0.9	6.1	33.6	3.1	0.9	1.7	1.7	10.9	2.2
50歳代	251	29.9	13.1	2.8	9.6	22.7	2.8	1.2	2.8	4.4	8.8	2.0
60歳代	142	29.6	9.9	2.8	7.7	13.4	2.8	0.0	2.1	9.2	17.6	4.9
70歳以上	110	11.8	2.7	0.9	0.9	3.6	0.0	0.0	0.9	10.0	47.3	21.8
居住地区別												
Aブロック	149	24.2	19.5	2.0	8.1	12.8	1.3	0.0	4.0	4.0	17.4	6.7
Bブロック	312	26.3	8.7	3.5	6.1	27.2	2.9	0.6	2.6	5.4	12.8	3.8
Cブロック	160	27.5	11.9	2.5	5.0	25.0	2.5	1.9	2.5	5.0	13.1	3.1
Dブロック	375	18.4	8.5	1.9	6.4	42.1	4.8	1.3	1.9	2.7	9.3	2.7
Eブロック	136	25.0	14.0	4.4	6.6	16.9	2.9	0.0	1.5	5.1	20.6	2.9

※網掛けは最も多いもの（その他・無回答を除く）

Ⅱ. 市民意識調査結果

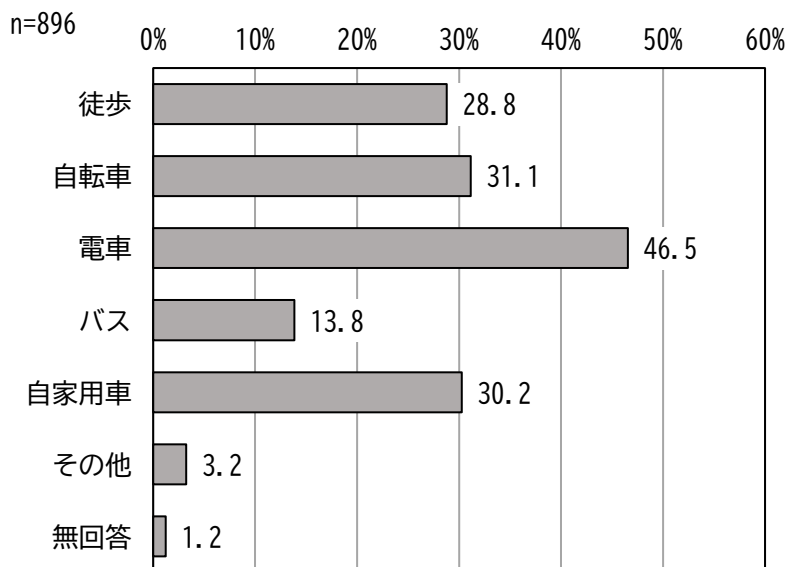
問5で「八潮市内」～「その他」を選択した方のみ回答

問5-1 あなたが通勤・通学に利用している交通手段についてお尋ねします。(あてはまるものすべてに○)

通勤・通学に利用している交通手段は、「電車」が46.5%と最も多く、次いで、「自転車」が31.1%、「自家用車」が30.2%となっています。

年代別でみると、「電車」は19歳以下と20歳代では6割台、30歳代は5割台、40歳代が4割台と最も多くなっています。また、「自家用車」は50歳代から70歳以上にかけて3割半～4割半前後を占めています。

居住地区でみると、「電車」はDブロックで6割台、B、Cブロックで4割台、「自家用車」はAブロックで4割台、「自転車」はEブロックが4割台と最も多くなっています。



【年代別、居住地区別】

(単位：人)

(単位：%)

		回答者数	徒歩	自転車	電車	バス	自家用車	その他	無回答
全体		896	28.8	31.1	46.5	13.8	30.2	3.2	1.2
年代別	19歳以下	22	22.7	36.4	68.2	27.3	4.5	4.5	4.5
	20歳代	164	37.2	34.8	66.5	12.8	16.5	1.8	1.2
	30歳代	182	37.4	30.8	57.7	12.6	28.0	1.6	0.0
	40歳代	195	27.7	28.2	46.7	11.3	30.8	3.1	1.0
	50歳代	213	23.0	32.9	32.4	16.4	37.1	5.2	1.4
	60歳代	97	16.5	27.8	24.7	14.4	46.4	5.2	0.0
	70歳以上	23	21.7	26.1	17.4	13.0	34.8	0.0	13.0
居住地区別	Aブロック	107	21.5	23.4	23.4	20.6	48.6	5.6	1.9
	Bブロック	243	25.9	37.9	43.6	18.9	32.1	2.5	1.2
	Cブロック	126	29.4	38.1	45.2	11.1	33.3	3.2	0.0
	Dブロック	320	34.1	23.1	60.6	8.1	20.6	2.5	1.6
	Eブロック	97	25.8	40.2	35.1	16.5	33.0	5.2	1.0

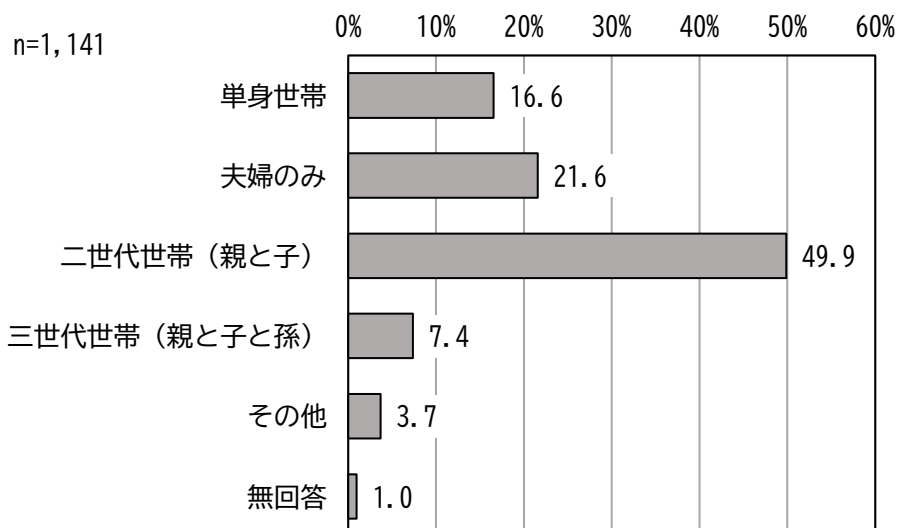
※網掛けは最も多いもの（その他・無回答を除く）

問6 あなたが住んでいる住宅の家族構成をお尋ねします。(○は1つ)

家族構成は、「二世世代世帯（親と子）」が49.9%と最も多く、次いで、「夫婦のみ」が21.6%、「単身世帯」が16.6%となっています。

年代別でみると、「二世世代世帯（親と子）」は70歳以上を除くすべての年代で最も多く、「夫婦のみ」は70歳代以上で最も多くなっています。

居住地区別でみると、「二世世代世帯（親と子）」がいずれの地区でも4割半を超えて最も多くなっています。また、「夫婦のみ」はCブロックで2割半を超え、他の地区より多くなっています。



【年代別、居住地区別】

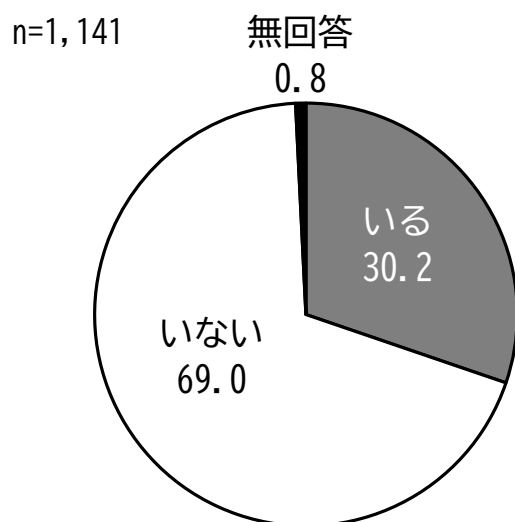
		(単位：人)			(単位：%)			
		回答者数	単身世帯	夫婦のみ	二世世代世帯 (親と子)	三世世代世帯 (親と子と孫)	その他	無回答
全体		1,141	16.6	21.6	49.9	7.4	3.7	1.0
年代別	19歳以下	22	9.1	0.0	81.8	4.5	4.5	0.0
	20歳代	174	27.0	17.2	40.8	10.9	4.0	0.0
	30歳代	208	18.8	14.4	60.6	5.3	1.0	0.0
	40歳代	229	14.8	14.4	62.0	6.1	2.2	0.4
	50歳代	251	13.9	23.9	49.4	8.0	4.8	0.0
	60歳代	142	12.0	35.2	39.4	7.7	4.9	0.7
	70歳以上	110	13.6	39.1	29.1	7.3	7.3	3.6
居住地区別	Aブロック	149	12.8	15.4	51.0	13.4	6.7	0.7
	Bブロック	312	15.4	23.1	50.6	6.7	3.5	0.6
	Cブロック	160	11.9	25.6	45.0	11.9	4.4	1.3
	Dブロック	375	22.9	22.1	49.1	3.5	2.4	0.0
	Eブロック	136	12.5	19.1	55.9	8.1	3.7	0.7

※網掛けは最も多いもの（その他・無回答を除く）

Ⅱ. 市民意識調査結果

問7 あなたご自身を含めて同居の家族の中に 65 歳以上の方はいますか。(○は1つ)

65 歳以上の同居家族が、「いる」が 30.2%に対し、「いない」が 69.0%となっています。
居住地区別にみると、「いる」はAブロックで 53.0%と他の地区より多くなっています。



【年代別、居住地区別】

(単位：人)

(単位：%)

		回答者数	いる	いない	無回答
全体		1,141	30.2	69.0	0.8
年代別	19歳以下	22	9.1	90.9	0.0
	20歳代	174	13.2	86.8	0.0
	30歳代	208	11.5	88.0	0.5
	40歳代	229	22.7	76.4	0.9
	50歳代	251	27.1	72.5	0.4
	60歳代	142	56.3	43.0	0.7
	70歳以上	110	83.6	12.7	3.6
居住地区別	Aブロック	149	53.0	46.3	0.7
	Bブロック	312	32.7	67.0	0.3
	Cブロック	160	30.0	68.8	1.3
	Dブロック	375	17.6	82.1	0.3
	Eブロック	136	32.4	64.7	2.9

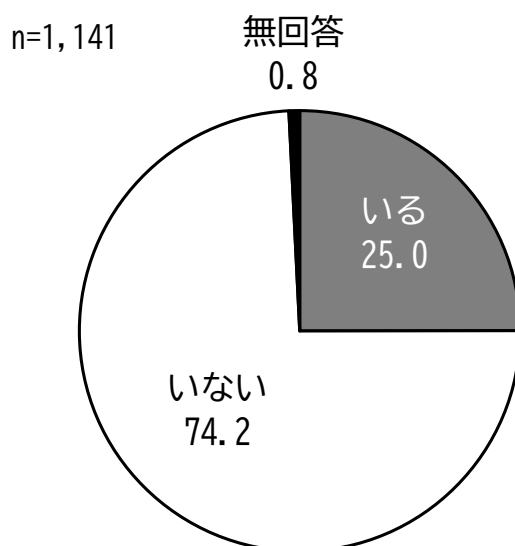
※網掛けは最も多いもの（無回答を除く）

問8 同居の家族の中に中学生以下の方はいますか。(○は1つ)

中学生以下の同居家族が、「いる」が25.0%に対し、「いない」が74.2%となっています。

年代別でみると、「いる」は30歳代で5割台、40歳代で4割台と他の年代より多くなっています。

居住地区別でみると、「いる」はDブロック、Eブロックで3割前後と他の地区より多くなっています。



【年代別、居住地区別】

(単位：人)

(単位：%)

		回答者数	いる	いない	無回答
全体		1,141	25.0	74.2	0.8
年代別	19歳以下	22	18.2	81.8	0.0
	20歳代	174	13.8	86.2	0.0
	30歳代	208	52.4	47.6	0.0
	40歳代	229	43.2	55.9	0.9
	50歳代	251	11.2	88.4	0.4
	60歳代	142	4.9	94.4	0.7
	70歳以上	110	10.9	84.5	4.5
居住地区別	Aブロック	149	17.4	81.9	0.7
	Bブロック	312	20.2	79.5	0.3
	Cブロック	160	25.6	73.1	1.3
	Dブロック	375	30.9	68.8	0.3
	Eブロック	136	27.2	69.9	2.9

※網掛けは最も多いもの（無回答を除く）

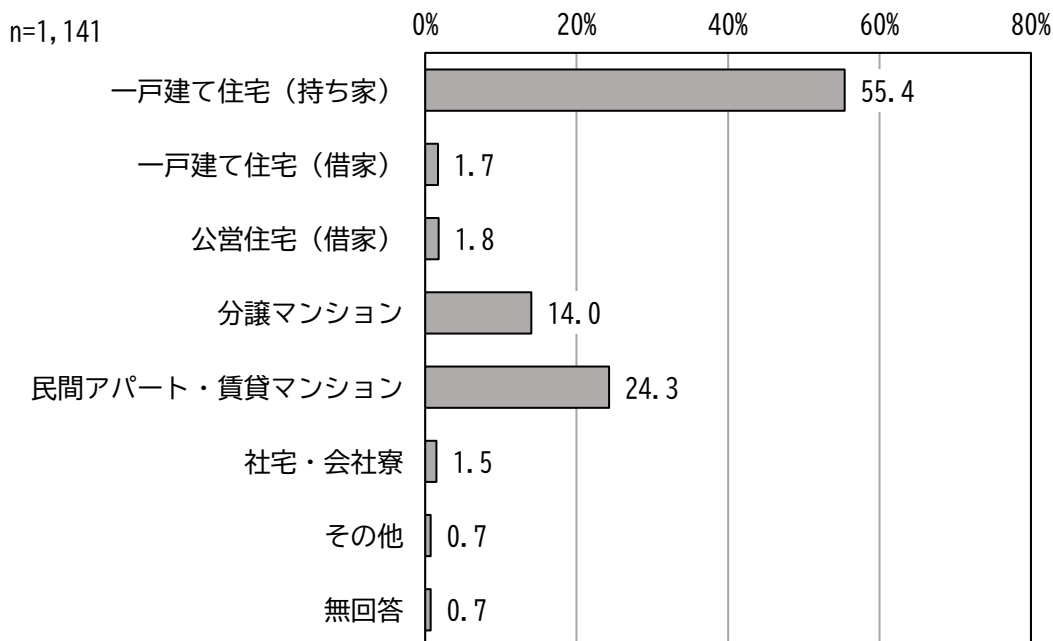
Ⅱ. 市民意識調査結果

問9 あなたの住宅の形態をお尋ねします。(○は1つ)

居住形態は、「一戸建て住宅（持ち家）」が55.4%と最も多く、次いで、「民間アパート・賃貸マンション」が24.3%、「分譲マンション」が14.0%となっています。

年代別でみると、「一戸建て住宅（持ち家）」は20歳代を除くすべての年代で最も多く、「民間アパート・賃貸マンション」は20歳代で最も多くなっています。

居住地区別でみると、「一戸建て住宅（持ち家）」はすべての地区で最も多く、Dブロックでは「民間アパート・賃貸マンション」が3割台、「分譲マンション」が2割台と他の地区よりも多くなっています。



【年代別、居住地区別】

(単位：人)

(単位：%)

	回答者数	一戸建て住宅 (持ち家)	一戸建て住宅 (借家)	公営住宅 (借家)	分譲マンション	民間アパート・ 賃貸マンション	社宅・会社寮	その他	無回答
全体	1,141	55.4	1.7	1.8	14.0	24.3	1.5	0.7	0.7
年代別	19歳以下	22	54.5	0.0	9.1	13.6	18.2	4.5	0.0
	20歳代	174	39.1	0.0	0.0	9.2	45.4	5.7	0.6
	30歳代	208	43.3	1.9	0.0	12.5	40.4	1.0	0.5
	40歳代	229	56.8	1.7	0.4	16.6	22.3	0.4	1.3
	50歳代	251	61.4	2.4	3.2	16.7	15.1	0.4	0.4
	60歳代	142	62.7	2.8	2.8	18.3	9.9	1.4	2.1
	70歳以上	110	77.3	0.9	4.5	7.3	6.4	0.0	0.9
居住地区別	Aブロック	149	61.1	3.4	10.1	8.7	12.1	0.7	3.4
	Bブロック	312	63.1	1.9	1.6	9.9	21.5	1.3	0.3
	Cブロック	160	68.1	0.6	0.0	5.0	23.8	1.3	0.6
	Dブロック	375	37.1	1.1	0.0	23.7	36.3	1.6	0.3
	Eブロック	136	64.7	2.2	0.0	13.2	13.2	2.9	0.0

※網掛けは最も多いもの（その他・無回答を除く）

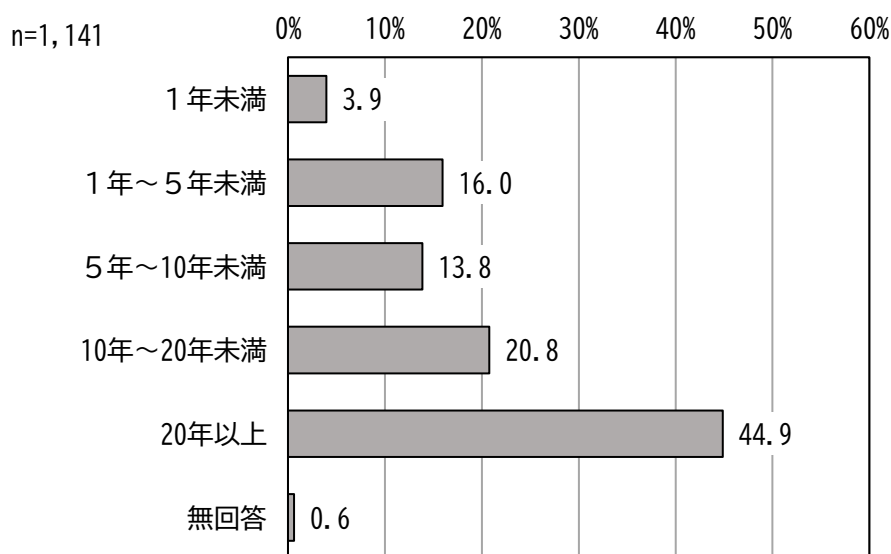
2. 定住意向、住みやすさについて

問 10 あなたは、八潮市に住んでから何年になりますか。(○は1つ)

居住年数は、「20 年以上」が 44.9%と最も多く、次いで、「10 年～20 年未満」が 20.8%、「1 年～5 年未満」が 16.0%となっています。

年代別でみると、「20 年以上」は 50 歳代以上で最も多く、60 歳代で約 7 割、70 歳以上で 8 割台となっています。また、「10 年から 20 年未満」は 19 歳以下で 8 割台、40 歳代で 3 割台、「1 年から 5 年未満」は 20 歳代と 30 歳代で 3 割台と、他の年代よりも多くなっています。

居住地区別でみると、「20 年以上」は D ブロックを除くすべての地区で最も多く、「1 年から 5 年未満」は D ブロックで 2 割台と他の地区よりも多くなっています。



【年代別、居住地区別】

		(単位：人)						(単位：%)
		回答者数	1 年未満	1 年から 5 年未満	5 年から 10 年未満	10 年から 20 年未満	20 年以上	無回答
全体		1,141	3.9	16.0	13.8	20.8	44.9	0.6
年代別	19 歳以下	22	0.0	4.5	13.6	81.8	0.0	0.0
	20 歳代	174	12.1	34.5	5.7	14.4	33.3	0.0
	30 歳代	208	5.8	33.2	27.4	10.1	23.1	0.5
	40 歳代	229	2.2	12.7	21.0	33.6	30.1	0.4
	50 歳代	251	1.2	8.4	8.0	24.7	57.0	0.8
	60 歳代	142	2.1	1.4	9.9	17.6	69.0	0.0
	70 歳以上	110	0.9	0.0	5.5	8.2	82.7	2.7
居住地区別	A ブロック	149	1.3	6.7	9.4	17.4	64.4	0.7
	B ブロック	312	2.9	11.5	11.5	19.6	53.8	0.6
	C ブロック	160	3.8	14.4	13.8	19.4	48.1	0.6
	D ブロック	375	6.9	25.6	20.0	23.2	24.3	0.0
	E ブロック	136	1.5	12.5	8.1	22.1	53.7	2.2

※網掛けは最も多いもの（無回答を除く）

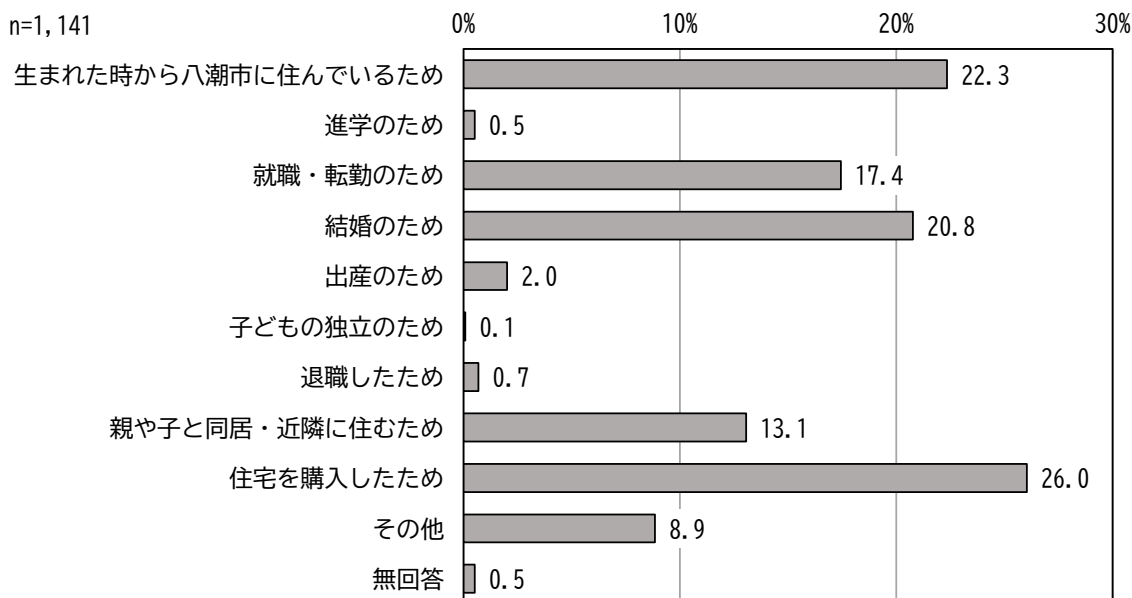
Ⅱ. 市民意識調査結果

問 11 あなたが八潮市に住んだきっかけは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

八潮市に定住するきっかけは、「住宅を購入したため」が26.0%と最も多く、次いで、「生まれた時から八潮市に住んでいるため」が22.3%、「結婚のため」が20.8%となっています。

年代別でみると、「生まれた時から八潮市に住んでいるため」は19歳以下が7割台、20歳代が3割台で多く、「住宅を購入したため」は40歳代から70歳以上が3割～4割前後で多く、「結婚のため」は30歳代が2割後半と他の年代に比べて多くなっています。

居住地区別でみると、「住宅を購入したため」はAブロックを除くすべての地区で最も多く、「生まれた時から八潮市に住んでいるため」はAブロックで3割台と他の地区よりも多くなっています。



【年代別、居住地区別】

(単位：人)

(単位：%)

	回答者数	生まれた時から八潮市に住んでいるため	進学のため	就職・転勤のため	結婚のため	出産のため	子どもの独立のため	退職したため	近親や子と同居のため	住宅を購入したため	その他	無回答
全体	1,141	22.3	0.5	17.4	20.8	2.0	0.1	0.7	13.1	26.0	8.9	0.5
年代別	19歳以下	22	72.7	0.0	4.5	0.0	0.0	0.0	13.6	9.1	0.0	0.0
	20歳代	174	33.9	1.1	27.6	1.1	0.0	0.0	13.8	8.0	6.3	0.0
	30歳代	208	19.2	0.0	26.4	27.4	5.8	0.0	12.0	18.3	7.2	0.0
	40歳代	229	19.7	1.3	14.4	25.3	3.5	0.0	10.0	29.3	11.8	0.4
	50歳代	251	19.9	0.4	12.0	20.3	0.0	0.4	18.7	31.9	10.8	0.8
	60歳代	142	17.6	0.0	14.1	20.4	0.0	1.4	13.4	33.8	8.5	0.0
	70歳以上	110	14.5	0.0	10.9	14.5	0.9	4.5	7.3	42.7	8.2	2.7
居住地区別	Aブロック	149	31.5	0.7	9.4	22.8	1.3	1.3	10.7	16.8	10.7	2.0
	Bブロック	312	23.4	1.0	18.3	19.6	1.0	0.0	15.4	27.2	7.1	0.3
	Cブロック	160	29.4	0.0	14.4	16.9	3.8	0.0	11.3	31.3	8.8	0.0
	Dブロック	375	13.3	0.5	24.0	21.9	3.2	0.0	11.7	25.6	10.4	0.0
	Eブロック	136	23.5	0.0	11.0	22.8	0.0	0.0	16.9	28.7	7.4	1.5

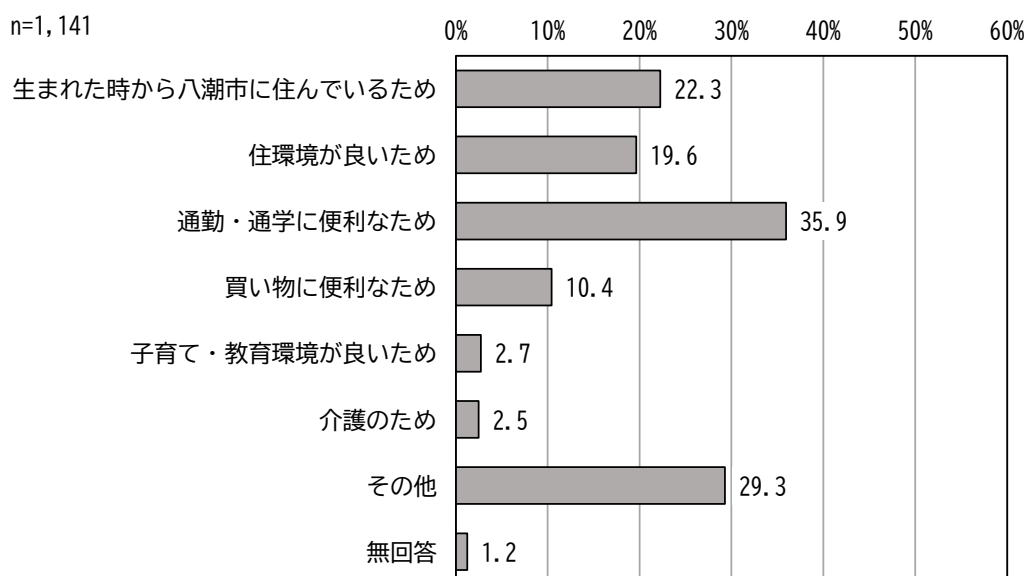
※網掛けは最も多いもの（その他・無回答を除く）

問12 あなたが八潮市に住んでいる理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

八潮市に定住する理由は、「通勤・通学に便利のため」が35.9%と最も多く、次いで、「生まれた時から八潮市に住んでいるため」が22.3%、「住環境が良いため」が19.6%となっています。

年代別でみると、「通勤・通学に便利のため」は20歳代から60歳代で最も多くなっています。また、「生まれた時から八潮市に住んでいるため」は19歳以下が7割台、「住環境が良いため」は70歳以上が3割台で他の年代に比べて多くなっています。

居住地区別でみると、「通勤通学に便利のため」はBブロック、Cブロック、Dブロックで最も多く、特にDブロックでは5割台と他の地区に比べて多くなっています。「生まれた時から八潮市に住んでいるため」はAブロック、Eブロックで最も多くなっています。



【年代別、居住地区別】

		(単位：人)		(単位：%)						
		回答者数	いる八潮市に生まれた時からため	良い住環境がため	通勤・通学に便利のため	買い物に便利のため	子育て・教育環境が良いため	介護のため	その他	無回答
全体		1,141	22.3	19.6	35.9	10.4	2.7	2.5	29.3	1.2
年代別	19歳以下	22	72.7	13.6	9.1	0.0	0.0	0.0	13.6	0.0
	20歳代	174	34.5	17.2	44.8	8.6	2.3	0.6	15.5	0.6
	30歳代	208	17.3	27.4	52.9	9.1	4.3	1.0	22.1	0.0
	40歳代	229	19.2	14.4	43.7	9.6	3.1	0.0	33.6	1.3
	50歳代	251	19.9	15.5	30.3	11.6	3.2	7.6	35.1	1.2
	60歳代	142	18.3	20.4	21.8	14.1	0.7	4.2	35.2	2.1
	70歳以上	110	16.4	30.0	11.8	12.7	1.8	0.0	38.2	3.6
居住地区別	Aブロック	149	30.9	14.1	20.1	8.1	3.4	4.7	35.6	2.7
	Bブロック	312	24.0	18.9	29.8	10.3	1.3	4.2	28.5	1.6
	Cブロック	160	28.8	16.3	31.9	5.6	3.1	1.9	33.1	0.6
	Dブロック	375	13.3	25.3	53.9	12.8	3.7	0.5	22.4	0.3
	Eブロック	136	22.8	16.2	25.0	13.2	2.2	2.2	39.0	2.2

※網掛けは最も多いもの(その他・無回答を除く)

Ⅱ. 市民意識調査結果

問 13 あなたは、八潮市に引き続き住みたいですか。(○は1つ)

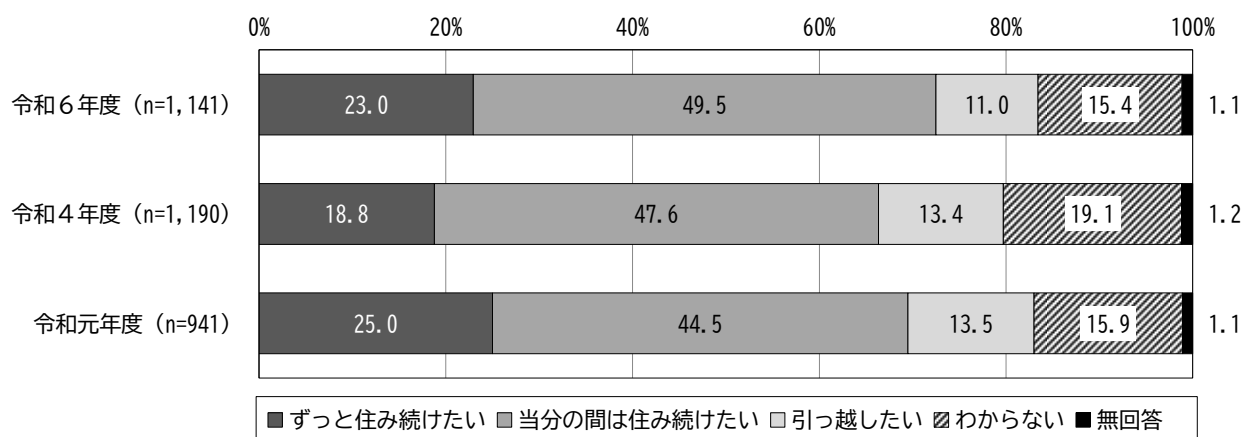
八潮市への定住意向は、「ずっと住み続けたい(23.0%)」、「当分の間は住み続けたい(49.5%)」を合わせた『住み続けたい(計)』が72.5%に対し、「引っ越したい」が11.0%となっています。また、「わからない」が15.4%となっています。

過去の調査と比較すると、令和4年度調査(以降:前回調査)では『住み続けたい(計)』は66.4%、「引っ越したい」は13.4%となっており、今回調査では『住み続けたい(計)』は6.1ポイント増加し、「引っ越したい」は2.4ポイント減少しています。

年代別でみると、『住み続けたい(計)』は20歳代と50歳代を除く全ての年代で7割を超えており、20歳代と50歳代でも6割台となっています。「ずっと住みたい」は70歳以上で5割台と他の年代よりも多くなっています。

居住地区別でみると、『住み続けたい(計)』はいずれの地区でも6割を超えています。

その他、家族構成別、65歳以上の同居家族別、中学生以下の同居家族別、居住形態別、居住年数別でみると、居住形態の「一戸建て住宅(借家)」と「社宅・会社寮」を除いて、いずれも『住み続けたい(計)』が6割を超えています。



【性別、年代別、居住地区別】

		(単位:人)					(単位:%)
		回答者数	ずっと つけた たい 住 み	続 当 け 分 た の 間 は 住 み	引 つ 越 し た い	わ か ら な い	無 回 答
全体		1,141	23.0	49.5	11.0	15.4	1.1
性別	男性	502	25.9	49.0	8.6	15.9	0.6
	女性	629	20.5	49.9	13.0	14.9	1.6
年代別	19歳以下	22	9.1	68.2	13.6	9.1	0.0
	20歳代	174	10.3	56.3	14.9	18.4	0.0
	30歳代	208	14.9	63.9	10.1	9.6	1.4
	40歳代	229	22.7	47.6	10.5	18.8	0.4
	50歳代	251	19.9	49.0	14.7	15.9	0.4
	60歳代	142	35.2	41.5	4.9	17.6	0.7
	70歳以上	110	52.7	21.8	6.4	12.7	6.4
居住地区別	Aブロック	149	36.2	35.6	8.7	18.1	1.3
	Bブロック	312	23.1	51.3	9.6	15.1	1.0
	Cブロック	160	25.0	46.9	11.3	15.6	1.3
	Dブロック	375	17.3	56.5	11.7	13.9	0.5
	Eブロック	136	21.3	42.6	14.7	18.4	2.9

※網掛けは最も多いもの(無回答を除く)

Ⅱ. 市民意識調査結果

【家族構成別、65 歳以上の同居家族別、中学生以下の同居家族別、居住形態別、居住年数別】

(単位：人)

(単位：%)

		回答者数	ずっと住み続けたい	当分の間住み続けたい	引っ越したい	わからない	無回答
全体		1,141	23.0	49.5	11.0	15.4	1.1
家族構成別	単身世帯	189	14.8	58.2	7.9	17.5	1.6
	夫婦のみ	246	28.9	46.3	11.4	12.2	1.2
	二世代世帯（親と子）	569	22.8	49.4	11.8	15.1	0.9
	三世代世帯（親と子と孫）	84	22.6	45.2	11.9	17.9	2.4
	その他	42	26.2	38.1	9.5	26.2	0.0
家族別同居 65 歳以上	いる	345	35.7	36.2	9.0	17.7	1.4
	いない	787	17.3	55.7	11.9	14.6	0.5
家族別同居 中学生以下	いる	285	21.4	53.7	10.9	12.6	1.4
	いない	847	23.4	48.4	11.1	16.4	0.7
居住形態別	一戸建て住宅（持ち家）	632	30.4	44.1	9.7	14.9	0.9
	一戸建て住宅（借家）	19	15.8	31.6	31.6	21.1	0.0
	公営住宅（借家）	20	30.0	40.0	10.0	20.0	0.0
	分譲マンション	160	21.3	50.6	11.9	16.3	0.0
	民間アパート・賃貸マンション	277	7.9	63.9	12.6	14.8	0.7
	社宅・会社寮	17	0.0	58.8	11.8	29.4	0.0
	その他	8	50.0	25.0	0.0	25.0	0.0
居住年数別	1 年未満	45	11.1	71.1	4.4	13.3	0.0
	1 年～5 年未満	182	12.6	59.3	15.9	12.1	0.0
	5 年～10 年未満	158	13.9	62.0	10.8	12.0	1.3
	10 年～20 年未満	237	15.6	54.0	9.7	20.3	0.4
	20 年以上	512	34.0	38.9	10.4	15.8	1.0

※網掛けは最も多いもの（無回答を除く）

問 13-1 その理由は次のうちどれですか。(あてはまるものすべてに○)

問 13 で「ずっと住みたい」または「当分の間は住みたい」を選択された方のみ回答
八潮市に住みたい理由については、「通勤・通学の便が良い」が 40.9%と最も多く、次いで、「住みなれていて愛着を感じる」が 40.3%、「買い物の便が良い」が 34.8%となっています。

過去調査と比較すると、「買い物の便が良い」、「公共施設が整っている」は調査ごとに増加傾向となり、「子育て・教育環境が整っている」は減少傾向となっています。

年代別でみると、「通勤・通学の便が良い」は 19 歳以下から 40 歳代で、「住みなれていて愛着を感じる」は 19 歳以下と 50 歳代以上で多く、特に 70 歳代以上では 6 割台となっています。

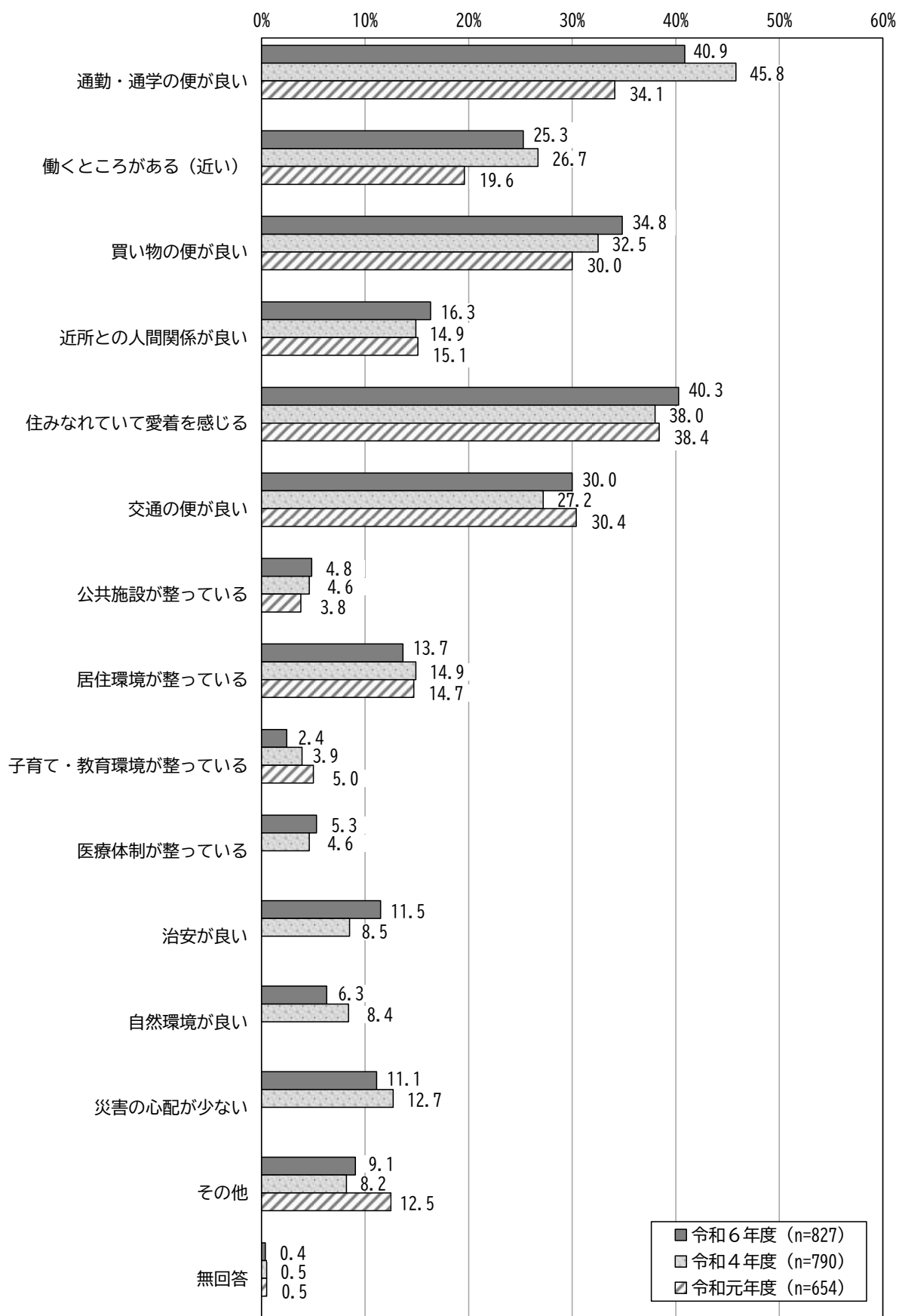
居住地区別でみると、「通勤・通学の便が良い」は D ブロックが、「住みなれていて愛着を感じる」は A・B・C・E ブロックが最も多くなっています。

家族構成別でみると、「通勤・通学の便が良い」は単身世帯と二世帯世帯（親と子）で最も多く、特に単身世帯で 5 割台と他の家族構成よりも多くなっています。「住みなれていて愛着を感じる」は夫婦のみと三世帯世帯（親と子と孫）が 4 割台と最も多くなっています。

居住形態別でみると、「通勤・通学の便が良い」は分譲マンションと民間アパート・賃貸マンションと社宅会社寮で 5 割以上、「住みなれていて愛着を感じる」は一戸建て住宅（持ち家）と一戸建て住宅（借家）と公営住宅（借家）で最も多くなっています。

居住年数別でみると、「通勤・通学の便が良い」は 20 年未満で 5 割前後から 6 割を超えて最も多く、「住みなれていて愛着を感じる」は 20 年以上で 6 割台と最も多くなっています。

Ⅱ. 市民意識調査結果



※「医療体制が整っている」「治安が良い」「自然環境が良い」「災害の心配が少ない」は前回調査から新設した項目

Ⅱ. 市民意識調査結果

【年代別、居住地区別、家族構成別、居住形態別、居住年数別】

(単位：人)

(単位：%)

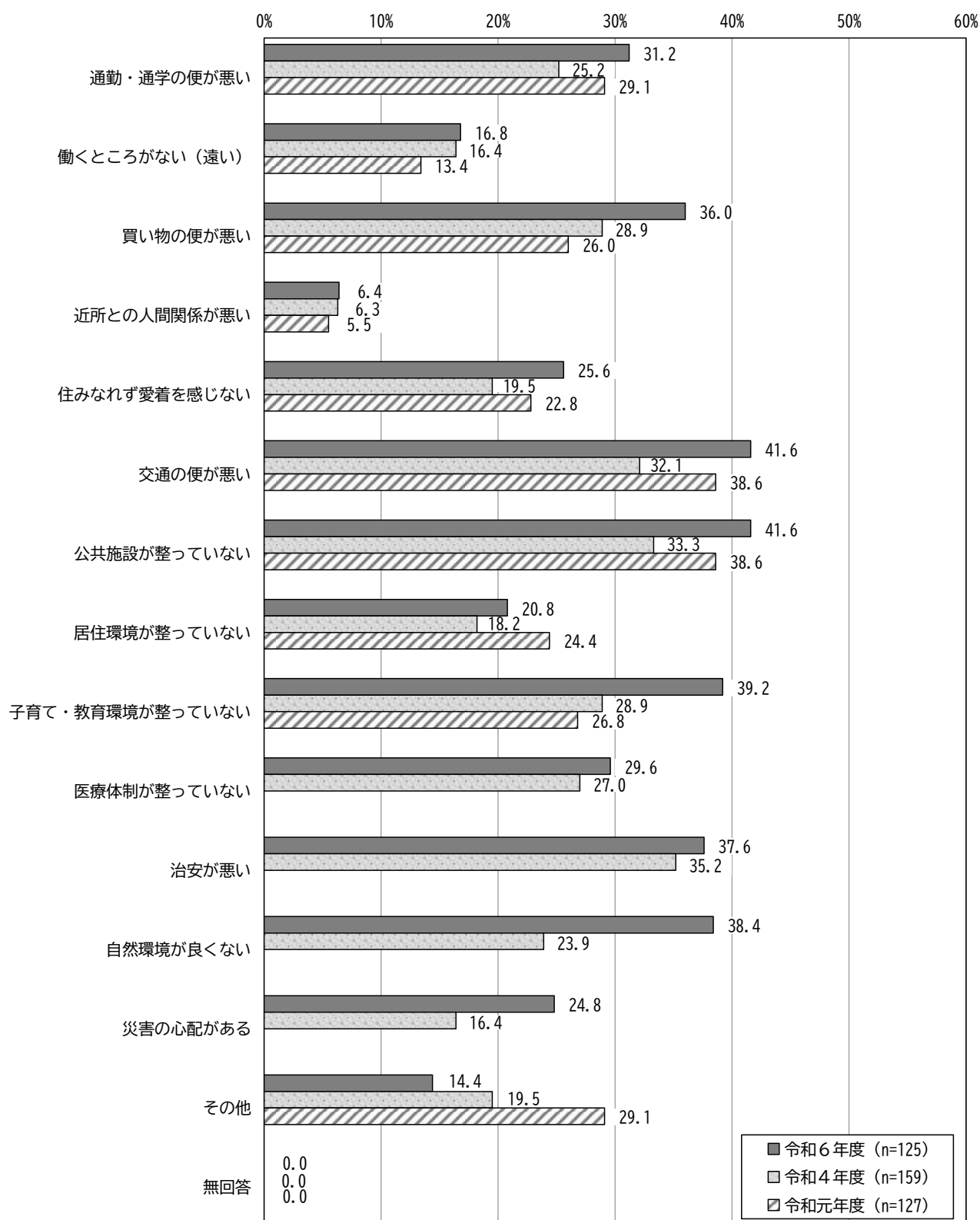
		(単位：人)															(単位：%)	
		回答者数	通勤・通学の便が良い	働くところがある（近い）	買い物の便が良い	近所との人間関係が良い	住みなれていて愛着を感じる	交通の便が良い	公共施設が整っている	居住環境が整っている	子育て・教育環境が整っている	医療体制が整っている	治安が良い	自然環境が良い	災害の心配が少ない	その他	無回答	
全体		827	40.9	25.3	34.8	16.3	40.3	30.0	4.8	13.7	2.4	5.3	11.5	6.3	11.1	9.1	0.4	
年代別	19歳以下	17	47.1	35.3	11.8	11.8	47.1	17.6	11.8	11.8	5.9	17.6	0.0	11.8	11.8	5.9	0.0	
	20歳代	116	56.0	23.3	27.6	6.9	29.3	26.7	10.3	11.2	3.4	3.4	19.0	6.0	6.0	12.1	0.9	
	30歳代	164	50.6	23.2	34.1	15.2	31.1	34.1	4.3	14.6	4.9	2.4	13.4	4.3	8.5	11.6	0.0	
	40歳代	161	49.1	25.5	32.3	18.0	33.5	34.2	1.2	11.8	1.9	3.1	8.1	4.3	6.8	9.9	0.0	
	50歳代	173	38.7	32.4	35.8	12.1	42.2	30.6	3.5	15.0	0.6	6.4	8.1	5.2	12.1	10.4	0.0	
	60歳代	109	23.9	23.9	41.3	22.0	50.5	24.8	5.5	13.8	1.8	5.5	8.3	6.4	13.8	4.6	1.8	
	70歳以上	82	9.8	14.6	43.9	28.0	65.9	23.2	4.9	14.6	0.0	11.0	15.9	14.6	24.4	2.4	0.0	
居住地区別	Aブロック	107	22.4	30.8	40.2	23.4	47.7	15.0	1.9	12.1	4.7	2.8	5.6	9.3	15.0	6.5	0.0	
	Bブロック	232	39.7	25.9	37.1	17.7	45.3	29.7	7.3	12.1	0.9	6.0	11.2	5.6	16.4	7.8	0.4	
	Cブロック	115	32.2	27.0	17.4	15.7	38.3	20.9	3.5	8.7	3.5	4.3	10.4	7.8	13.0	16.5	0.0	
	Dブロック	277	56.7	21.7	39.0	13.4	31.4	40.1	5.1	17.0	2.5	6.5	15.5	6.5	4.7	7.9	0.7	
	Eブロック	87	29.9	25.3	29.9	11.5	43.7	25.3	2.3	13.8	1.1	2.3	6.9	1.1	9.2	10.3	0.0	
家族構成別	単身世帯	138	58.7	26.8	41.3	6.5	33.3	29.0	8.7	14.5	1.4	8.0	15.9	7.2	4.3	5.8	0.7	
	夫婦のみ	185	40.0	21.6	40.0	14.1	44.3	34.1	3.2	19.5	1.1	5.4	15.1	8.1	11.9	8.1	1.1	
	二世帯世帯（親と子）	411	39.2	26.5	30.7	20.4	38.9	28.5	4.1	10.9	3.2	4.4	8.5	5.8	10.9	9.0	0.0	
	三世帯世帯（親と子と孫）	57	21.1	22.8	28.1	10.5	45.6	28.1	1.8	12.3	3.5	1.8	5.3	1.8	19.3	15.8	0.0	
	その他	27	29.6	25.9	40.7	18.5	44.4	25.9	7.4	11.1	0.0	3.7	18.5	3.7	22.2	18.5	0.0	
居住形態別	一戸建て住宅（持ち家）	471	30.4	25.5	30.4	20.8	48.8	27.0	4.0	12.3	1.9	4.9	8.3	4.7	14.0	8.9	0.2	
	一戸建て住宅（借家）	9	22.2	11.1	33.3	33.3	77.8	33.3	11.1	22.2	0.0	33.3	22.2	0.0	44.4	0.0	0.0	
	公営住宅（借家）	14	14.3	21.4	21.4	21.4	57.1	7.1	0.0	7.1	0.0	0.0	14.3	28.6	7.1	0.0	0.0	
	分譲マンション	115	51.3	21.7	43.5	16.5	33.0	46.1	4.3	18.3	3.5	7.0	11.3	6.1	7.8	7.8	0.9	
	民間アパート・賃貸マンション	199	62.8	27.6	42.2	5.5	24.1	30.7	7.5	14.1	3.0	4.0	19.1	8.5	6.0	10.1	0.5	
	社宅・会社寮	10	60.0	20.0	40.0	0.0	10.0	20.0	0.0	30.0	10.0	20.0	10.0	10.0	0.0	10.0	0.0	
	その他	6	16.7	50.0	16.7	16.7	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	16.7	0.0	
居住年数別	1年未満	37	51.4	16.2	40.5	2.7	5.4	13.5	10.8	18.9	0.0	8.1	32.4	13.5	2.7	13.5	5.4	
	1年～5年未満	131	62.6	22.9	42.7	8.4	10.7	37.4	8.4	19.8	5.3	3.1	19.8	6.9	3.8	8.4	0.0	
	5年～10年未満	120	53.3	19.2	38.3	15.0	24.2	30.8	2.5	15.8	2.5	6.7	13.3	6.7	7.5	16.7	0.0	
	10年～20年未満	165	49.7	26.7	32.7	15.2	34.5	40.0	3.0	12.1	2.4	4.8	5.5	5.5	6.1	8.5	0.6	
	20年以上	373	24.4	28.4	31.4	21.4	61.7	24.4	4.6	11.0	1.6	5.6	8.6	5.6	18.0	6.7	0.0	

※網掛けは最も多いもの(その他・無回答を除く)

問 13 で「引っ越したい」を選択された方のみ回答

八潮市から引っ越したい理由は、「交通の便が悪い」、「公共施設が整っていない」がともに 41.6%と最も多く、次いで、「子育て・教育環境が整っていない」が 39.2%となっています。

過去調査と比較すると、「働くところがない（遠い）」、「買い物の便が悪い」、「近所との人間関係が悪い」、「子育て・環境が整っていない」は調査ごとに増加傾向となっています。



※「医療体制が整っていない」「治安が悪い」「自然環境が良くない」「災害の心配がある」は前回調査から新設した項目

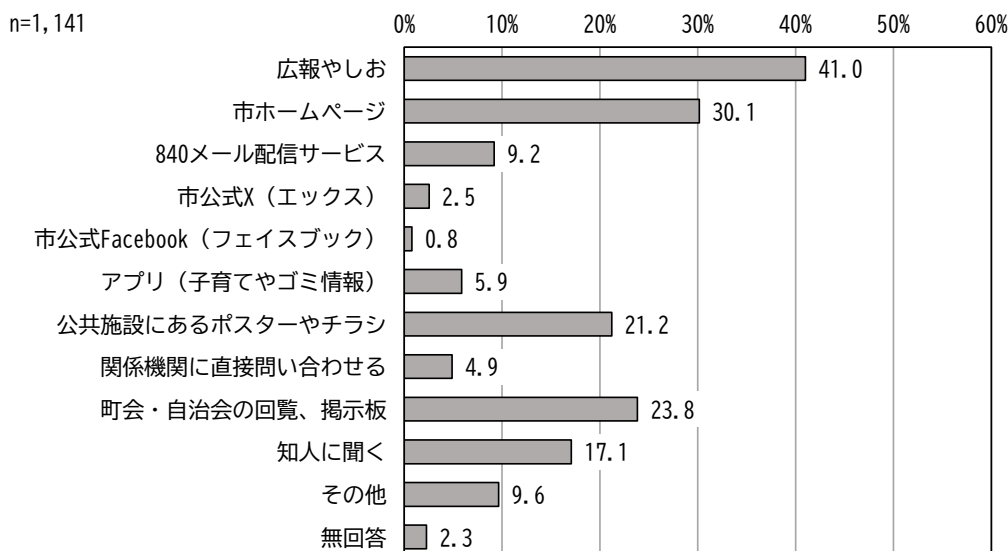
3. 市からの情報について

問 14 あなたは、市からの情報をどのように得ていますか。(あてはまるものすべてに○)

市からの情報源は、「広報やしお」が41.0%と最も多く、次いで、「市ホームページ」が30.1%、「町会・自治会の回覧、掲示板」が23.8%となっています。

年代別でみると、「広報やしお」は40歳代以上で、「知人に聞く」は19歳以下で、「市ホームページ」は20歳代と30歳代で最も多くなっています。また、70歳以上では「町会・自治会の回覧、掲示板」が5割台と他の年代よりも多くなっています。

居住地区別でみると、「広報やしお」はいずれの地区でも4割前後で最も多くなっています。また、「町会・自治会の回覧、掲示板」はAブロックで4割台と他の地区よりも多くなっています。



【年代別、居住地区別】

		(単位：人)												(単位：%)	
		回答者数	広報やしお	市ホームページ	840メール配信サービス	市公式X (エックス)	市公式Facebook (フェイスブック)	市公式アプリ (子育てやゴミ情報)	公共施設にあるポスターやチラシ	関係機関に直接問い合わせる	町会・自治会の回覧、掲示板	知人に聞く	その他	無回答	
全体		1,141	41.0	30.1	9.2	2.5	0.8	5.9	21.2	4.9	23.8	17.1	9.6	2.3	
年代別	19歳以下	22	13.6	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	9.1	50.0	27.3	0.0	
	20歳代	174	16.7	27.6	2.3	3.4	0.6	7.5	23.6	2.3	10.3	25.9	17.8	2.3	
	30歳代	208	29.3	42.3	9.1	3.8	1.0	13.9	25.5	5.8	10.1	18.8	7.2	3.4	
	40歳代	229	39.3	32.8	17.0	3.5	0.9	6.6	21.8	4.8	20.5	16.2	13.1	3.1	
	50歳代	251	49.4	35.5	8.4	2.0	1.2	3.2	16.7	3.6	26.7	14.3	8.8	0.8	
	60歳代	142	58.5	21.1	9.9	0.7	0.7	1.4	22.5	7.7	35.9	10.6	3.5	1.4	
	70歳以上	110	70.0	9.1	7.3	0.9	0.0	0.0	21.8	8.2	58.2	8.2	0.0	3.6	
居住地区別	Aブロック	149	43.6	28.9	8.7	2.7	0.7	4.7	14.8	8.1	41.6	15.4	7.4	2.7	
	Bブロック	312	42.9	27.9	9.3	2.9	1.3	6.7	24.4	5.8	23.4	18.6	8.3	2.9	
	Cブロック	160	43.1	25.0	10.0	1.3	0.0	4.4	20.6	5.6	24.4	18.8	11.9	0.6	
	Dブロック	375	38.1	32.3	8.0	3.2	0.8	7.2	24.5	3.5	14.9	16.3	11.2	2.4	
	Eブロック	136	39.7	36.0	12.5	1.5	0.7	3.7	13.2	2.9	27.9	14.0	8.1	2.2	

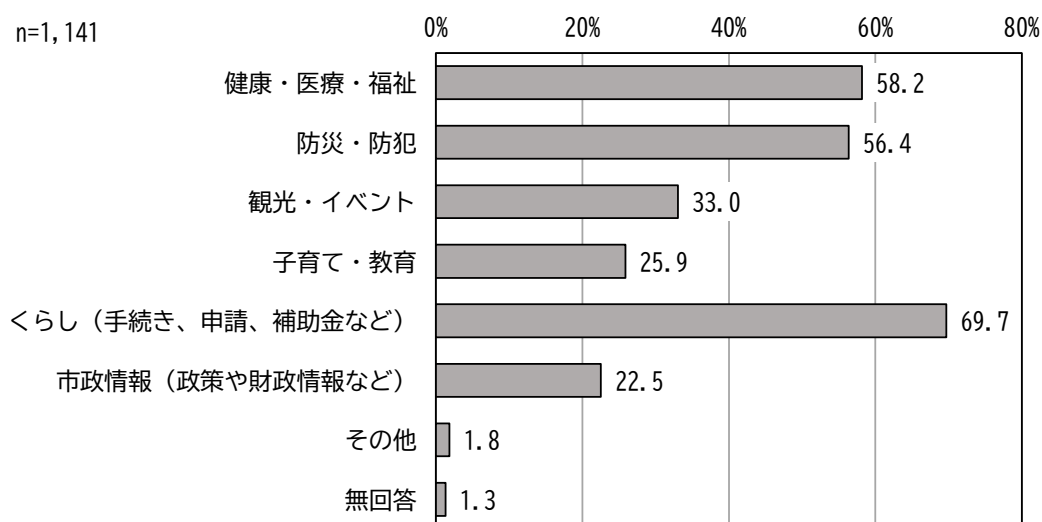
※網掛けは最も多いもの(その他・無回答を除く)

問 15 市から発信してほしい情報は何か。(あてはまるものすべてに○)

市から発信してほしい情報は、「くらし（手続き、申請、補助金など）」が 69.7%と最も多く、次いで、「健康・医療・福祉」が 58.2%、「防災・防犯」が 56.4%となっています。

年代別でみると、「くらし（手続き、申請、補助金など）」は 20 歳代以上で 6 割を超えており、19 歳以下でも 4 割台と最も多くなっています。「健康・医療・福祉」は 60 歳代以上で 7 割台と多くなっています。

居住地区別でみると、「くらし（手続き、申請、補助金など）」はすべての地区で 7 割前後と最も多くなっています。また、「観光・イベント」は D ブロックで 4 割台となっています。



【年代別、居住地区別】

(単位：人)

(単位：%)

	回答者数	健康・医療・福祉	防災・防犯	観光・イベント	子育て・教育	くらし（手続き、申請、補助金など）	市政情報（政策や財政情報など）	その他	無回答
全体	1,141	58.2	56.4	33.0	25.9	69.7	22.5	1.8	1.3
年代別	19歳以下	27.3	36.4	40.9	9.1	45.5	9.1	4.5	0.0
	20歳代	42.5	48.9	39.1	28.7	67.2	21.8	3.4	1.1
	30歳代	43.3	55.3	46.2	56.7	64.9	25.5	1.4	0.5
	40歳代	54.1	58.5	38.9	34.5	67.2	21.4	2.2	2.2
	50歳代	68.1	60.2	23.1	12.7	77.3	23.5	0.8	1.2
	60歳代	78.9	60.6	28.2	7.0	75.4	24.6	0.7	1.4
	70歳以上	74.5	56.4	12.7	0.9	66.4	17.3	2.7	1.8
居住地区別	Aブロック	65.1	57.7	22.8	17.4	73.2	22.8	2.0	0.7
	Bブロック	58.7	56.4	33.7	19.9	67.3	23.1	2.2	0.6
	Cブロック	56.3	55.6	27.5	27.5	76.3	24.4	2.5	0.6
	Dブロック	53.9	55.2	40.3	31.7	67.7	23.7	1.3	2.1
	Eブロック	62.5	59.6	27.9	29.4	68.4	14.7	1.5	2.2

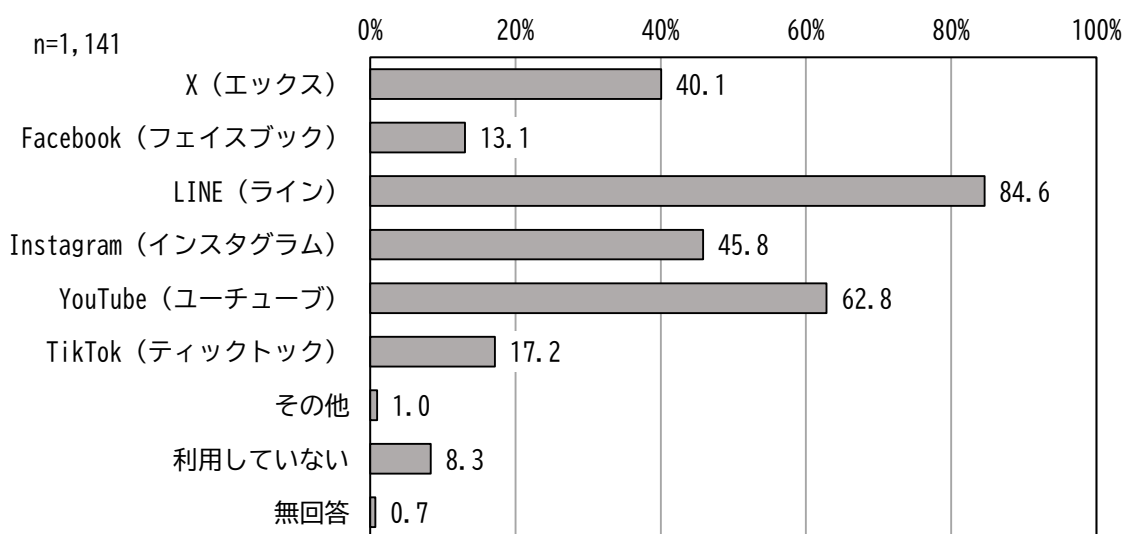
※網掛けは最も多いもの（その他・無回答を除く）

Ⅱ. 市民意識調査結果

問 16 あなたが普段利用している SNS (ソーシャルネットワーキングサービス) を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

普段利用している SNS は、「LINE (ライン)」が 84.6%と最も多く、次いで、「YouTube (ユーチューブ)」が 62.8%、「Instagram (インスタグラム)」が 45.8%となっています。

年代別でみると、「LINE (ライン)」は 70 歳以上を除くすべての年代で 8 割を超えて最も多く、19 歳以下から 40 歳代では 9 割台となっています。「X (エックス)」と「Facebook (フェイスブック)」を除くいずれの SNS も年代が下がるにつれて多くなる傾向にあり、「YouTube (ユーチューブ)」は 40 歳代以下、「Instagram (インスタグラム)」は 30 歳代以下で 6 割を超えています。また、「TikTok (ティクトック)」は 19 歳以下が 8 割台、「X (エックス)」は 20 歳代で 8 割台と他の年代よりも多くなっています。「利用していない」は 70 歳以上で 4 割台と最も多くなっています。



【年代別】

(単位：人)

(単位：%)

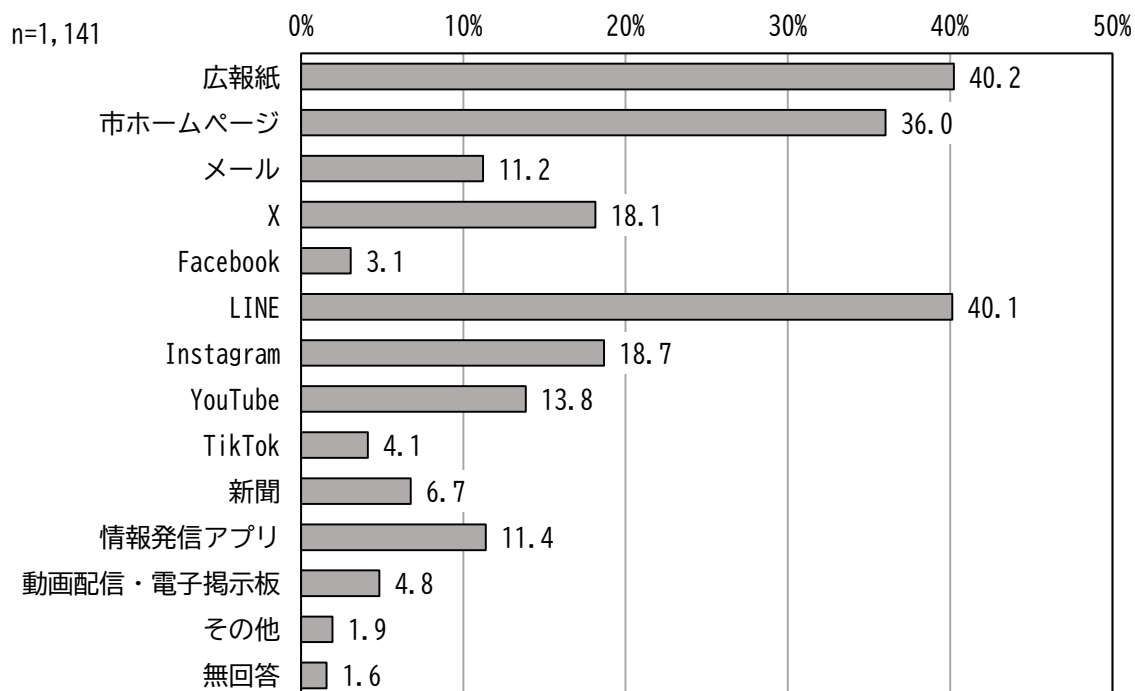
	回答者数	X (エックス)	F (フェイスブック)	L (ライン)	I (インスタグラム)	Y (ユーチューブ)	T (ティクトック)	その他	利用していない	無回答
全体	1,141	40.1	13.1	84.6	45.8	62.8	17.2	1.0	8.3	0.7
19歳以下	22	54.5	0.0	95.5	90.9	90.9	81.8	4.5	0.0	0.0
20歳代	174	81.0	2.9	93.1	78.2	86.8	35.1	1.1	0.6	0.0
30歳代	208	60.1	18.3	91.8	66.3	75.5	16.8	0.0	1.4	0.5
40歳代	229	41.5	19.7	90.0	46.7	64.6	14.0	0.9	3.5	0.0
50歳代	251	21.9	17.1	87.3	35.1	57.0	14.7	0.4	6.0	0.0
60歳代	142	15.5	11.3	81.7	19.7	50.0	9.2	3.5	14.1	0.0
70歳以上	110	5.5	0.9	41.8	3.6	23.6	0.0	0.0	42.7	6.4

※網掛けは最も多いもの（無回答を除く）

問17 今後、どのような手段で市からの情報を入手したいですか。(あてはまるものすべてに○)

今後、市から情報を入手したい手段は、「広報紙」が40.2%と最も多く、次いで、「LINE(ライン)」が40.1%、「市ホームページ」が36.0%となっています。

年代別でみると、「広報紙」は60歳代以上で最も多くなっています。「LINE」は40歳代以下で「市ホームページ」は50歳代で最も多くなっています。



【年代別】

(単位：人)

(単位：%)

		(単位：人)														(単位：%)	
		回答者数	広報紙	市ホームページ	メール	X	Facebook	LINE	Instagram	YouTube	TikTok	新聞	情報発信アプリ	動画配信・電子掲示板	その他	無回答	
全体		1,141	40.2	36.0	11.2	18.1	3.1	40.1	18.7	13.8	4.1	6.7	11.4	4.8	1.9	1.6	
年代別	19歳以下	22	9.1	18.2	9.1	13.6	0.0	31.8	27.3	13.6	13.6	4.5	4.5	9.1	4.5	0.0	
	20歳代	174	20.7	30.5	5.7	35.6	0.6	41.4	31.6	16.1	8.6	6.3	11.5	8.0	1.7	1.1	
	30歳代	208	29.3	33.7	8.7	31.7	3.8	49.0	28.8	15.4	4.3	0.5	16.3	4.8	0.5	2.4	
	40歳代	229	32.8	39.7	11.8	20.1	5.2	48.0	18.3	14.4	3.9	3.1	12.2	3.5	2.6	0.9	
	50歳代	251	41.4	45.0	14.3	9.6	3.2	37.5	17.5	15.9	3.6	3.6	13.5	4.4	2.8	0.8	
	60歳代	142	62.0	36.6	15.5	3.5	3.5	38.0	2.8	7.7	1.4	11.3	5.6	5.6	2.1	1.4	
	70歳以上	110	81.8	23.6	11.8	0.9	0.9	14.5	1.8	9.1	0.0	29.1	4.5	1.8	0.9	4.5	

※網掛けは最も多いもの(その他・無回答を除く)

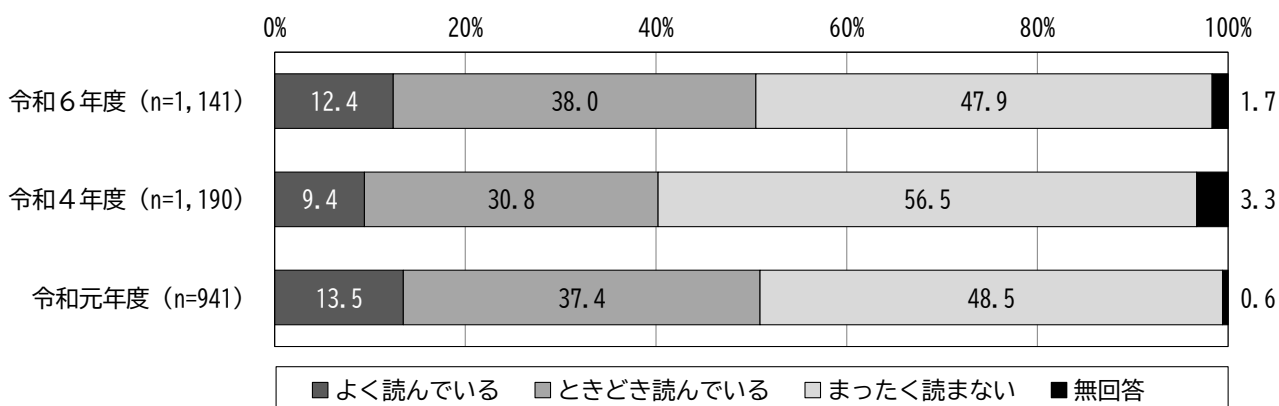
Ⅱ. 市民意識調査結果

問 18 あなたは、「広報やしお」（電子版を含む）をどの程度読みますか。（○は1つ）

「広報やしお」を読む程度は、「よく読んでいます（12.4%）」、「ときどき読んでいます（38.0%）」を合わせた『読んでいます（計）』が 50.4%となっています。一方、「まったく読まない」が 47.9%となっています。

過去の調査と比較すると、前回調査では『読んでいます（計）』は 40.2%、「まったく読まない」は 56.5%となっており、今回調査で『読んでいます（計）』は 10.2 ポイント増加しています。

年代別でみると、『読んでいます（計）』は年代が上がるにつれて多くなる傾向にあり、60 歳以上で 7 割台、70 歳以上は 8 割台となっています。一方、「まったく読まない」は 19 歳以下と 20 歳代で 8 割台と多くなっています。



【年代別】

		(単位：人)		(単位：%)		
		回答者数	よく読んでいる	ときどき読んでいる	まったく読まない	無回答
全体		1,141	12.4	38.0	47.9	1.7
年代別	19歳以下	22	0.0	13.6	86.4	0.0
	20歳代	174	2.3	13.8	82.8	1.1
	30歳代	208	6.7	31.7	59.6	1.9
	40歳代	229	9.2	41.5	48.9	0.4
	50歳代	251	10.8	49.8	38.6	0.8
	60歳代	142	25.4	45.8	26.8	2.1
	70歳以上	110	36.4	47.3	10.0	6.4

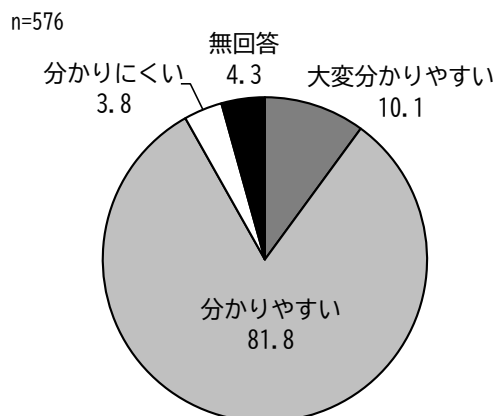
※網掛けは最も多いもの（その他・無回答を除く）

問 18 で「よく読んでいます」または「ときどき読んでいます」を選択された方のみ回答

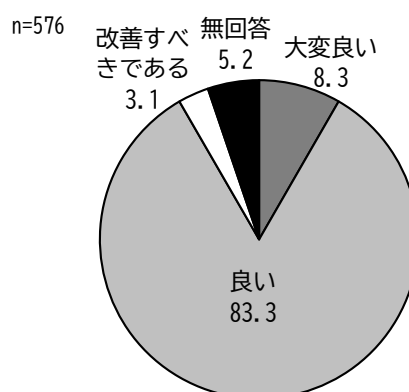
問 18-1 「広報やしお」は、毎月 1 回 12 ページを基本に発行しています。紙面についてお答えください。あてはまる番号それぞれ 1 つに○印をお付けください。

「広報やしお」を『読んでいます（計）』人の中で、記事の分かりやすさは、「大変分かりやすい（10.1%）」、「分かりやすい（81.8%）」を合わせた『分かりやすい（計）』が 91.9%、紙面のレイアウトは、「大変良い（8.3%）」、「良い（83.3%）」を合わせた『良い（計）』が 91.6%、文字の大きさは、「適当である」が 86.1%、ページ数（12 ページ）は、「適当である」が 91.0%、広報紙のサイズ（タブロイド判）は、「適当である」が 91.7%となっています。

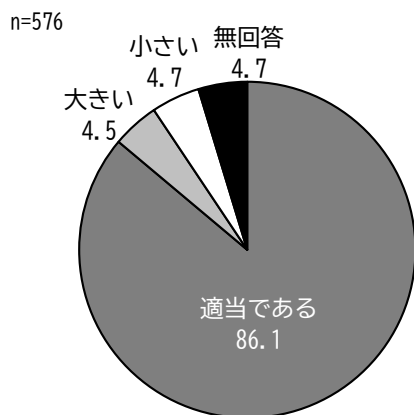
【記事の分かりやすさ】



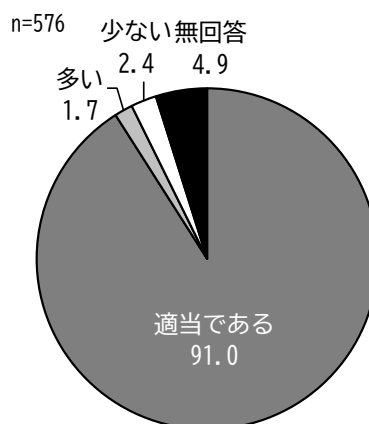
【紙面のレイアウト】



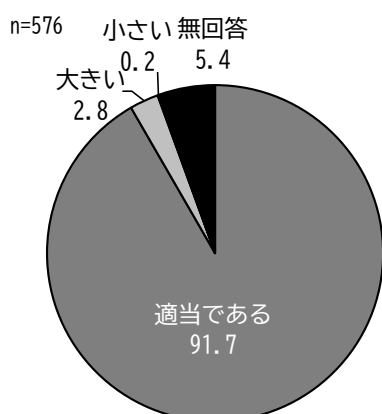
【文字の大きさ】



【ページ数（12 ページ）】



【広報紙のサイズ（タブロイド版）】



Ⅱ. 市民意識調査結果

《年代別》

【記事の分かりやすさ】

		(単位：人)	(単位：％)			
	回答者数		大変分かりやすい	分かりやすい	分かりにくい	無回答
全体	576		10.1	81.8	3.8	4.3
年代別	19歳以下	3	33.3	66.7	0.0	0.0
	20歳代	28	14.3	85.7	0.0	0.0
	30歳代	80	18.8	76.3	3.8	1.3
	40歳代	116	7.8	86.2	3.4	2.6
	50歳代	152	5.9	83.6	4.6	5.9
	60歳代	101	7.9	80.2	4.0	7.9
	70歳以上	92	12.0	79.3	4.3	4.3

※網掛けは最も多いもの（無回答を除く）

【紙面のレイアウト】

		(単位：人)	(単位：％)			
	回答者数		大変良い	良い	改善すべきである	無回答
全体	576		8.3	83.3	3.1	5.2
年代別	19歳以下	3	33.3	66.7	0.0	0.0
	20歳代	28	10.7	85.7	0.0	3.6
	30歳代	80	13.8	81.3	3.8	1.3
	40歳代	116	6.0	87.1	3.4	3.4
	50歳代	152	4.6	86.2	3.3	5.9
	60歳代	101	6.9	79.2	3.0	10.9
	70歳以上	92	12.0	80.4	3.3	4.3

※網掛けは最も多いもの（無回答を除く）

【文字の大きさ】

		(単位：人)	(単位：％)			
	回答者数		適当である	大きい	小さい	無回答
全体	576		86.1	4.5	4.7	4.7
年代別	19歳以下	3	66.7	33.3	0.0	0.0
	20歳代	28	96.4	3.6	0.0	0.0
	30歳代	80	87.5	3.8	6.3	2.5
	40歳代	116	92.2	5.2	0.9	1.7
	50歳代	152	85.5	3.3	4.6	6.6
	60歳代	101	81.2	4.0	6.9	7.9
	70歳以上	92	81.5	5.4	7.6	5.4

※網掛けは最も多いもの（無回答を除く）

【ページ数（12ページ）】

		(単位：人)	(単位：％)			
	回答者数		適当である	多い	少ない	無回答
全体	576		91.0	1.7	2.4	4.9
年代別	19歳以下	3	100.0	0.0	0.0	0.0
	20歳代	28	100.0	0.0	0.0	0.0
	30歳代	80	90.0	3.8	3.8	2.5
	40歳代	116	94.8	0.9	2.6	1.7
	50歳代	152	90.8	2.0	0.7	6.6
	60歳代	101	84.2	2.0	5.0	8.9
	70歳以上	92	91.3	1.1	2.2	5.4

※網掛けは最も多いもの（無回答を除く）

【広報紙のサイズ（タブロイド判）】

		(単位：人)	(単位：％)			
	回答者数		適当である	大きい	小さい	無回答
全体	576		91.7	2.8	0.2	5.4
年代別	19歳以下	3	100.0	0.0	0.0	0.0
	20歳代	28	96.4	3.6	0.0	0.0
	30歳代	80	90.0	6.3	0.0	3.8
	40歳代	116	94.0	3.4	0.0	2.6
	50歳代	152	91.4	2.0	0.0	6.6
	60歳代	101	87.1	2.0	1.0	9.9
	70歳以上	92	94.6	0.0	0.0	5.4

※網掛けは最も多いもの（無回答を除く）

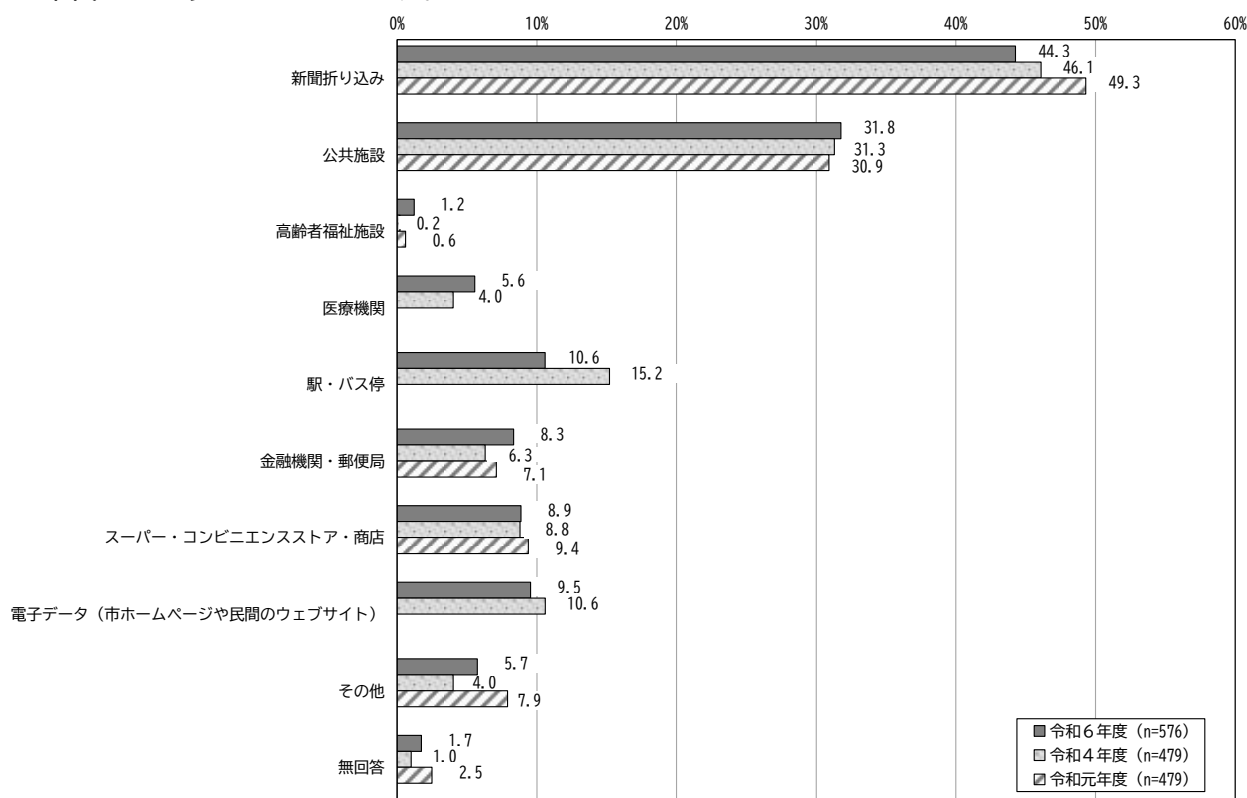
問 18 で「よく読んでいます」または「ときどき読んでいます」を選択された方のみ回答

問 18-2 あなたは、「広報やしお」をどのような方法で入手していますか。（あてはまるものすべてに○）

「広報やしお」を『読んでいます（計）』人の入手方法は、「新聞折り込み」が 44.3%と最も多く、次いで、「公共施設」が 31.8%、「駅・バス停」が 10.6%となっています。

過去の調査と比較すると、前回調査では「新聞折り込み」は 46.1%となっており、今回調査で 1.8 ポイント減少しています。

年代別でみると、「新聞折り込み」は 20 歳代と 50 歳代以上で最も多く、特に 70 歳以上では 6 割台となっています。「公共施設」では 19 歳以下が 6 割台、30 歳代と 40 歳代が 4 割台で他の年代よりも多くなっています。



※「医療機関」「駅・バス停」「電子データ（市ホームページや民間のウェブサイト）」は前回調査から新設した項目

【年代別】

(単位：人)		(単位：％)									
	回答者数	新聞折り込み	公共施設	高齢者福祉施設	医療機関	駅・バス停	金融機関・郵便局	スーパー・コンビニエンスストア・商店	電子データ（市ホームページや民間のウェブサイト）	その他	無回答
全体	576	44.3	31.8	1.2	5.6	10.6	8.3	8.9	9.5	5.7	1.7
年代別	19歳以下	3	33.3	66.7	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	20歳代	28	60.7	17.9	0.0	0.0	7.1	0.0	14.3	7.1	0.0
	30歳代	80	26.3	47.5	2.5	2.5	11.3	2.5	7.5	17.5	1.3
	40歳代	116	31.0	40.5	2.6	6.9	18.1	9.5	8.6	13.8	0.0
	50歳代	152	44.7	25.7	0.7	7.9	11.8	7.9	9.2	6.6	5.3
	60歳代	101	51.5	27.7	0.0	4.0	5.9	7.9	7.9	7.9	5.0
	70歳以上	92	63.0	25.0	1.1	5.4	4.3	15.2	12.0	3.3	1.1

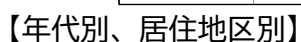
※網掛けは最も多いもの（その他・無回答を除く）

問 18 で「まったく読まない」を選択された方のみ回答

「広報やしお」をまったく読まない人の理由は、「新聞を購読していない」が63.2%と最も多く、次いで、「インターネットなど他の手段で情報を取得している」が26.7%、「公共施設など広報紙を設置しているところが近くにない」、「必要な情報がない」がともに19.0%となっています。

年代別でみると、「新聞を購読していない」はすべての年代で最も多く、特に20歳から50歳代で6割台となっています。また、「必要な情報がない」は19歳以下、70歳以上で3割台となっています。

居住地区別でみると、「新聞を購読していない」はいずれの地区でも6割を超えて最も多くなっています。また、「インターネットなど他の手段で情報を取得している」はAブロックとEブロックで3割台と他の地区よりも多くなっています。



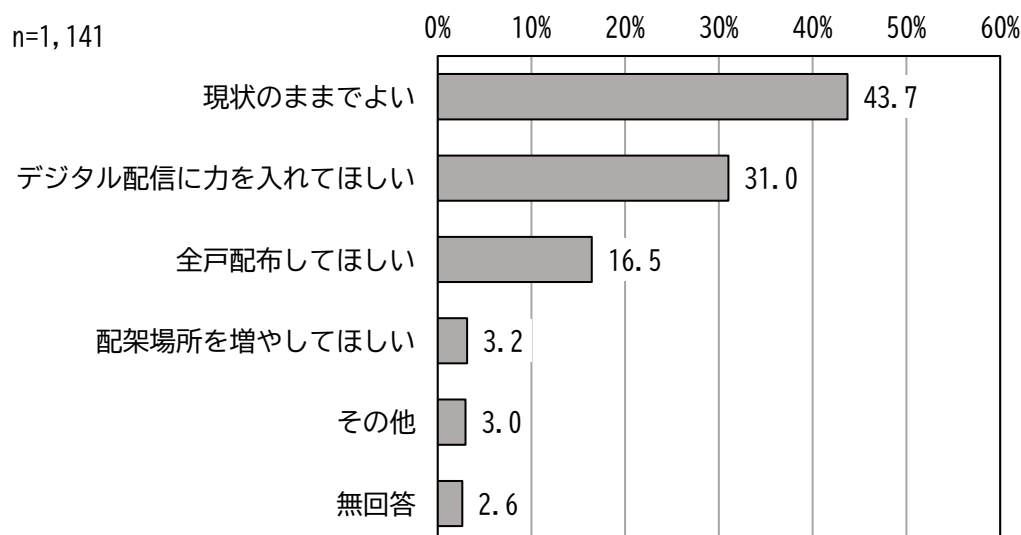
※網掛けは最も多いもの（その他・無回答を除く）

問 19 現在「広報やしお」は新聞折り込みで配布のほか、公共施設、医療機関、駅、スーパーなどに配架しています。今後はどのような方法がよいと思いますか。(〇は1つ)

今後「広報やしお」の配布方法は、「現状のままでよい」が43.7%と最も多く、次いで、「デジタル配信に力を入れてほしい」が31.0%、「全戸配布してほしい」が16.5%となっています。

年代別でみると、「現状のままでよい」は19歳以下と40歳代以上で、「デジタル配信に力を入れてほしい」は20歳代と30歳代で4割を超えて最も多くなっています。

居住地区別でみると、「現状のままでよい」はいずれの地区でも3割を超えて最も多くなっています。



【年代別、居住地区別】

(単位：人)

(単位：%)

		(単位：人)		(単位：%)				
		回答者数	現状のままでよい	デジタル配信に力を入れてほしい	全戸配布してほしい	配架場所を増やしてほしい	その他	無回答
全体		1,141	43.7	31.0	16.5	3.2	3.0	2.6
年代別	19歳以下	22	50.0	27.3	18.2	0.0	4.5	0.0
	20歳代	174	35.6	48.3	9.8	2.3	2.3	1.7
	30歳代	208	33.2	45.7	11.5	3.4	2.9	3.4
	40歳代	229	40.2	34.9	15.3	5.2	2.2	2.2
	50歳代	251	46.2	25.5	20.3	1.2	5.2	1.6
	60歳代	142	52.8	14.8	19.7	4.9	3.5	4.2
	70歳以上	110	65.5	3.6	25.5	0.9	0.0	4.5
居住地区別	Aブロック	149	49.0	21.5	19.5	3.4	4.7	2.0
	Bブロック	312	41.0	33.0	17.3	1.6	3.2	3.8
	Cブロック	160	37.5	31.9	24.4	3.1	1.9	1.3
	Dブロック	375	46.1	33.6	12.8	3.2	2.4	1.9
	Eブロック	136	45.6	29.4	12.5	5.1	3.7	3.7

※網掛けは最も多いもの（その他・無回答を除く）

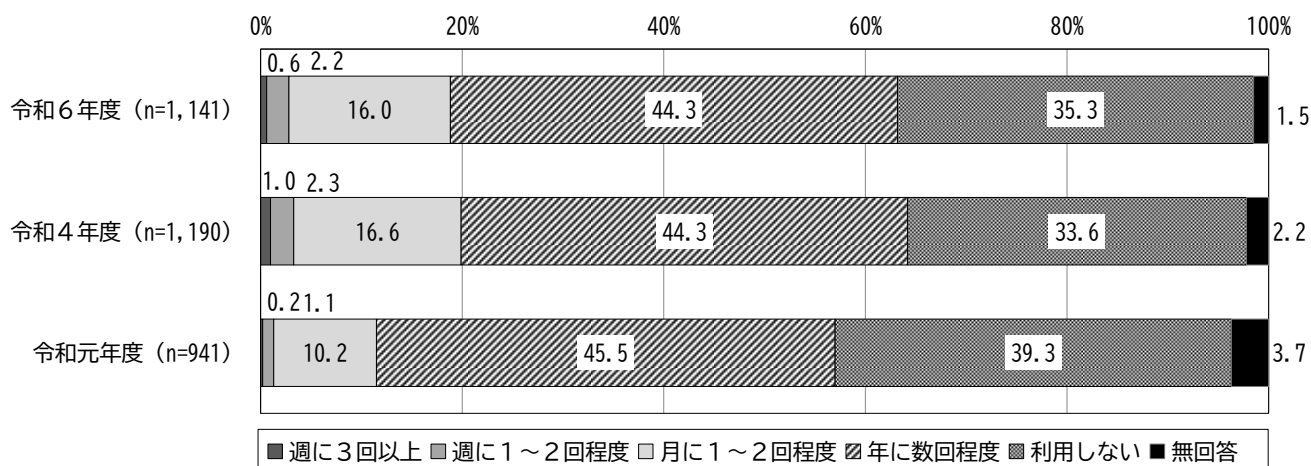
Ⅱ. 市民意識調査結果

問 20 あなたは八潮市の公式ホームページをどれぐらいの頻度でご覧になりますか。(〇は1つ)

市ホームページの閲覧頻度は、「年に数回程度」が 44.3%と最も多く、次いで、「利用しない」が 35.3%、「月に1～2回程度」が 16.0%となっています。

過去調査と比較すると、前回調査では「月に1～2回程度」は 16.6%となっており、今回調査で 0.6 ポイント減少しており、『利用している（計）』は 1.1 ポイント減少しています。

年代別でみると、「年に数回程度」は 30 歳代から 50 歳代にかけて最も多く、5 割台となっています。「利用しない」は 20 歳代以下と 60 歳代以上で最も多くなっており、特に 19 歳以下は 8 割台と多くなっています。



【年代別】

(単位：人)		(単位：%)						
		回答者数	週に3回以上	週に1～2回程度	月に1～2回程度	年に数回程度	利用しない	無回答
全体		1,141	0.6	2.2	16.0	44.3	35.3	1.5
年代別	19歳以下	22	0.0	0.0	4.5	13.6	81.8	0.0
	20歳代	174	0.0	2.3	13.2	33.3	50.0	1.1
	30歳代	208	1.4	1.4	15.9	53.4	26.0	1.9
	40歳代	229	0.9	2.2	18.8	56.8	21.4	0.0
	50歳代	251	0.0	3.2	14.3	51.8	30.3	0.4
	60歳代	142	0.0	1.4	18.3	38.7	40.1	1.4
	70歳以上	110	1.8	2.7	18.2	15.5	54.5	7.3

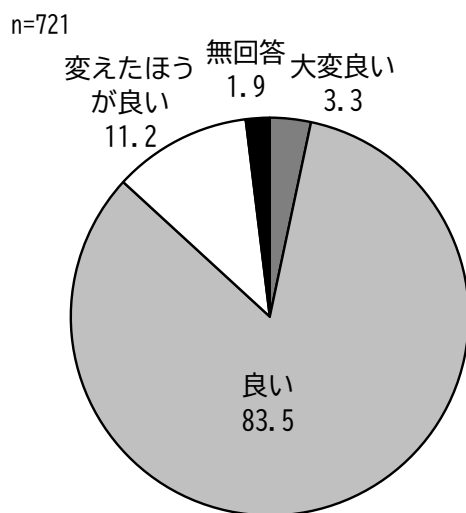
※網掛けは最も多いもの（無回答を除く）

問 20 で「週に3回以上」～「年に数回程度」を選択された方のみ回答

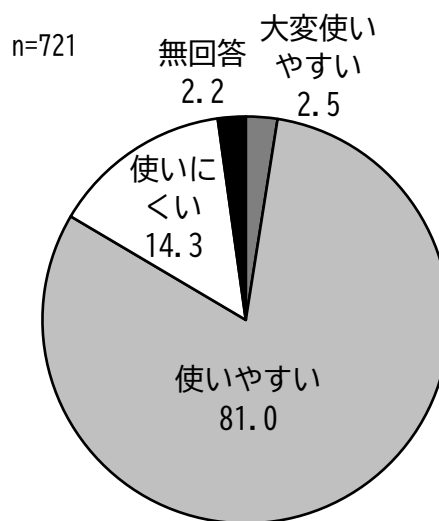
問 20-1 市ホームページについてお答えください。あてはまる番号それぞれ1つに○印をお付けください。

市のホームページを利用している人の中で、ホームページのデザインは、「大変良い(3.3%)」、「良い(83.5%)」を合わせた『良い(計)』が86.8%、使いやすさ(操作性)は、「大変使いやすい(2.5%)」、「使いやすい(81.0%)」を合わせた『使いやすい(計)』が83.5%、写真やイラストは、「大変良い(3.2%)」、「良い(86.4%)」を合わせた『良い(計)』が89.6%情報の見つけやすさ(分類方法)は、「大変見つけやすい(2.6%)」、「見つけやすい(72.1%)」を合わせた『見つけやすい(計)』が74.7%となっています。

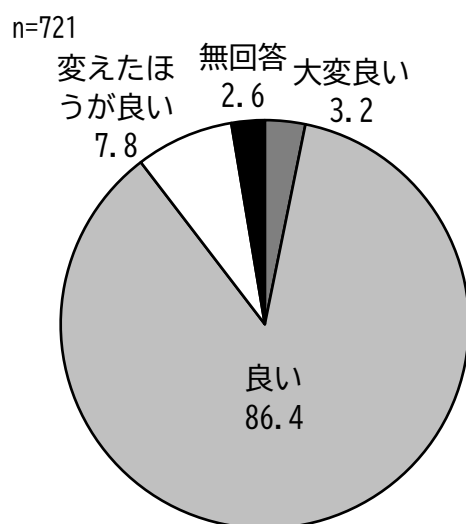
【デザイン】



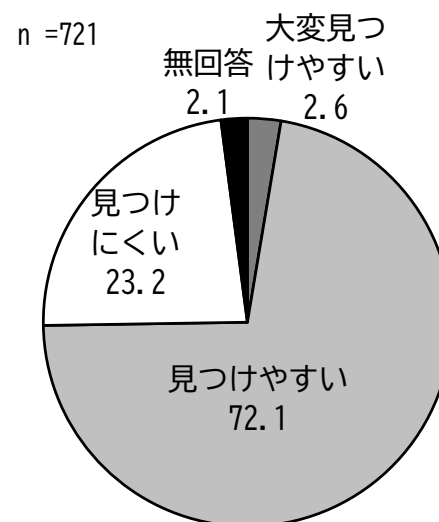
【使いやすさ(操作性)】



【写真やイラスト】



【情報の見つけやすさ(分類方法)】



Ⅱ. 市民意識調査結果

《年代別》

【デザイン】

		(単位：人)	(単位：％)			
		回 答 者 数	大 変 良 い	良 い	変 え た ほう が 良 い	無 回 答
全体		721	3.3	83.5	11.2	1.9
年代別	19歳以下	4	50.0	50.0	0.0	0.0
	20歳代	85	4.7	89.4	5.9	0.0
	30歳代	150	2.7	82.7	11.3	3.3
	40歳代	180	2.2	82.8	14.4	0.6
	50歳代	174	2.9	82.2	12.6	2.3
	60歳代	83	3.6	84.3	12.0	0.0
	70歳以上	42	4.8	85.7	0.0	9.5

※網掛けは最も多いもの（無回答を除く）

【使いやすさ（操作性）】

		(単位：人)	(単位：％)			
		回答者数	大変使いやすい	使いやすい	使いにくい	無回答
全体		721	2.5	81.0	14.3	2.2
年代別	19歳以下	4	50.0	50.0	0.0	0.0
	20歳代	85	1.2	91.8	7.1	0.0
	30歳代	150	1.3	83.3	12.0	3.3
	40歳代	180	1.1	78.3	18.9	1.7
	50歳代	174	3.4	77.6	16.7	2.3
	60歳代	83	3.6	80.7	15.7	0.0
	70歳以上	42	4.8	81.0	4.8	9.5

※網掛けは最も多いもの（無回答を除く）

【写真やイラスト】

		(単位：人)	(単位：%)			
		回答者数	大変良い	良い	良い変えたほうが	無回答
全体		721	3.2	86.4	7.8	2.6
年代別	19歳以下	4	50.0	50.0	0.0	0.0
	20歳代	85	4.7	91.8	3.5	0.0
	30歳代	150	1.3	88.7	6.0	4.0
	40歳代	180	2.8	85.6	10.0	1.7
	50歳代	174	2.9	83.3	10.3	3.4
	60歳代	83	3.6	89.2	7.2	0.0
	70歳以上	42	4.8	83.3	2.4	9.5

※網掛けは最も多いもの（無回答を除く）

【情報の見つけやすさ（分類方法）】

		(単位：人)	(単位：%)			
		回 答 者 数	や す い 大 変 見 つ け	見 つ け や す い	見 つ け に く い	無 回 答
全体		721	2.6	72.1	23.2	2.1
年代別	19歳以下	4	25.0	75.0	0.0	0.0
	20歳代	85	2.4	85.9	11.8	0.0
	30歳代	150	2.0	66.7	29.3	2.0
	40歳代	180	2.2	68.3	28.9	0.6
	50歳代	174	2.3	72.4	22.4	2.9
	60歳代	83	3.6	73.5	20.5	2.4
	70歳以上	42	4.8	76.2	9.5	9.5

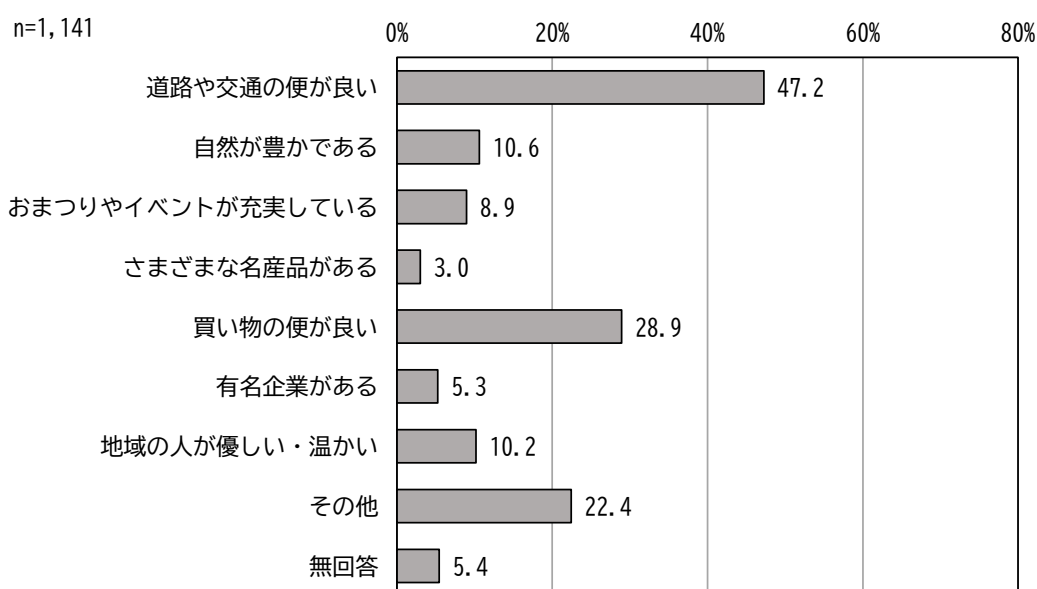
※網掛けは最も多いもの（無回答を除く）

問 21 八潮市が市内外に誇れる魅力は何だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

八潮市が市内外に誇れる魅力は、「道路や交通の便が良い」が 47.2%と最も多く、次いで、「買い物の便が良い」が 28.9%となっています。

年代別で見ると、「道路や交通の便が良い」は 70 歳以上を除くすべての年代で最も多く、特に 19 歳以下から 40 歳代で 5 割台となっています。「買い物の便が良い」は 60 歳代と 70 歳以上で 3 割台、「自然が豊かである」は 70 歳以上で 2 割台と他の年代よりも多くなっています。

居住地区別で見ると、「道路や交通の便が良い」は A ブロックを除くすべての地区で最も多く、特に D ブロックでは約 6 割となっています。また、「買い物の便が良い」は C ブロックと D ブロックを除くすべての地区で 3 割台となっています。



【年代別、居住地区別】

(単位：人)		(単位：%)									
		回答者数	道路や交通の便が良い	自然が豊かである	おまつりやイベントが充実している	さまざまな名産品がある	買い物の便が良い	有名企業がある	地域の人が優しい・温かい	その他	無回答
全体		1,141	47.2	10.6	8.9	3.0	28.9	5.3	10.2	22.4	5.4
年代別	19歳以下	22	50.0	4.5	13.6	4.5	27.3	4.5	4.5	22.7	0.0
	20歳代	174	52.3	10.3	13.2	2.9	25.9	6.9	9.2	18.4	2.9
	30歳代	208	53.4	8.2	13.9	3.4	27.9	7.7	6.7	19.2	5.8
	40歳代	229	58.1	8.3	8.7	2.6	26.6	6.1	8.7	21.0	3.9
	50歳代	251	40.6	9.2	6.0	2.0	28.7	3.6	11.6	29.1	5.6
	60歳代	142	37.3	13.4	5.6	3.5	33.8	3.5	9.2	25.4	4.9
	70歳以上	110	32.7	20.9	3.6	3.6	34.5	2.7	18.2	19.1	13.6
居住地区別	Aブロック	149	28.2	15.4	3.4	2.0	33.6	6.7	11.4	24.8	5.4
	Bブロック	312	47.4	7.1	10.3	2.6	33.3	4.8	12.2	23.7	3.5
	Cブロック	160	42.5	11.9	9.4	4.4	14.4	7.5	10.0	28.8	7.5
	Dブロック	375	58.7	10.4	11.2	2.7	28.0	4.3	7.7	18.1	5.3
	Eブロック	136	41.9	12.5	5.1	3.7	32.4	5.1	9.6	21.3	8.1

※網掛けは最も多いもの(その他・無回答を除く)

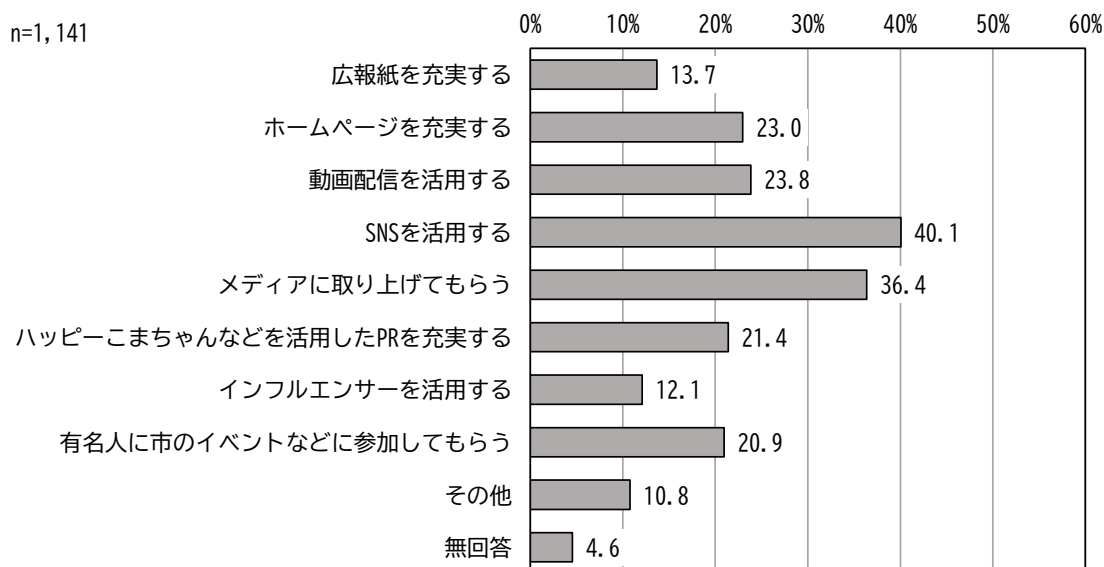
Ⅱ. 市民意識調査結果

問 22 八潮市の魅力をさらに市内外の方に PR するにはどのような方法が効果的だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

八潮市の魅力を市内外の方に PR する効果的な方法は、「SNS を活用する」が 40.1%と最も多く、次いで、「メディアに取り上げてもらう」が 36.4%となっています。

年代別でみると、「SNS を活用する」は 40 歳代以下で最も多くなっています。「メディアに取り上げてもらう」は 50 歳代と 60 歳代で最も多くなっています。「広報紙を充実する」は 70 歳代以上で最も多く、4 割台となっています。

居住地区別でみると、「SNS を活用する」、「メディアに取り上げてもらう」はともにいずれの地区でも 3 割以上と多くなっています。「SNS を活用する」は D ブロックで 4 割台、「メディアに取り上げてもらう」は B ブロックで 4 割台と他の地区よりも多くなっています。



【年代別、居住地区別】

		(単位：人)				(単位：%)							
		回答者数	広報紙を充実する	ホームページを充実する	動画配信を活用する	S N Sを活用する	メディアに取り上げてもらう	充実する を活用した P Rを	ハッピーこまちゃんなどを活用する	インフルエンサーを 活用する	有名人に市のイベントなどに参加してもらう	その他	無回答
全体		1,141	13.7	23.0	23.8	40.1	36.4	21.4	12.1	20.9	10.8	4.6	
年代別	19歳以下	22	9.1	13.6	22.7	59.1	22.7	22.7	27.3	18.2	4.5	0.0	
	20歳代	174	5.2	18.4	22.4	60.9	46.0	17.2	20.7	19.0	8.0	2.3	
	30歳代	208	5.8	21.6	26.9	56.3	42.8	20.2	14.9	21.6	12.5	3.4	
	40歳代	229	7.9	24.0	26.2	45.0	35.4	23.6	13.1	20.5	11.8	3.5	
	50歳代	251	13.1	27.5	23.9	33.1	34.3	21.1	8.8	22.3	10.8	4.0	
	60歳代	142	23.9	28.2	23.9	19.7	33.8	23.9	7.7	26.1	13.4	4.2	
	70歳以上	110	42.7	14.5	13.6	4.5	23.6	22.7	1.8	12.7	8.2	15.5	
居住地区別	Aブロック	149	20.8	23.5	24.8	37.6	31.5	30.2	8.7	18.8	6.7	3.4	
	Bブロック	312	12.8	22.4	24.7	38.1	40.7	23.7	13.8	24.0	10.9	2.9	
	Cブロック	160	15.6	20.6	23.8	37.5	35.0	21.3	8.1	20.6	10.0	7.5	
	Dブロック	375	9.6	21.6	21.9	47.5	37.6	19.5	13.3	18.9	13.1	4.3	
	Eブロック	136	16.2	30.1	25.7	30.1	32.4	12.5	14.0	20.6	9.6	7.4	

※網掛けは最も多いもの(その他・無回答を除く)

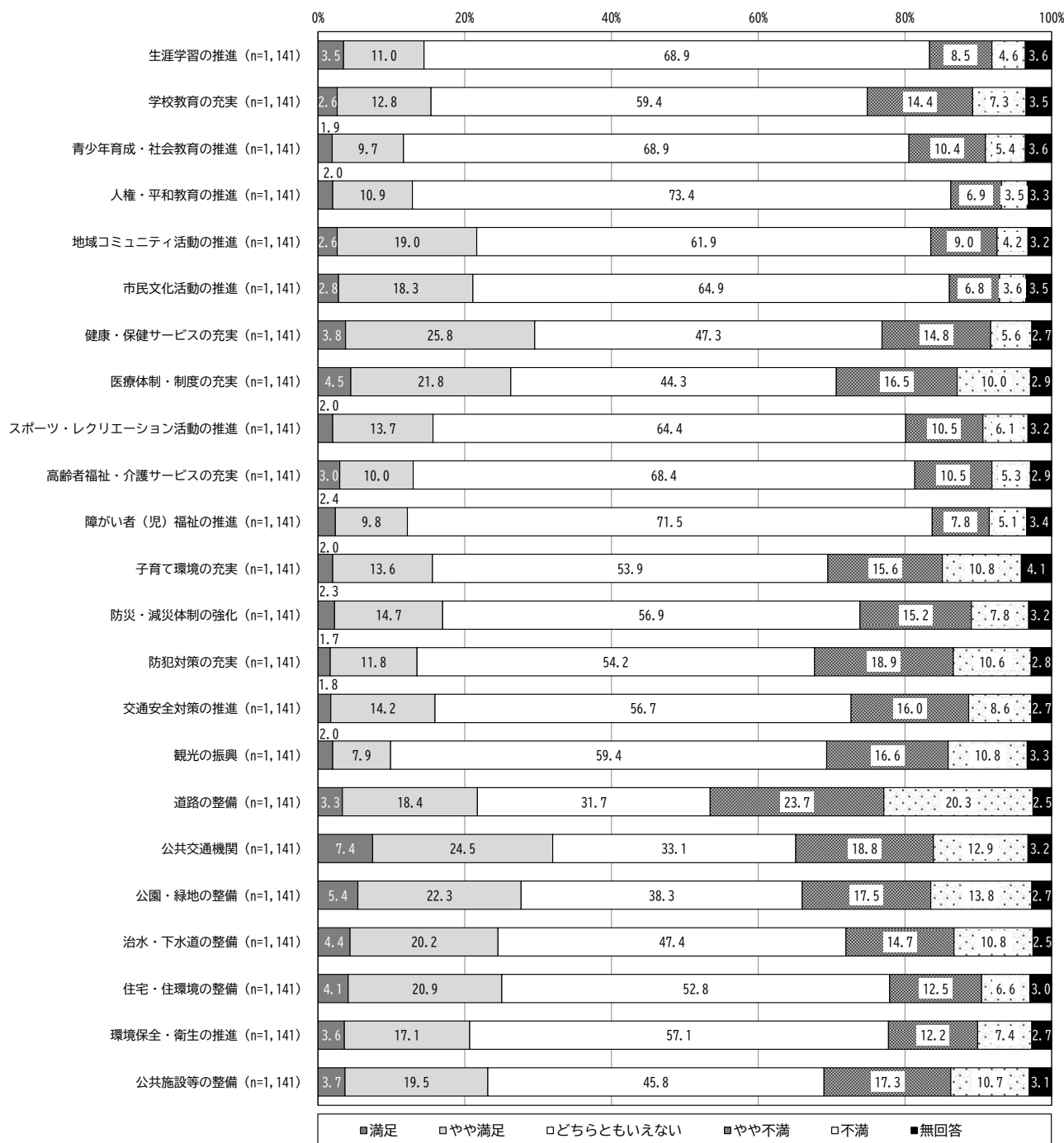
4. 市政に対する評価と今後への期待

問 23 以下の 23 項目について、満足度をお答えください。回答例にならって、これまで進めてきた施策の「満足度」について、今のお気持ちに最も近い番号を 1 つずつ選んで回答欄に○印をお付けください。

23 項目の市政に対する満足度を見ると、「満足」では、『公共交通機関』が 7.4%、「やや満足」では、『健康・保健サービスの充実』が 25.8%で最も多くなっています。

「どちらともいえない」では、『人権・平和教育の推進』が 73.4%と最も多くなっています。

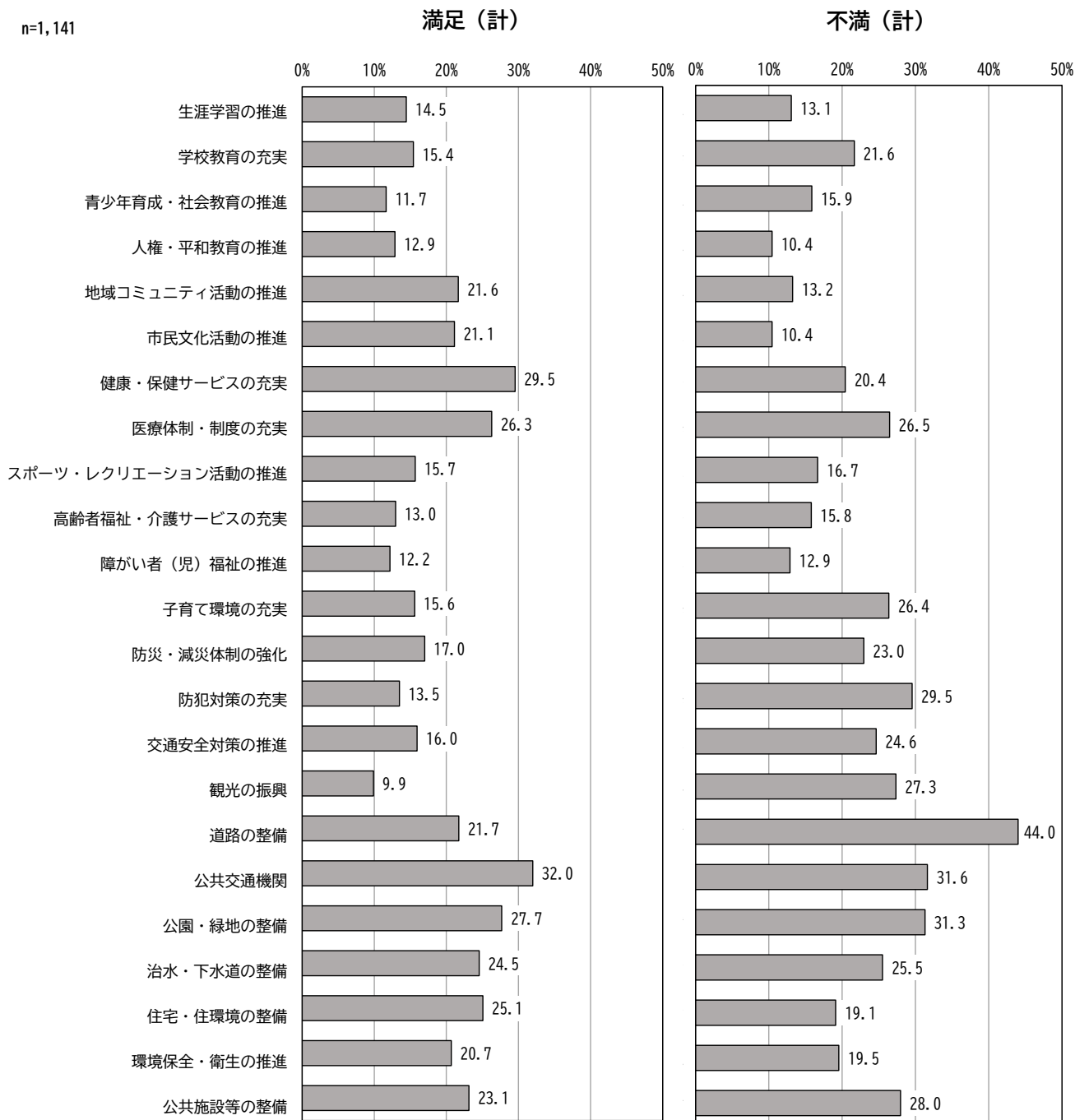
「やや不満」では、『道路の整備』が 23.7%、「不満」では、『道路の整備』が 20.3%で最も多くなっています。



Ⅱ. 市民意識調査結果

『満足（計）』と『不満（計）』

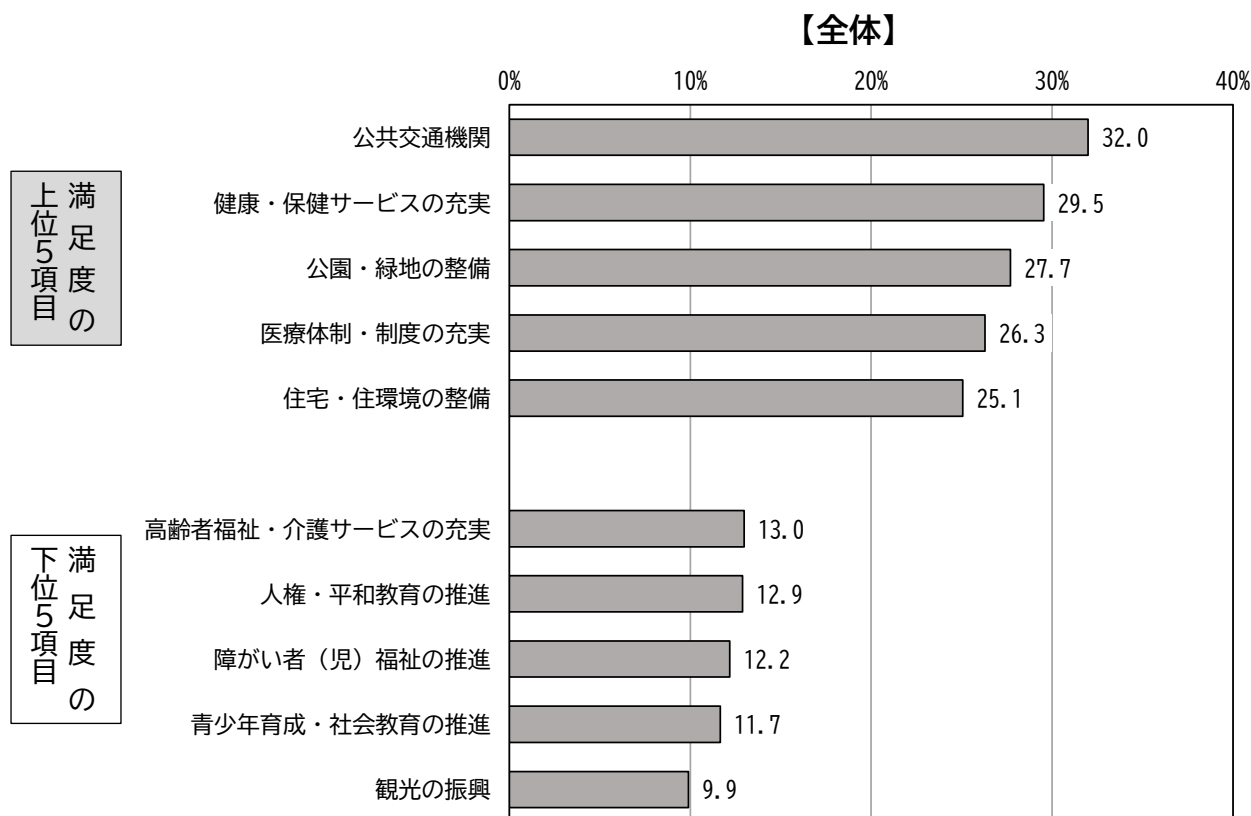
15項目中で『満足（計）』は「公共交通機関」が32.0%と最も多く、次いで「健康・保健サービスの充実」が29.5%、「公園・緑地の整備」が27.7%、「医療体制・制度の充実」が26.3%の順になっています。一方、『不満（計）』は「道路の整備」が44.0%と最も多く、次いで「公共交通機関」が31.6%、「公園・緑地の整備」が31.3%、「防犯対策の充実」が29.5%の順に続いています。



※「満足」、「やや満足」を合わせたものが『満足（計）』
「やや不満」、「不満」を合わせたものが『不満（計）』

【満足度の上位及び下位5項目】

全体の『満足（計）』の上位5項目は、「公共交通機関」が3割台、「健康・保健サービスの充実」、「公園・緑地の整備」、「医療体制・制度の充実」、「住宅・環境の整備」が2割台となっています。『満足（計）』の下位5項目は、「観光の振興」が1割未満で最も少なく、「青少年育成・社会教育推進」、「障がい者（児）福祉の推進」、「人権・平和教育の推進」、「高齢者福祉・介護サービスの充実」が1割台となっています。

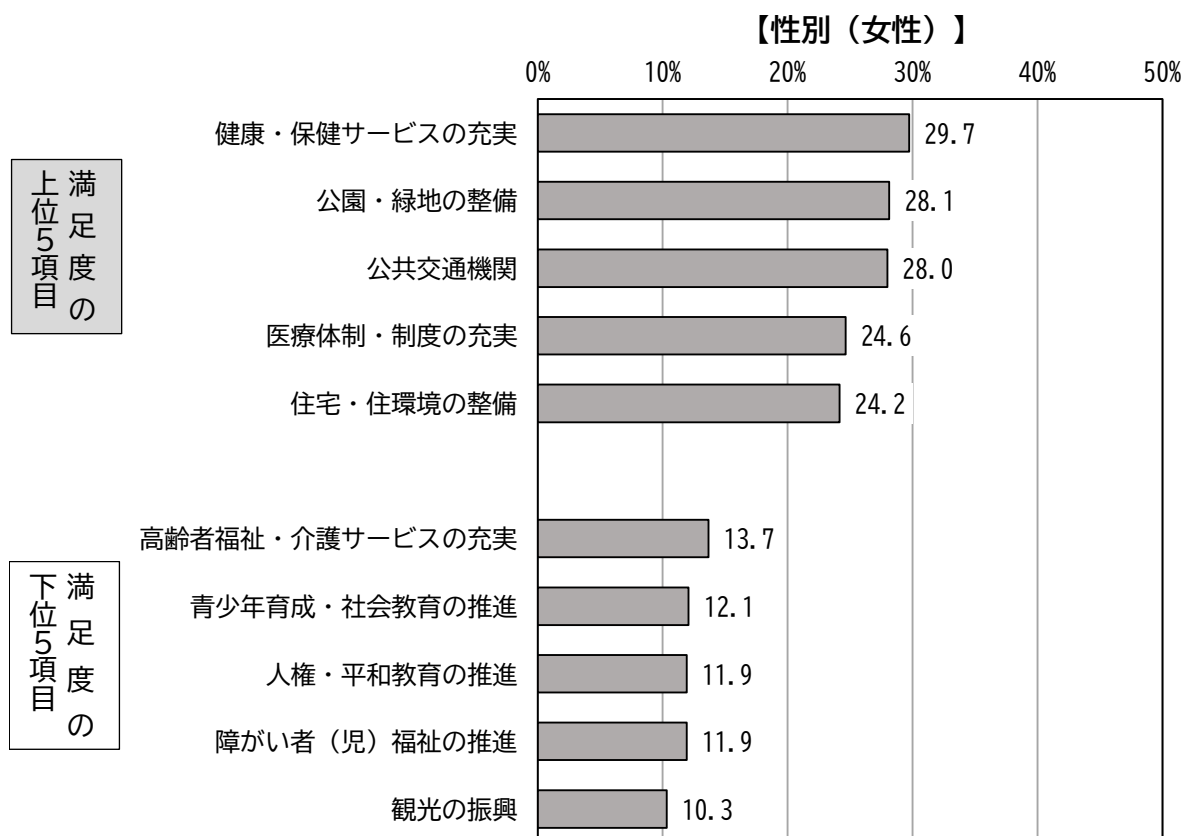
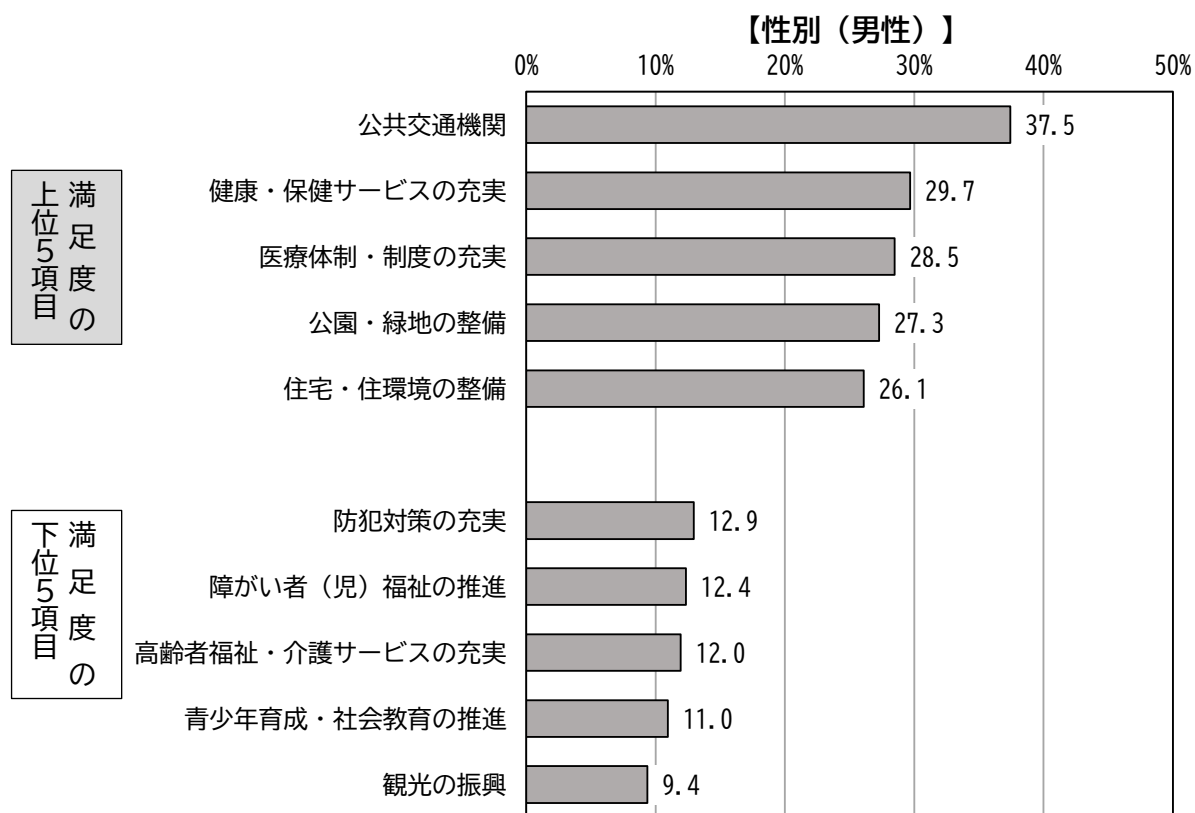


※上位及び下位5項目の図の表示について

全項目を数値の大きい順に並び変えた後、同率・同順位のものが発生している項目について選択肢番号の順で並べ替えをしました。この順で表示された上位5項目、下位5項目です。（48ページまで同様）

Ⅱ. 市民意識調査結果

性別でみると、『満足（計）』の上位5項目は、男女ともに同じ項目が入っており、「公共交通機関」は性別による違いもみられます。下位5項目は、「障がい者（児）福祉の推進」、「高齢者福祉・介護サービスの充実」、「青少年育成・社会教育の推進」、「観光の振興」が男女ともに入っているが、「防犯対策の充実」は男性で、「人権・平和教育の推進」は女性で入っており、性別による違いもみられます。

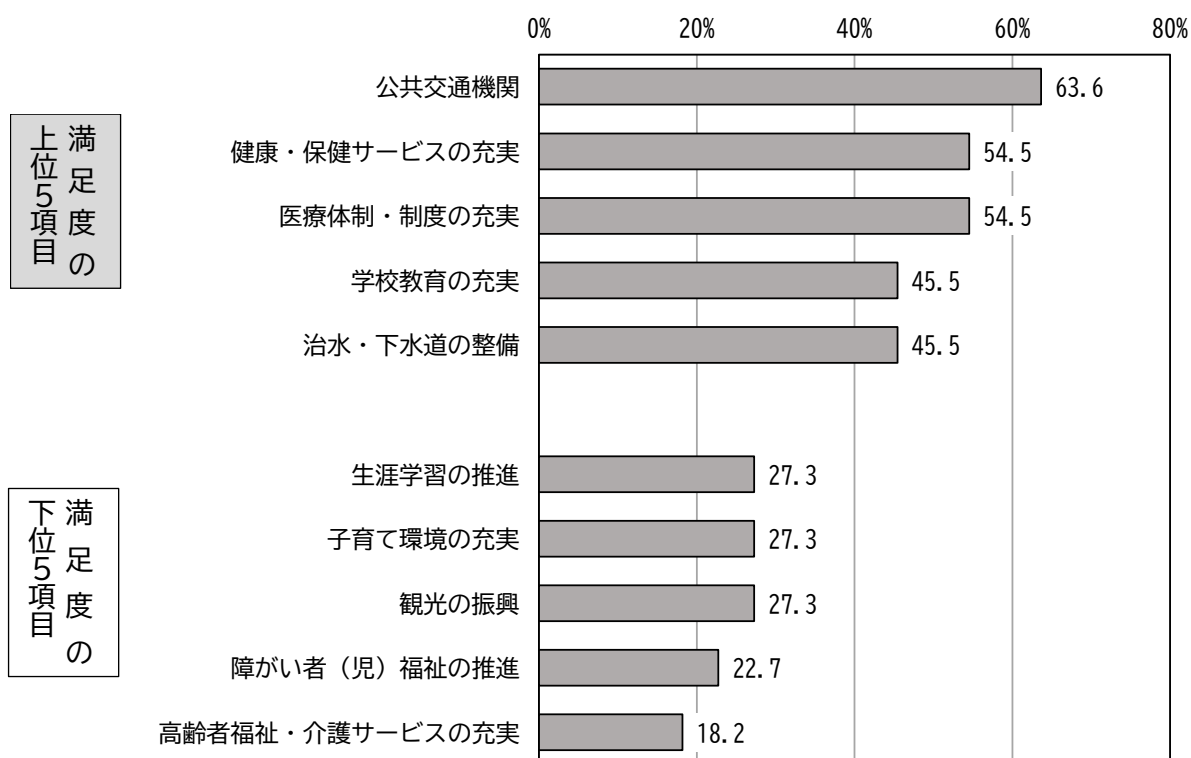


Ⅱ. 市民意識調査結果

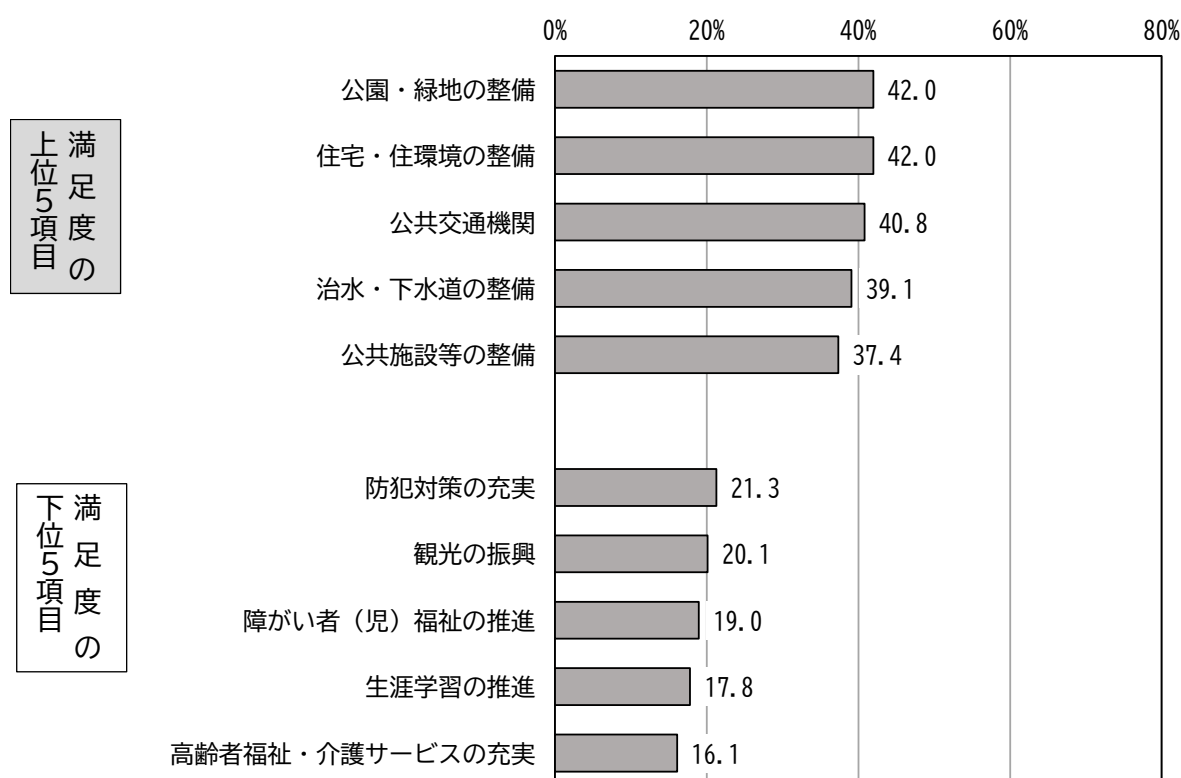
年代別でみると、『満足（計）』の上位5項目では、「健康・保健サービスの充実」、「医療体制・制度の充実」、「公共交通機関」、「公園・緑地の整備」、「治水・下水道の整備」、は多くの年代で上位に入っています。また、「道路の整備」は30歳代で、「市民文化活動の推進」は40歳代で上位5項目に入っています。

下位5項目では、「観光の振興」、「障がい者（児）福祉の推進」、「高齢者福祉・介護サービスの充実」なども半数以上の年代で下位5項目に入っています。「生涯学習の推進」は19歳以下、20歳代、30歳代で、「人権平和教育の推進」は30歳代、60歳代、70歳以上で下位となっています。

【年代別（19歳以下）】

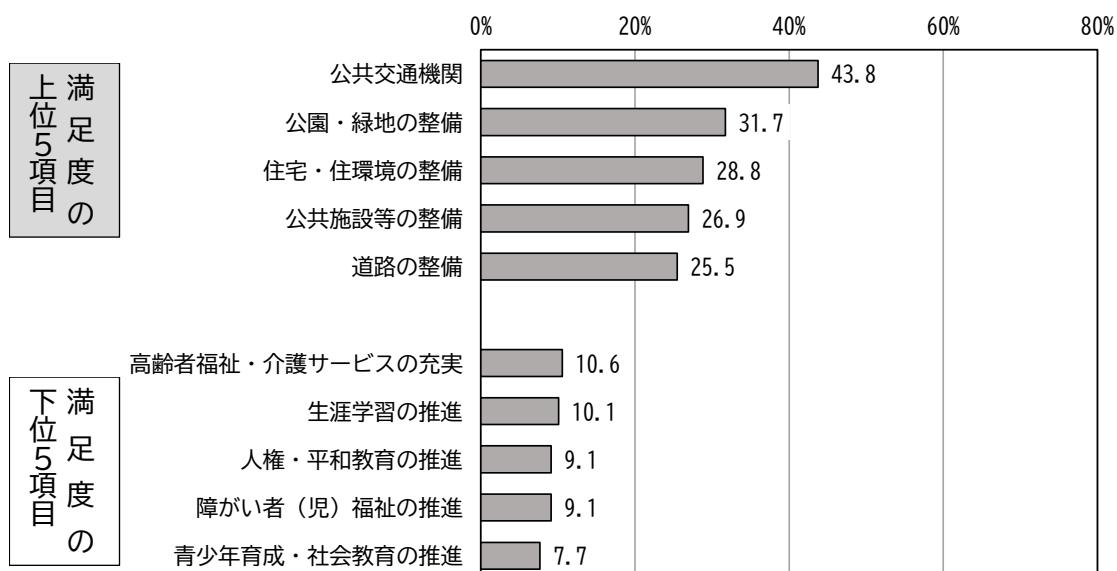


【年代別（20歳代）】

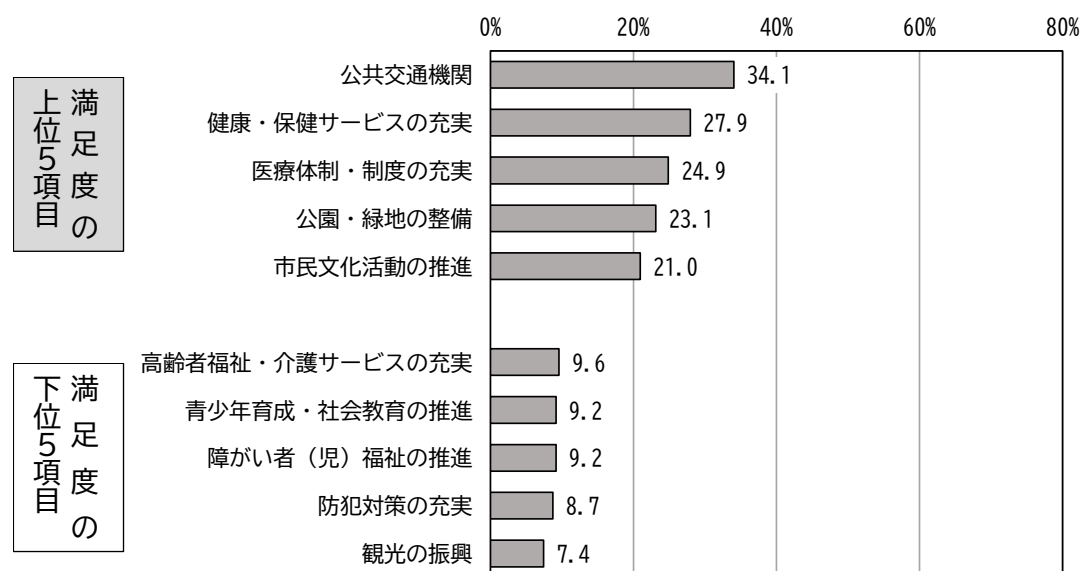


Ⅱ. 市民意識調査結果

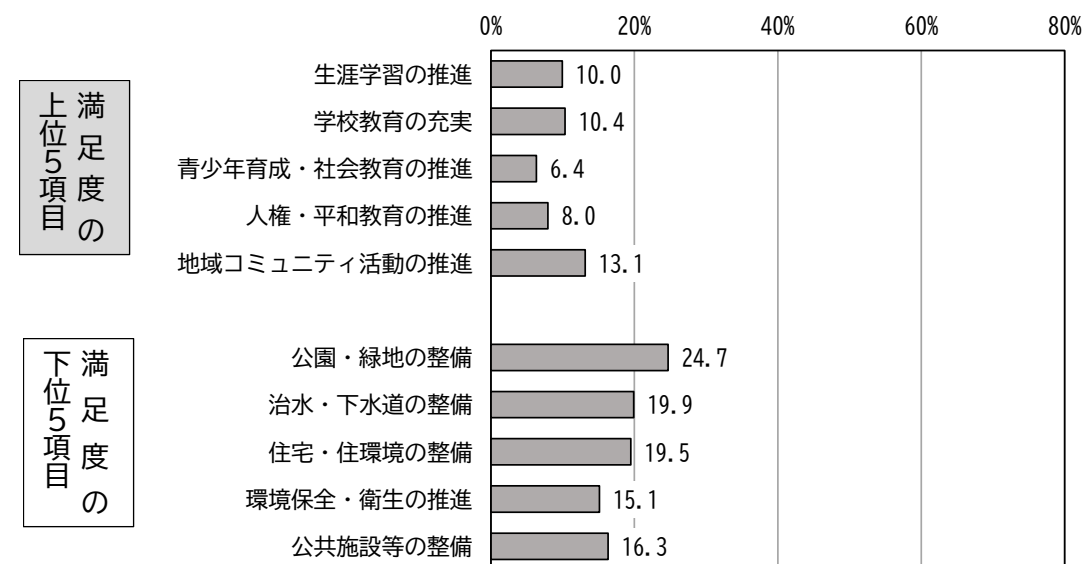
【年代別（30歳代）】



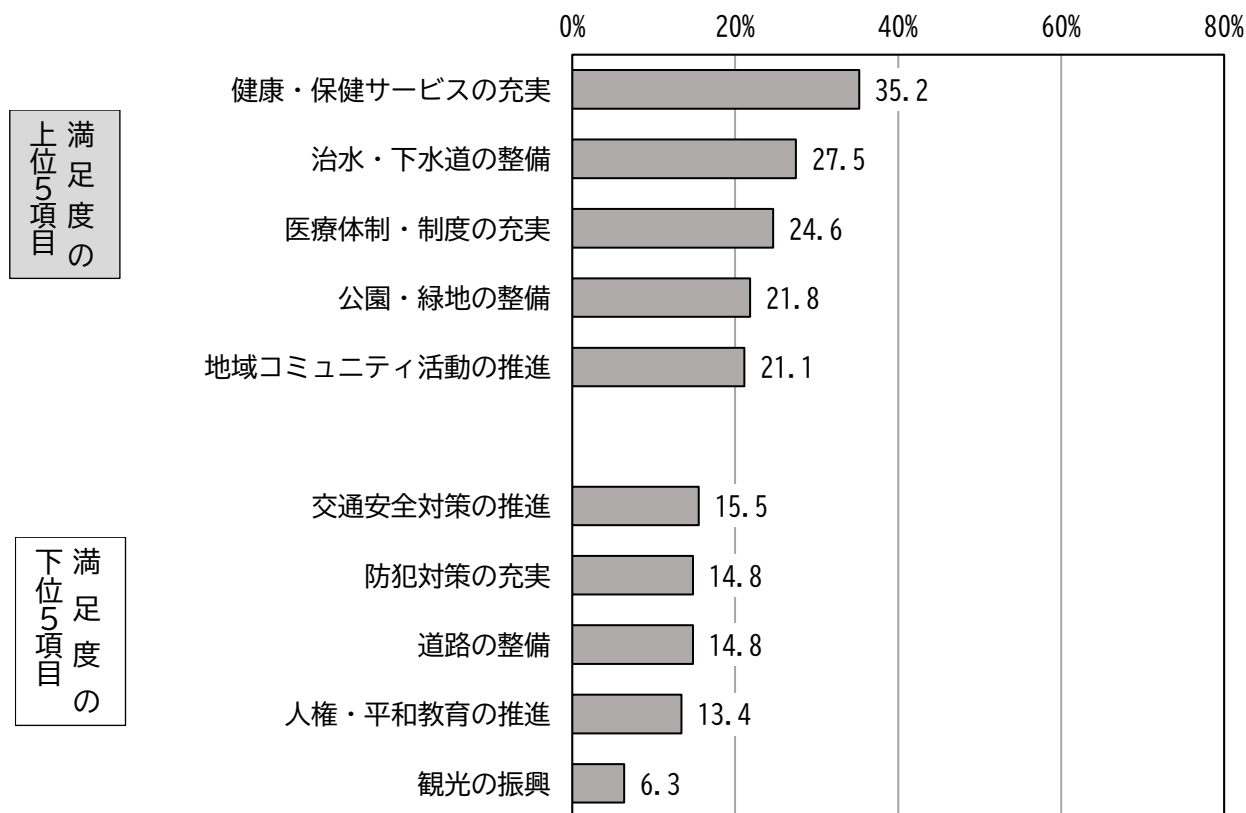
【年代別（40歳代）】



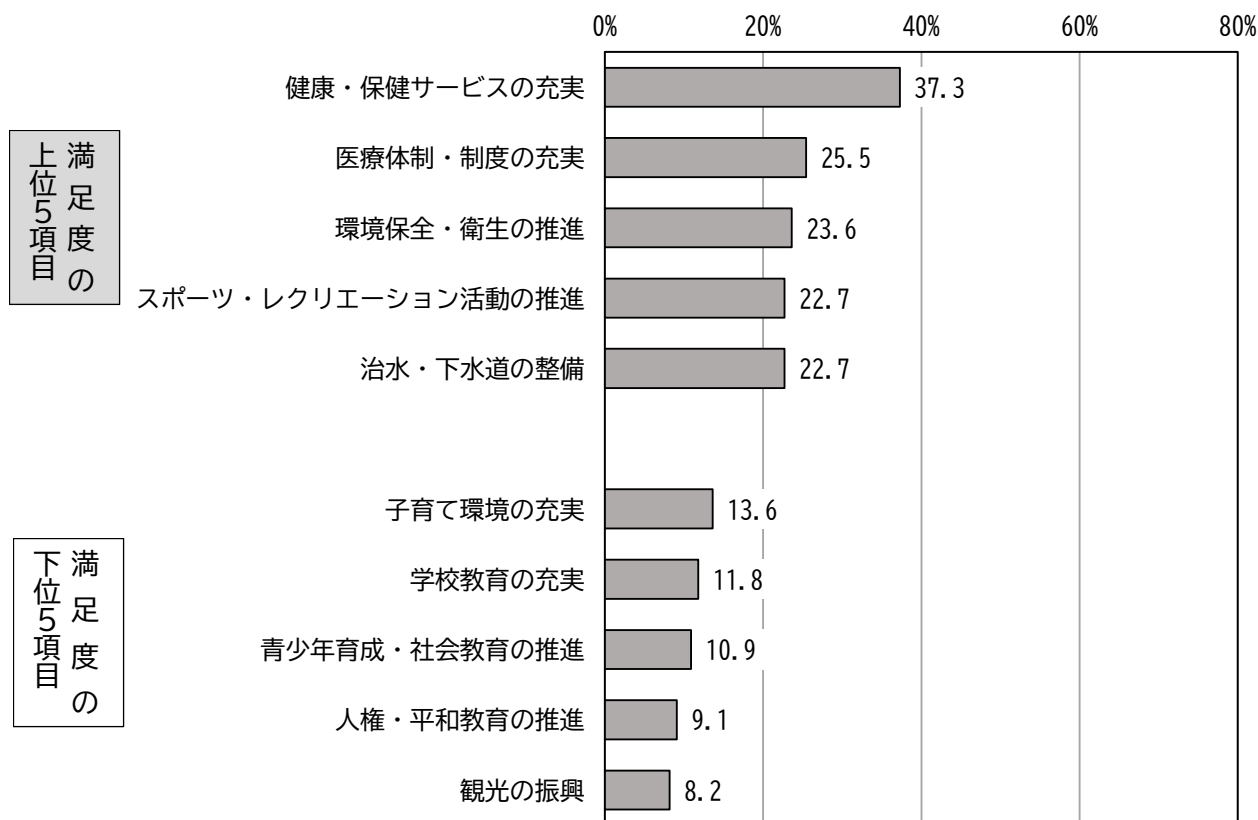
【年代別（50歳代）】



【年代別（60歳代）】



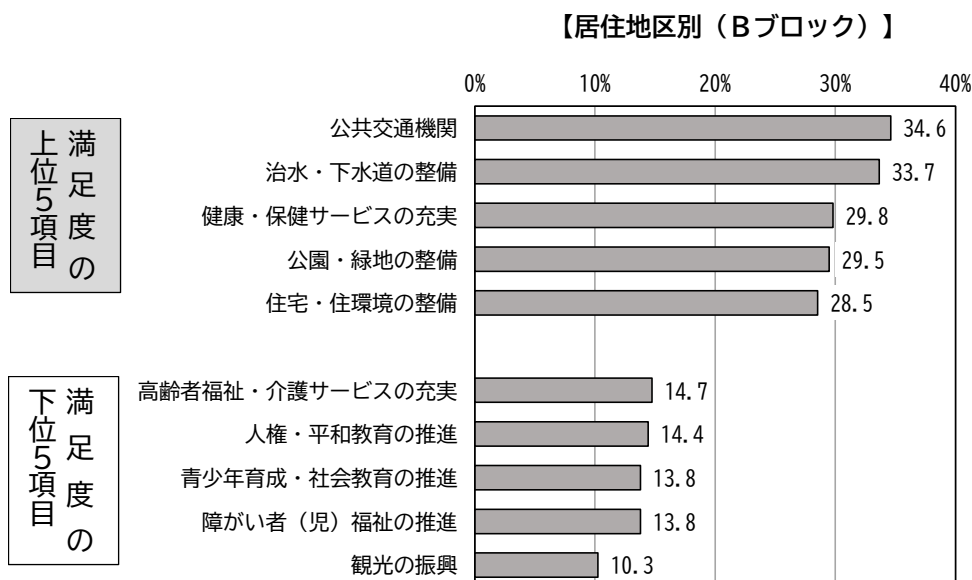
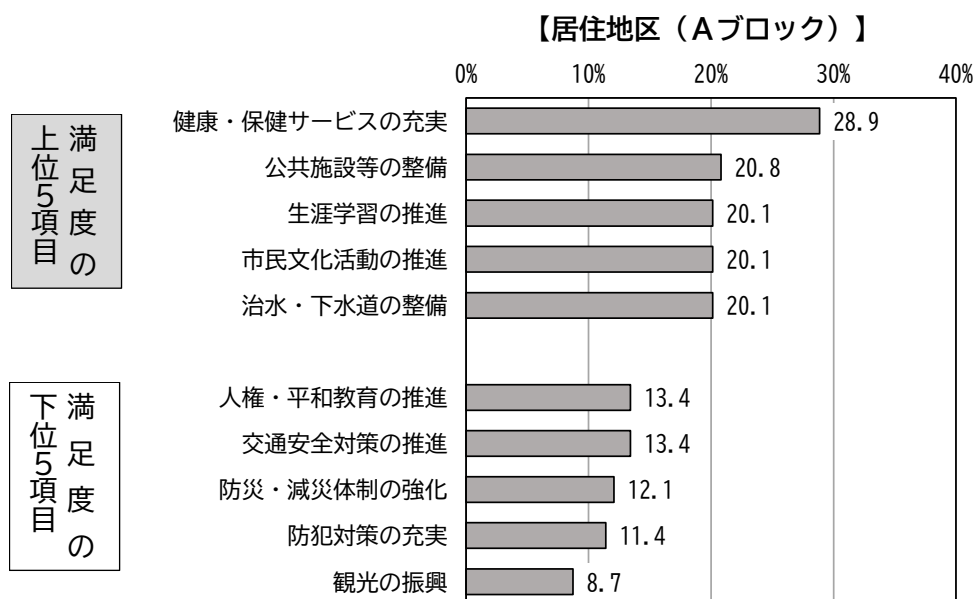
【年代別（70歳以上）】



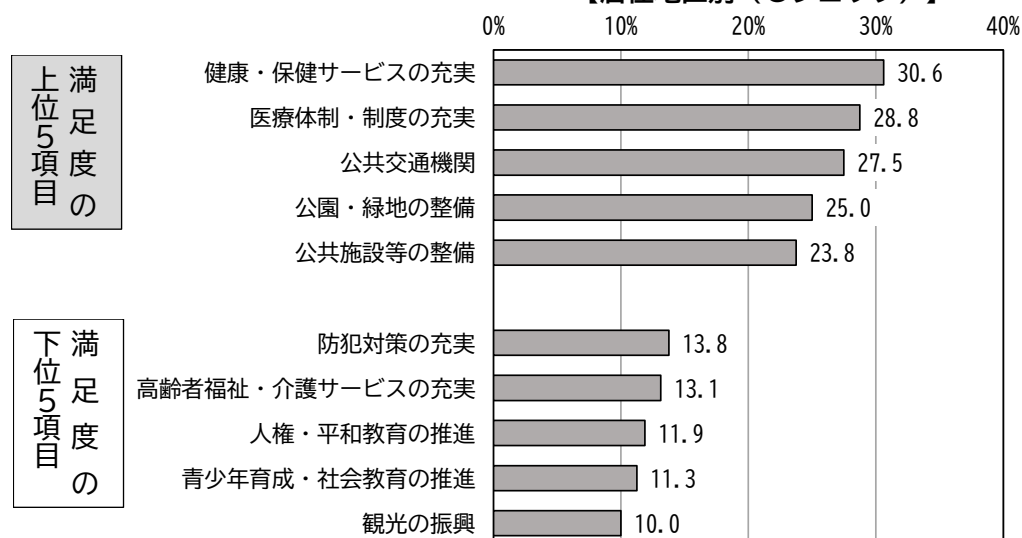
Ⅱ. 市民意識調査結果

居住地区別でみると、『満足（計）』の上位5項目では、「健康・保健サービスの充実」はすべての地区で上位に入っており、「医療体制・制度の充実」、「公共交通機関」、「公園・緑地の整備」、「治水・下水道の整備」も半数以上の地区で上位に入っています。また、「生涯学習の推進」と「市民文化活動の推進」はAブロックで上位5項目に入っています。

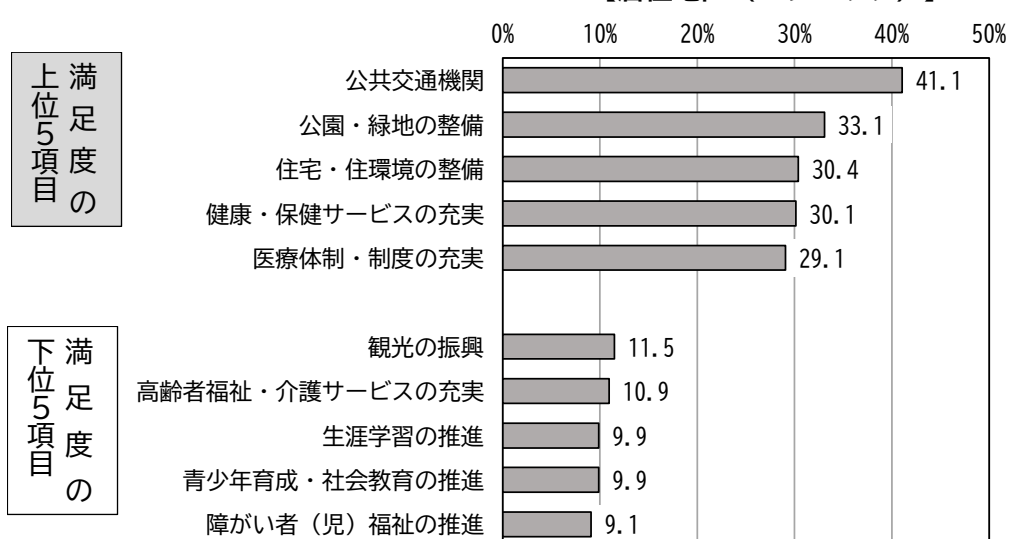
下位5項目では、「観光の振興」はすべての地区で下位に入っており、「青少年育成・社会教育の推進」、「人権・平和教育の推進」、「高齢者福祉・介護サービスの充実」、「障がい者（児）福祉の推進」、「防犯対策の充実」も半数以上の地区で下位5項目に入っています。「生涯学習の推進」はDブロックで、「子育て環境の充実」はEブロックで、「交通安全対策の推進」と「防災・減災体制の強化」はAブロックで下位となっています。



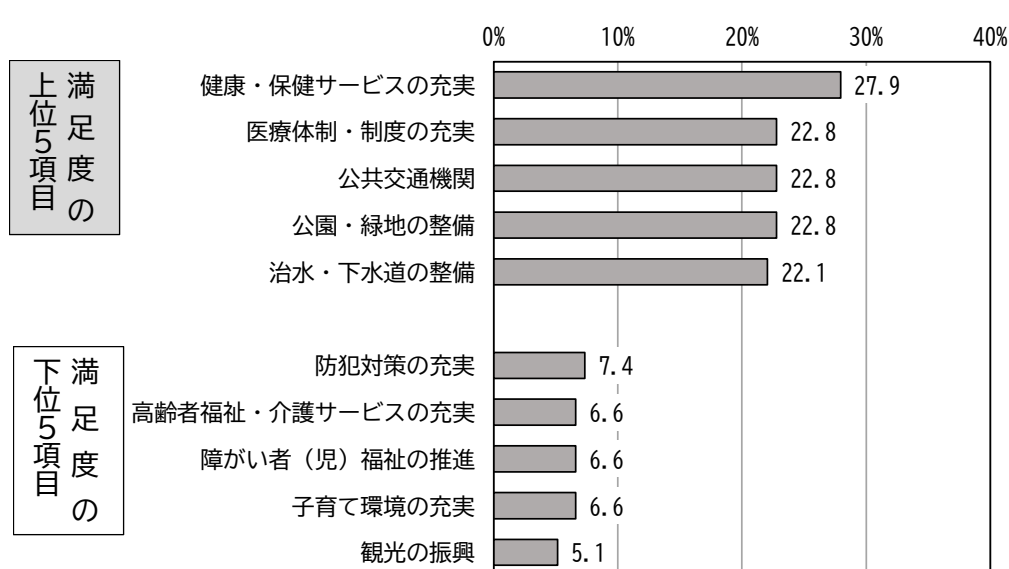
【居住地区別（Cブロック）】



【居住地区（Dブロック）】



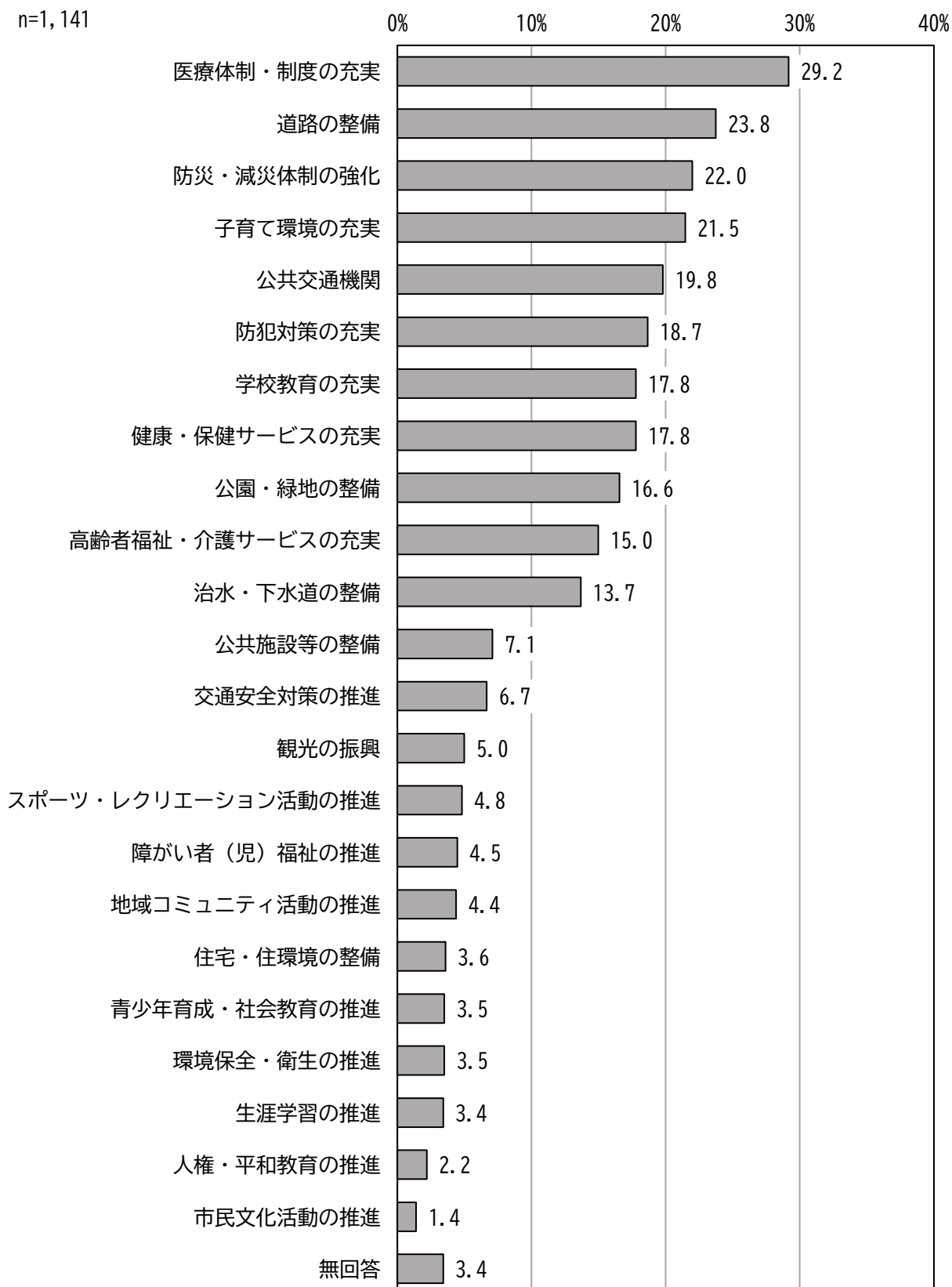
【居住地区別（Eブロック）】



Ⅱ. 市民意識調査結果

問 24 問 23 の表中の 23 項目で、特に力を入れてほしい施策を 3 つまで選び、回答欄にその番号を記入してください。また、上記以外の項目で、力を入れてほしい施策があれば、その他の回答欄にご記入ください。

市に特に力を入れてほしい施策は、「医療体制・制度の充実」が 29.2%と最も多く、次いで、「道路の整備」が 23.8%、「防災・減災体制の強化」が 22.0%となっています。



Ⅱ. 市民意識調査結果

性別でみると、「医療体制・制度の充実」、「道路の整備」、「防災・減災体制の強化」、「公共交通機関」は男女ともに全体と同じく上位5項目に入っています。女性は、「子育て環境の充実」が男性と比べて多くなっています。

年代別でみると、「医療体制・制度の充実」はすべての年代で上位に入っており、「子育て環境の充実」は20歳代から30歳代で、「健康・保健サービスの充実」は50歳代以上で上位に入っています。

居住地区別でみると、「医療体制・制度の充実」がすべての地区で、「道路の整備」がAブロックを除くすべての地区で上位に入っています。

【性別、年代別、居住地区別】

(単位：%)

区分	順位	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全体	n=1,141	医療体制・制度の充実 29.2	道路の整備 23.8	防災・減災体制の強化 22.0	子育て環境の充実 21.5	公共交通機関 19.8
性別	男性 n=502	医療体制・制度の充実 24.9	道路の整備 24.7	防災・減災体制の強化/防犯対策の充実 22.9		健康・保健サービスの充実/公共交通機関 19.7
	女性 n=629	医療体制・制度の充実 32.8	子育て環境の充実 25.3	道路の整備/防災・減災体制の強化 21.5		公共交通機関 20.0
年代別	19歳以下 n=22	医療体制・制度の充実 31.8	道路の整備 27.3	防災・減災体制の強化/公共交通機関/学校教育の充実/健康・保健サービスの充実 22.7		
	20歳代 n=174	子育て環境の充実 30.5	公共交通機関 28.7	医療体制・制度の充実/道路の整備 23.0		防犯対策の充実 21.8
	30歳代 n=208	子育て環境の充実 48.1	医療体制・制度の充実 31.3	学校教育の充実 27.9	防災・減災体制の強化/公園・緑地の整備 23.1	
	40歳代 n=229	医療体制・制度の充実 30.6	学校教育の充実 25.3	防災・減災体制の強化 24.5	道路の整備 23.1	防犯対策の充実 22.7
	50歳代 n=251	医療体制・制度の充実 34.3	道路の整備 31.5	防災・減災体制の強化 24.7	健康・保健サービスの充実 24.3	高齢者福祉・介護サービスの充実 22.3
	60歳代 n=142	高齢者福祉・介護サービスの充実 28.9	医療体制・制度の充実 28.2	道路の整備 25.4	健康・保健サービスの充実 23.9	防災・減災体制の強化 21.1
	70歳以上 n=110	高齢者福祉・介護サービスの充実 40.0	健康・保健サービスの充実/治水・下水道の整備 22.7	医療体制・制度の充実 21.8	道路の整備 20.9	
居住地区別	Aブロック n=149	医療体制・制度の充実 34.2	健康・保健サービスの充実 25.5	公共交通機関/高齢者福祉・介護サービスの充実 23.5		防災・減災体制の強化 20.8
	Bブロック n=312	医療体制・制度の充実 29.8	道路の整備 24.7	子育て環境の充実 21.8	健康・保健サービスの充実 20.2	防犯対策の充実/学校教育の充実 19.2
	Cブロック n=160	道路の整備 33.8	医療体制・制度の充実 23.1	公共交通機関 22.5	防災・減災体制の強化/公園・緑地の整備 21.3	
	Dブロック n=375	医療体制・制度の充実 29.9	子育て環境の充実 25.6	防災・減災体制の強化 23.7	学校教育の充実 21.9	道路の整備 21.1
	Eブロック n=136	医療体制・制度の充実 28.7	防災・減災体制の強化 27.9	公共交通機関 22.8	道路の整備 22.1	高齢者福祉・介護サービスの充実 19.1

Ⅱ. 市民意識調査結果

居住年数別でみると、「医療体制・制度の充実」はすべての年数で上位に入っています。また「道路の整備」、「子育て環境の充実」、「防災・減災対策の強化」、「公園・緑地の整備」もほとんどの年数で上位5項目に入っています。また、「学校教育の充実」は5年～10年未満の居住者が第3位、10年～20年未満の居住者が第2位となっています。「公園・緑地の整備」は1年未満と5年～10年未満と10年～20年未満の居住者で第5位、(1年未満は同率第4位)「公共交通機関」は1年未満の居住者で第2位、1年～5年未満の居住者で第5位となっています。20年以上の居住者のみ、「高齢者福祉・介護サービスの充実」、「健康・保健サービスの充実」が上位5項目に入っています。

定住意向別でみると、「医療体制・制度の充実」、「道路の整備」はすべての定住意向で上位5項目に入っています。また「防災・減災対策の強化」もほとんどの年数で上位5項目に入っています。「高齢者福祉・介護サービスの充実」はずっと住みたい人で第3位、「健康・保健サービスの充実」はずっと住みたい人と、当分の間は住みたい人で第5位、「公園・緑地の整備」は引っ越したい人で第5位、「防犯対策の充実」は、わからない人で第5位(同率第4位)と、全体とは異なる項目が上位に入っています。

【居住年数別、定住意向別】

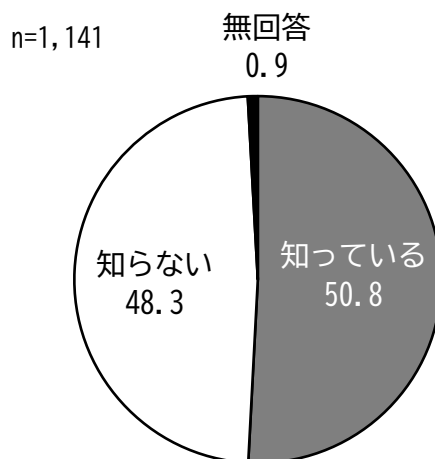
(単位：％)

区分	順位	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全体	n=1,141	医療体制・制度の充実 29.2	道路の整備 23.8	防災・減災体制の強化 22.0	子育て環境の充実 21.5	公共交通機関 19.8
居住年数別	1年未満 n=45	子育て環境の充実 33.3	公共交通機関 31.1	医療体制・制度の充実 28.9	防災・減災体制の強化/道路の整備/ 公園・緑地の整備 22.2	
	1年～5年未満 n=182	子育て環境の充実 34.6	医療体制・制度の充実 30.8	防災・減災体制の強化 28.0	道路の整備 25.3	公共交通機関 24.2
	5年～10年未満 n=158	子育て環境の充実 31.6	医療体制・制度の充実 29.7	学校教育の充実 24.7	防災・減災体制の強化 23.4	公園・緑地の整備 22.2
	10年～20年未満 n=237	医療体制・制度の充実 31.6	学校教育の充実 26.2	道路の整備 22.8	防犯対策の充実 21.1	公園・緑地の整備 20.7
	20年以上 n=512	医療体制・制度の充実 27.3	道路の整備 25.8	高齢者福祉・介護サービスの充実 25.0	防災・減災体制の強化 21.3	健康・保健サービスの充実 19.5
定住意向	ずっと住みたい n=262	防災・減災体制の強化 27.1	医療体制・制度の充実 26.0	高齢者福祉・介護サービスの充実 24.0	道路の整備 21.0	健康・保健サービスの充実 19.8
	当分の間は住みたい n=565	医療体制・制度の充実 30.4	子育て環境の充実 25.1	道路の整備 22.5	防災・減災体制の強化 21.8	健康・保健サービスの充実 19.3
	引っ越したい n=125	公共交通機関 32.0	道路の整備 31.2	医療体制・制度の充実 28.0	子育て環境の充実 27.2	公園・緑地の整備 18.4
	わからない n=176	医療体制・制度の充実 30.7	道路の整備 26.1	公共交通機関 25.6	防災・減災体制の強化/ 防犯対策の充実 19.9	

問 25 市内ではさまざまな地域活動（防災・防犯対策、清掃活動、ふれあい事業など）が行われていますが、それらが町会・自治会の活動であることを知っていますか。（○は1つ）

地域活動の認知度としては、「知っている」が 50.8%に対し、「知らない」が 48.3%となっています。

年代別、居住地区別でみると、40 歳以下で「知らない」が多くなっています。「知っている」は、年代別では 50 歳以上で 5 割を超えて多く、70 歳以上では 7 割台となっています。また、居住地区別では A ブロックで 6 割台と他の地区よりも多くなっています。



【性別、年代別、居住地区別】

(単位：人)

(単位：%)

		回答者数	知っている	知らない	無回答
全体		1,141	50.8	48.3	0.9
性別	男性	502	51.0	48.0	1.0
	女性	629	50.6	48.6	0.8
年代別	19歳以下	22	31.8	68.2	0.0
	20歳代	174	32.8	67.2	0.0
	30歳代	208	36.5	63.0	0.5
	40歳代	229	47.2	52.0	0.9
	50歳代	251	59.4	40.6	0.0
	60歳代	142	66.2	31.7	2.1
	70歳以上	110	78.2	18.2	3.6
居住地区別	Aブロック	149	65.1	32.9	2.0
	Bブロック	312	52.9	46.5	0.6
	Cブロック	160	55.0	45.0	0.0
	Dブロック	375	42.4	56.8	0.8
	Eブロック	136	49.3	49.3	1.5

※網掛けは最も多いもの（無回答を除く）

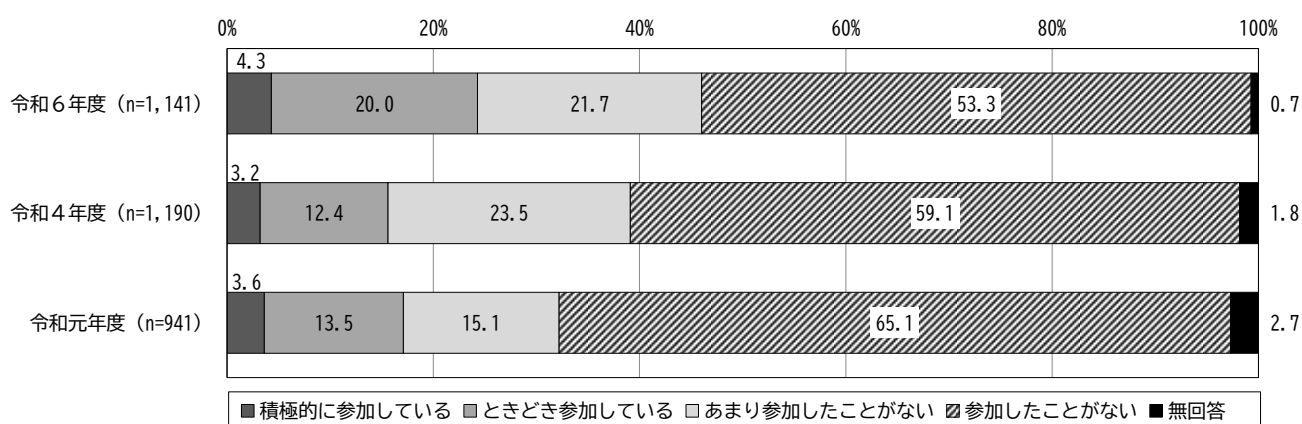
Ⅱ. 市民意識調査結果

問 26 あなたは、町会・自治会、NPO、ボランティア等（文化・スポーツ活動等も含む）の地域活動にどの程度参加していますか。（○は1つ）

地域活動への参加状況は、「積極的に参加している(4.3%)」、「ときどき参加している(20.0%)」を合わせた『参加している(計)』が 24.3%に対し、「あまり参加したことがない(21.7%)」、「参加したことがない(53.3%)」を合わせた『参加したことがない(計)』が 75.0%となっています。

過去の調査と比較すると、前回調査では『参加している(計)』が 15.6%となっており、今回調査で『参加している(計)』は 8.7 ポイント増加しています。また、「あまり参加したことがない」は、前回調査より 1.8 ポイント減少し、「参加したことがない」は 5.8 ポイント減少しており、地域活動に参加したことがある市民が増加傾向にあります。

性別、年代別、居住地区別でみると、70 歳以上を除くすべての項目で「参加したことがない」が最も多くなっています。『参加している(計)』は、年代別では 50 歳以上で 2 割を超えて多く、70 歳以上では 5 割台となっています。また、居住地区別では A ブロックで 3 割台と他の地区よりも多くなっています。



【性別、年代別、居住地区別】

(単位：人)

(単位：%)

	回答者数	積極的に参加	ときどき参加	あまり参加しない	参加したことがない	無回答
全体	1,141	4.3	20.0	21.7	53.3	0.7
性別						
男性	502	4.2	18.5	21.1	55.0	1.2
女性	629	4.3	21.0	22.4	52.0	0.3
年代別						
19歳以下	22	0.0	4.5	18.2	77.3	0.0
20歳代	174	1.1	9.2	17.8	71.3	0.6
30歳代	208	2.4	9.6	14.9	73.1	0.0
40歳代	229	3.5	16.2	24.5	55.9	0.0
50歳代	251	4.8	25.1	25.5	44.2	0.4
60歳代	142	8.5	29.6	25.4	35.9	0.7
70歳以上	110	9.1	42.7	22.7	20.9	4.5
居住地区別						
Aブロック	149	6.0	28.9	26.8	36.9	1.3
Bブロック	312	3.8	20.5	21.5	53.2	1.0
Cブロック	160	9.4	16.3	27.5	46.9	0.0
Dブロック	375	1.9	16.3	16.8	64.5	0.5
Eブロック	136	4.4	22.1	23.5	49.3	0.7

※網掛けは最も多いもの（無回答を除く）

家族構成別、居住形態別でみると、三世代世帯（親と子と孫）を除くすべての項目で「参加したことがない」が最も多くなっています。『参加している（計）』は、家族構成別では三世代世帯（親と子と孫）で、居住形態別では一戸建て住宅で多くなっています。

【家族構成別、居住形態別】

(単位：人)

(単位：%)

		回答者数	積極的に参加している	ときどき参加している	あまり参加したことがない	参加したことがない	無回答
全体		1,141	4.3	20.0	21.7	53.3	0.7
家族構成別	単身世帯	189	1.1	10.1	11.1	76.7	1.1
	夫婦のみ	246	3.7	17.9	19.1	57.7	1.6
	二世代世帯（親と子）	569	4.7	23.0	25.0	47.1	0.2
	三世代世帯（親と子と孫）	84	9.5	26.2	32.1	31.0	1.2
	その他	42	4.8	14.3	21.4	59.5	0.0
居住形態別	一戸建て住宅（持ち家）	632	6.5	28.8	27.4	36.6	0.8
	一戸建て住宅（借家）	19	0.0	36.8	21.1	42.1	0.0
	公営住宅（借家）	20	10.0	25.0	15.0	50.0	0.0
	分譲マンション	160	3.1	11.3	24.4	60.0	1.3
	民間アパート・賃貸マンション	277	0.4	3.2	7.9	88.4	0.0
	社宅・会社寮	17	0.0	5.9	23.5	70.6	0.0
	その他	8	0.0	25.0	12.5	50.0	12.5

※網掛けは最も多いもの（無回答を除く）

Ⅱ. 市民意識調査結果

問 26 で「あまり参加したことがない」または「参加したことがない」を選択した方のみ回答

問 26-1 その理由は次のうちどれですか。(〇は1つ)

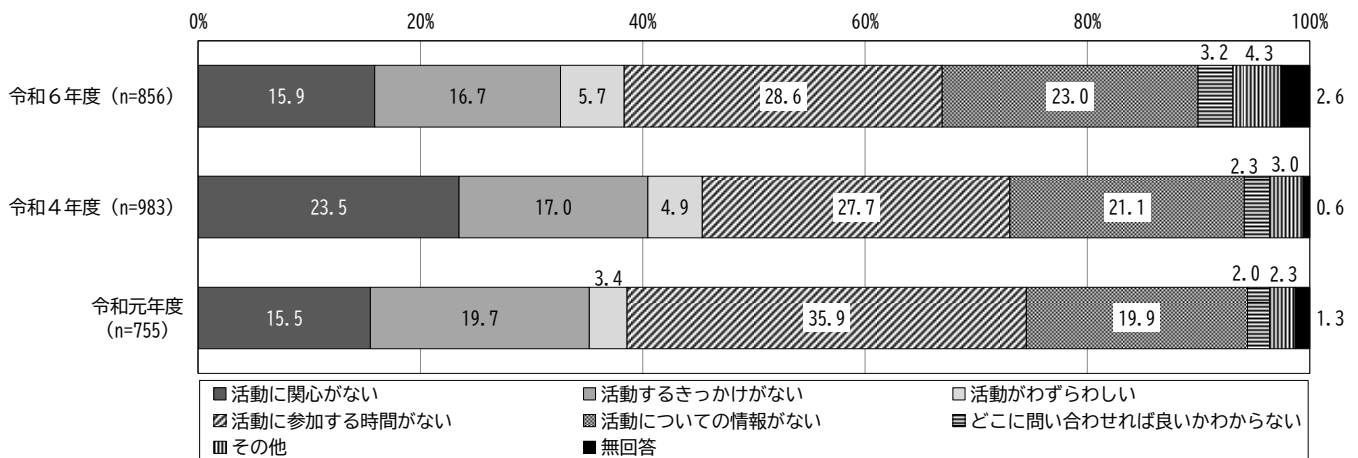
地域活動に参加したことがない理由は、「活動に参加する時間がない」が 28.6%と最も多く、次いで、「活動についての情報がない」が 23.0%となっています。

過去の調査と比較すると、「活動に関心がない」は前回調査(23.5%)から 7.6 ポイント減少しており、反対に「活動についての情報がない」は前回調査(21.1%)から 1.9 ポイント増加しています。

性別でみると、「活動に参加する時間がない」が男女ともに最も多くなっています。

年代別でみると、「活動に参加する時間がない」は 19 歳以下を除くいずれの年代で最も多く、「活動についての情報がない」は 19 歳以下で最も多くなっています。

居住地区別でみると、「活動に参加する時間がない」は D ブロックを除くいずれの地区で最も多く、「活動についての情報がない」は D ブロックで最も多くなっています。



【性別、年代別、居住地区別】

(単位：人)		(単位：%)							
	回答者数	活動に関心がない	活動するきっかけがない	活動がわずらわしい	活動に参加する時間がない	活動についての情報がない	活動がわずらわしい	その他	無回答
全体		856	15.9	16.7	5.7	28.6	23.0	3.2	4.3
性別	男性	382	16.8	17.5	5.0	30.9	22.5	2.4	3.4
	女性	468	15.2	15.8	6.2	27.1	23.5	3.6	5.1
年代別	19歳以下	21	23.8	14.3	0.0	14.3	38.1	4.8	4.8
	20歳代	155	17.4	22.6	3.2	27.1	21.9	3.9	1.9
	30歳代	183	13.1	16.9	4.4	31.7	27.9	2.2	1.1
	40歳代	184	14.7	20.1	5.4	27.7	23.9	3.8	2.7
	50歳代	175	15.4	12.0	8.0	32.0	21.7	2.3	6.9
	60歳代	87	17.2	12.6	3.4	27.6	14.9	3.4	13.8
	70歳以上	48	20.8	8.3	18.8	22.9	16.7	4.2	4.2
居住地区別	Aブロック	95	12.6	12.6	11.6	42.1	10.5	1.1	5.3
	Bブロック	233	17.6	18.5	3.4	28.3	23.6	3.9	3.0
	Cブロック	119	10.1	14.3	6.7	31.1	23.5	2.5	8.4
	Dブロック	305	17.4	18.7	5.2	23.6	25.9	2.6	3.9
	Eブロック	99	17.2	13.1	6.1	29.3	23.2	6.1	3.0

※網掛けは最も多いもの(その他・無回答を除く)

5. 多文化共生について

※「多文化共生」とは…国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的ちがいを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていくことです。本市では、令和3年3月に「多文化共生推進プラン」を策定し、外国人市民と日本人市民が、よりよい関係を築き支え合うまちづくりを進めています。

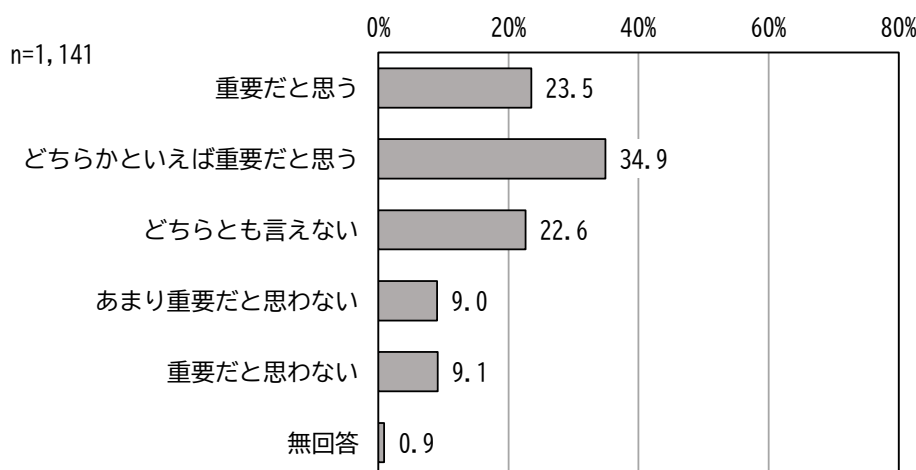
問27 あなたは、多文化共生の推進についてどう思いますか。(○は1つ)

多文化共生の推進についてどう思うかについては、「重要だと思う(23.5%)」、「どちらかといえば重要だと思う(34.9%)」を合わせた『重要だと思う(計)』が58.4%に対し、「あまり重要だと思わない(9.0%)」、「重要だと思わない(9.1%)」を合わせた『重要だと思わない(計)』が18.1%となっています。

性別でみると、『重要だと思う（計）』は女性が6割を超えて、男性を7.3ポイント上回っています。

年代別でみると、『重要だと思う（計）』は19歳代以下で8割台と他の年代よりも多くなっています。

居住地区別でみると、『重要だと思う（計）』はいずれの地区でも5割を超えています。



【性別、年代別、居住地区別】

(单位:人)

(单位:%)

		(単位：人)		(単位：％)				
		回答者数	重要だと思う	ええどちらかという	どちらともいえない	あまり重要だと思わない	重要だと思わない	無回答
全体		1,141	23.5	34.9	22.6	9.0	9.1	0.9
性別	男性	502	22.7	31.7	23.1	9.4	12.5	0.6
	女性	629	24.0	37.7	22.1	8.7	6.5	1.0
年代別	19歳以下	22	36.4	45.5	4.5	0.0	13.6	0.0
	20歳代	174	26.4	32.8	19.5	6.3	14.9	0.0
	30歳代	208	23.1	29.3	19.7	16.8	11.1	0.0
	40歳代	229	20.1	36.7	24.5	7.9	10.5	0.4
	50歳代	251	24.7	37.1	24.3	7.6	5.2	1.2
	60歳代	142	23.9	35.9	25.4	9.9	4.2	0.7
	70歳以上	110	20.0	37.3	25.5	5.5	8.2	3.6
居住地区別	Aブロック	149	22.8	34.9	24.2	9.4	6.7	2.0
	Bブロック	312	24.0	35.3	23.1	7.1	9.6	1.0
	Cブロック	160	19.4	31.9	25.6	11.9	10.6	0.6
	Dブロック	375	24.8	36.3	19.2	9.6	9.6	0.5
	Eブロック	136	23.5	35.3	25.7	8.8	6.6	0.0

※網掛けは最も多いもの（無回答を除く）

Ⅱ. 市民意識調査結果

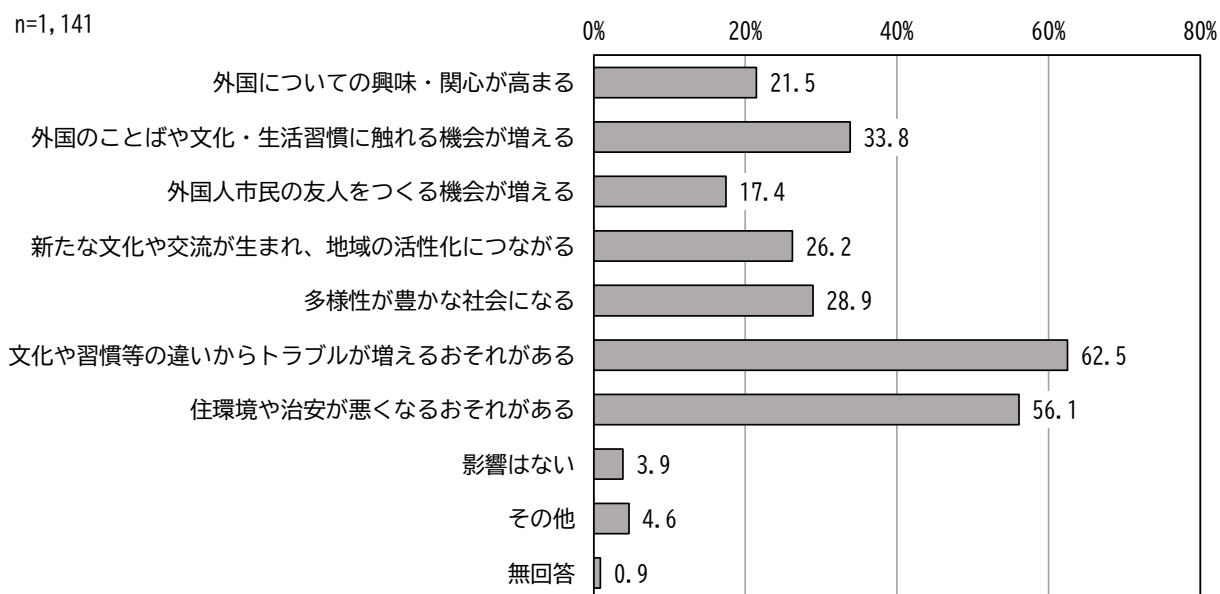
問 28 あなたは、地域社会に外国人市民が増えることで、どのような効果や影響があると思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

外国人市民が増えることによる地域社会への効果や影響は、「文化や習慣等の違いからトラブルが増えるおそれがある」が 62.5%と最も多く、次いで、「住環境や治安が悪くなるおそれがある」が 56.1%、「外国のことばや文化・生活習慣に触れる機会が増える」が 33.8%となっています。

性別でみると、「文化や習慣等の違いからトラブルが増えるおそれがある」は男女ともに最も多くなっています。「文化や習慣等の違いからトラブルが増えるおそれがある」と「住環境や治安が悪くなるおそれがある」以外の項目はいずれも女性が男性を上回っており、女性の方が地域への影響をポジティブにとらえている傾向にあります。

年代別でみると、「文化や習慣等の違いからトラブルが増えるおそれがある」は 19 歳以下と 60 歳代を除く年代で 6 割を超えて最も多くなっています。また、「外国のことばや文化・生活習慣に触れる機会が増える」は 30 歳代で最も多くなっています。

居住地区別でみると、「文化や習慣等の違いからトラブルが増えるおそれがある」はいずれの地区でも 5 割を超えて最も多くなっています。「多様性が豊かな社会になる」は D ブロックで 3 割台と他の地区よりも多くなっています。



【性別、年代別、居住地区別】

(単位：人)

(単位：%)

		回答者数	外国に関する 高まる	外国の生活習慣に 触れる機会が増える	外国人市民の友人 をつくる機会が増える	新たな文化や交流が 生まれ、地域の活性化につながる	多様性が豊かな社会になる	文化や習慣等の違いから トラブルが増える おそれがある	住環境や治安が悪くなる おそれがある	影響はない	その他	無回答
	全体	1,141	21.5	33.8	17.4	26.2	28.9	62.5	56.1	3.9	4.6	0.9
性別	男性	502	19.3	26.9	16.1	22.3	28.7	66.7	60.2	2.6	5.2	0.6
	女性	629	22.7	39.0	18.1	29.1	28.8	59.1	52.8	4.8	4.3	1.1
年代別	19歳以下	22	22.7	31.8	22.7	18.2	22.7	54.5	45.5	4.5	9.1	0.0
	20歳代	174	19.0	31.0	19.0	22.4	28.7	62.6	58.0	4.0	4.0	0.6
	30歳代	208	26.9	46.2	22.6	28.8	32.7	62.5	58.7	3.8	4.8	1.0
	40歳代	229	24.0	39.3	20.5	26.6	31.9	66.4	58.1	2.2	3.9	0.0
	50歳代	251	17.9	27.9	15.1	25.1	27.1	62.5	57.8	3.2	6.4	0.4
	60歳代	142	19.7	25.4	10.6	29.6	21.1	59.2	52.8	5.6	4.2	0.0
	70歳以上	110	17.3	26.4	10.0	24.5	30.0	60.9	47.3	6.4	2.7	5.5
居住地区別	Aブロック	149	19.5	26.2	16.1	16.8	28.9	65.8	57.7	5.4	4.7	1.3
	Bブロック	312	21.2	32.7	15.7	26.9	26.6	60.3	55.1	4.5	3.5	1.3
	Cブロック	160	15.6	32.5	12.5	23.8	26.3	65.6	56.9	3.1	6.3	1.9
	Dブロック	375	24.3	35.5	21.1	30.9	33.1	63.2	57.9	3.2	4.8	0.0
	Eブロック	136	22.1	41.2	17.6	24.3	25.7	58.8	50.0	3.7	5.1	0.7

※網掛けは最も多いもの（その他・無回答を除く）

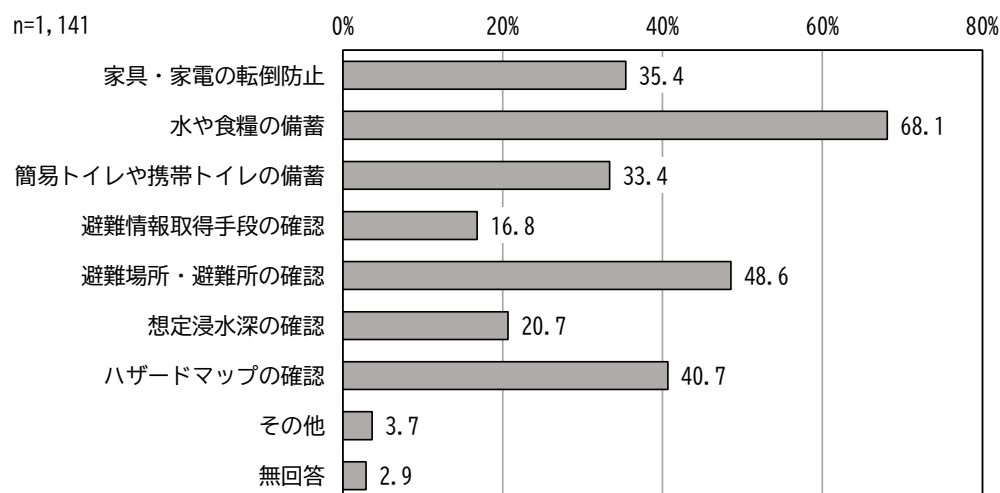
6. 各家庭での防災対策について

問 29 あなたは、家庭でどのような防災対策をとっていますか。(あてはまるものすべてに○)

家庭でどのような防災対策をとっているかは、「水や食糧の備蓄」が 68.1%と最も多く、次いで、「避難場所・避難所の確認」が 48.6%、「ハザードマップの確認」が 40.7%となっています。

性別でみると、「水や食糧の備蓄」は男女ともに最も多くなっています。また、「簡易トイレや携帯トイレの備蓄」は女性が3割を超えて、男性を 13.2 ポイント上回っています。

年代別、居住地区別でみると、「水や食糧の備蓄」はいずれの年代、地区で最も多くなっています。



【性別、年代別、居住地区別】

(単位：人)

(単位：%)

	回答者数	家具・家電の転倒防止	水や食糧の備蓄	簡易トイレや携帯トイレの備蓄	避難情報取得手段の確認	避難場所・避難所の確認	想定浸水深の確認	ハザードマップの確認	その他	無回答
全体	1,141	35.4	68.1	33.4	16.8	48.6	20.7	40.7	3.7	2.9
性別										
男性	502	32.7	66.7	26.1	17.5	44.6	21.7	43.4	4.6	2.8
女性	629	37.7	69.3	39.3	16.4	52.0	20.0	38.6	3.0	3.0
年代別										
19歳以下	22	36.4	63.6	9.1	9.1	59.1	4.5	9.1	4.5	0.0
20歳代	174	29.3	59.8	26.4	19.5	46.6	19.0	35.6	2.9	5.2
30歳代	208	24.5	72.6	41.8	19.2	49.0	24.0	49.5	2.9	2.4
40歳代	229	36.2	71.2	39.3	17.0	48.9	24.0	42.8	4.4	2.6
50歳代	251	41.8	66.9	34.3	17.1	48.6	19.5	42.2	5.2	2.0
60歳代	142	45.1	70.4	31.7	13.4	45.1	18.3	39.4	4.2	0.7
70歳以上	110	37.3	67.3	21.8	13.6	52.7	20.0	33.6	0.9	6.4
居住地区別										
Aブロック	149	29.5	66.4	28.9	12.8	44.3	24.2	34.2	4.7	0.7
Bブロック	312	40.1	65.4	31.7	20.5	53.5	19.2	40.4	4.5	3.2
Cブロック	160	31.3	65.0	31.3	13.1	40.6	14.4	41.3	5.0	5.6
Dブロック	375	36.8	71.2	36.5	16.5	47.5	21.9	43.2	2.4	2.7
Eブロック	136	33.8	72.8	36.8	19.1	55.1	25.7	41.9	2.9	1.5

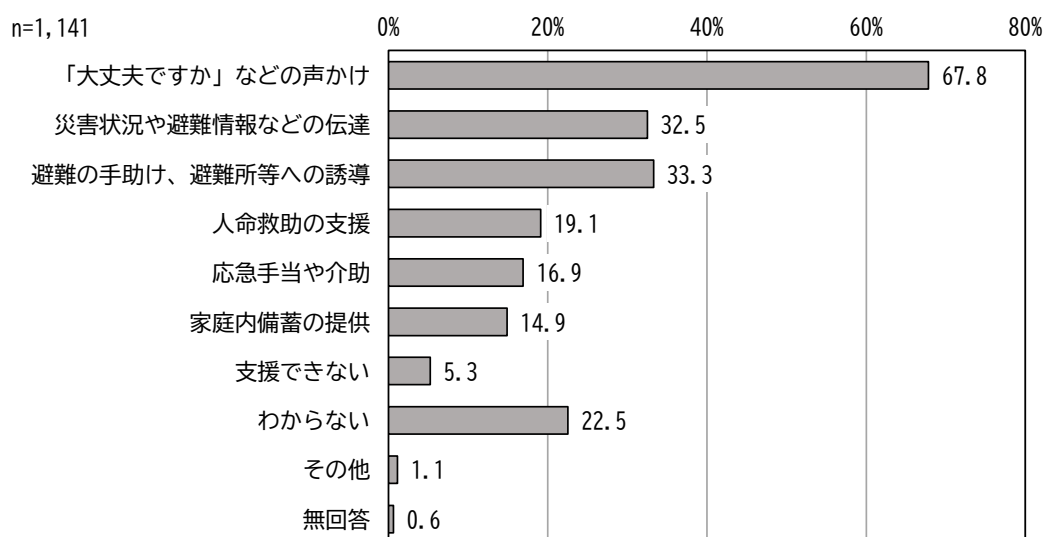
※網掛けは最も多いもの（その他・無回答を除く）

問 30 災害が発生した際、あなたはご近所の方にどのような支援（手助け）ができると思いますか。（あてはまるものすべてに○）

災害が発生した際、ご近所の方にできる支援（手助け）は、『「大丈夫ですか」などの声かけ』が 67.8%と最も多く、次いで、『避難の手助け、避難所等への誘導』が 33.3%、『災害状況や避難情報などの伝達』が 32.5%となっています。

性別でみると、『「大丈夫ですか」などの声かけ』は男女ともに最も多くなっています。また、『人命救助の支援』は男性が2割を超えて、女性を 10.8 ポイント上回っています。

年代別、居住地区別でみると、『「大丈夫ですか」などの声かけ』はいずれの年代、地区で最も多くなっています。



【性別、年代別、居住地区別】

(単位：人)

(単位：%)

	回答者数	「大丈夫ですか」などの声かけ	災害状況や避難情報などの伝達	避難の手助け、避難所等への誘導	人命救助の支援	応急手当や介助	家庭内備蓄の提供	支援できない	わからない	その他	無回答
全体	1,141	67.8	32.5	33.3	19.1	16.9	14.9	5.3	22.5	1.1	0.6
性別											
男性	502	66.7	33.3	36.5	25.1	16.5	16.3	5.0	19.3	1.2	0.4
女性	629	68.5	32.0	31.0	14.3	16.7	13.5	5.2	25.3	1.1	0.8
年代別											
19歳以下	22	68.2	13.6	45.5	22.7	13.6	4.5	4.5	18.2	4.5	0.0
20歳代	174	58.6	28.7	30.5	19.0	19.5	8.6	5.2	25.3	0.0	1.1
30歳代	208	64.9	38.9	32.2	19.7	21.6	17.3	5.3	21.2	1.4	0.5
40歳代	229	69.4	33.6	33.6	17.5	14.4	13.5	4.4	24.5	1.7	0.0
50歳代	251	67.7	29.9	36.7	20.7	15.1	15.5	4.8	24.7	0.8	0.4
60歳代	142	78.9	36.6	31.7	22.5	20.4	19.7	4.9	19.0	1.4	0.0
70歳以上	110	70.0	28.2	31.8	13.6	9.1	17.3	9.1	18.2	0.9	2.7
居住地区別											
Aブロック	149	71.8	31.5	42.3	12.8	10.1	14.8	9.4	18.1	0.7	0.0
Bブロック	312	72.1	33.3	33.7	20.5	17.0	14.7	2.6	23.4	0.6	0.6
Cブロック	160	61.9	33.8	30.6	19.4	15.6	15.0	8.8	19.4	1.9	2.5
Dブロック	375	65.9	30.9	33.6	21.1	18.9	16.3	4.8	24.0	1.6	0.3
Eブロック	136	65.4	33.8	25.7	17.6	20.6	11.0	3.7	25.7	0.7	0.0

※網掛けは最も多いもの（その他・無回答を除く）

7. その他

問 31 市政等にご意見、ご要望がありましたら自由にご記入ください。

意見（一部抜粋）

（１）教育文化・コミュニティ

◆学校教育の充実

- ・市内での学生向けの講座があるのは知っていますが、場所が駅から遠い所ばかりで、駅周辺に子どもが多いのに、その子たちが行きにくい場所にあっては意味がなく、もったいなく感じます。
- ・育児や教育に力を入れてください。子供たちのためにお金を使ってほしい。
- ・学校給食の改善を希望します。

◆地域コミュニティ活動の推進

- ・学習に力を入れてほしい。楽習館での教育イベントにて、もう少し募集できる人数が増えるといい。ただこういうものがあること自体はすごく評価できます。
- ・予算や余裕ありましたらドッグランやペットイベントなど企画していただけると地域のコミュニティなどにもつながると思います。

◆男女共同参画社会の推進

- ・育休は最長で2才になる誕生日までなので、0～2才の保育を増やしてほしい。出産したら仕事に復帰できないのは男女平等ではありません。
- ・多様性や男女共同参画の取り組みは大いに結構ですが、結果平等ではなく機会平等の考えで施策を考えていただきたい。

（２）健康福祉・子育て

◆健康・保健サービスの充実

- ・医療費の助成をしてほしい。

◆医療体制・制度の充実

- ・産婦人科をはじめ医療機関を増やしてほしい。
- ・小児病棟、救急小児医療も、松戸や草加にしかないので、八潮も力を入れてほしい。

◆スポーツ・レクリエーション活動の推進

- ・公園（遊具が充実している、大きな公園。アスレチックや、夏は水遊びができるなど）、オリンピックで注目されたスケートボード等の施設を作り、子供も大人も楽しめるような場所を作ってほしい。
- ・文化スポーツセンターが使用できなくなっているが、代替がなくスポーツをする機会が減少している。対応をしていただきたい。
- ・市民プールを設置してほしい。

◆高齢者福祉・介護サービスの充実

- ・八潮市民の高齢化が進む中、高齢者雇用を増やしてほしい。
- ・単身世帯（頼れる人がいない）の支援（日常・入院時・死後など）、市の福祉行政として考えていただきたい。

◆障がい者（児）福祉の充実

- ・現在、児童発達支援サービスも利用していますが、来年度の放課後デイサービスの移行が、受け入れ人数いっぱい難しいとも言われています。「小1の壁」を感じます。
- ・バリアフリーが少ないと思います。

◆子育て環境の充実

- ・学童保育が不足しており、来年度私の娘が2年生になる頃入れないおそれがあります。早急な改善をお願いします。
- ・子供達が安心して過せる施設、遊べる公園を作ってほしい。
- ・保育園を増やすなど、待機児童を減らしてほしい。
- ・こども医療費について。21,000円以上の場合でも申請書による手続きではなく、医療機関の窓口で対応してほしい。
- ・保育料が高いです。考え直してください。東京都の方が安いです。子供を増やしたいのであれば考えてください。

（３）防災・防犯・消防・救急

◆防災・減災体制の強化

- ・台風の時の浸水をどうにかしてほしい。
- ・八潮市全体で災害対策、お年寄りへの配慮、防災公園の増設など、いざ起こった時への訓練を市全体で行ってほしい。
- ・停電で水が汲み上げできないマンションが多いので、非常電源の確保を希望します。
- ・雨が降った時のマンホールの溢れや、道路沿いの住宅の揺れの軽減などへの対策があると嬉しいです。
- ・市が現在、防災に関してどの程度対策を進めているのが防災イベントなどを開催して教えてほしい。

Ⅱ. 市民意識調査結果

◆防犯体制の充実

- ・警察署、消防署がほしい。
- ・街灯が少なく夜道が危険だと思います。
- ・町中全体に防犯カメラがあるといいと思います。

◆交通安全対策の推進

- ・道路事情はすぐに改善が必要だと思います。物流会社が多いのか、通学路になっている道路に、通学時間帯でも大きなトラックがよく通ります。とても危険だと思います。
- ・横断歩道のない所を渡らなければならず、不安がある。子供たちの安全な通学路を確保してほしい。
- ・車椅子、ベビーカーを使用している方には歩道も狭いです。

（４）産業経済・観光

◆商工業の振興

- ・スーパーがないので、1店舗に集中して人が来る為、平日でも混んでいてストレスを感じます。
- ・深夜に帰ってきて寄れる店、早朝からやっている店をチェーンでいいから誘致してほしい。24時間スーパーもなく、不便に感じます。
- ・八潮駅の周りにチェーン店だけではなく、ローカルビジネスを増やしてほしい。若い世代へのサポート可視化をお願いします。
- ・映画館などの商業施設を増やしてほしい。

◆労働環境の整備

- ・地域で働ける環境作りをしてほしい。自治会、町会を通してできるようになったらと思います。いくつになっても、生きがいと希望をもって生活できる事を望みます。
- ・オフィスを登記できるコワーキングオフィスなどの起業支援をしてほしい。

◆観光の振興

- ・新しい取り組みも今までの実績を踏まえた活動の推進が重要では？例）「八潮駅伝」と「八潮まつり」の同時開催や市内にいくつかある「マリーナ」のアピールや有効利用、ラジコン大会や修徳高校のグラウンドなど市をアピールする素材は多くあるように思います。
- ・駅前公園のみのお祭りでは、人が溢れて楽しむことができません。一部、歩行者天国をつくり、出店や遊びのスペースを作る等、子供からお年寄りまで楽しめるお祭りを作っていくと良いと思います。
- ・近隣沿線の中では地味なエリアではあるが近隣の良いところを取り入れて八潮市のPRをしてほしい。

(5) 都市基盤・環境

◆土地利用・市街地形成の推進

- ・八條地区の開発を進めてほしい。
- ・人口が増えて、通勤通学に TX を利用する人が増えると、駅の駐輪場がいつも空いておらず（1 日預り）、停める所を探すのが大変です。そちらの整備や増設も考えていただけないでしょうか。
- ・市が管理する遊休地が多数あり、上手く活用することで地域の活性化、税収増加が見込まれると考えます。また都市計画に関して、スケジュールやビジョンが不明確なため、明確なスケジュールやプランを作成し周知してほしい。
- ・公園の遊具がとても少なく、つまらない。もっと子供が楽しく遊べる公園を増やしてほしい。有料で構わないので、公園に駐車場も作ってほしい。
- ・八潮はどこにもアクセスしやすく交通の便はとても良く住みやすい街であると思うがそれに伴って駅回りをもっと上手く開発していく必要があると思う。駅まわりでも上手く活用の出来てない場所が多くあると感じる。人口が増加している中で上手く街づくりをすることができたらより八潮市の魅力も高まるのではないかと期待する。

◆道路の整備

- ・道路はガタガタで土手は草がはえ放題になっています。
- ・用水路をふさいでほしい。道幅がせまい道路の整備（駅前以外）をしてほしい。
- ・物流会社が多いのか、通学路になっている道路に、通学時間帯でも大きなトラックがよく通る。とても危険だと思う。
- ・歩道を整備してほしい。ベビーカーで走れないデコボコした道が多くあります。
- ・道路の水捌けが悪い場所の改善してほしい。

◆公共交通機関

- ・市役所の中からレイクタウン行、新三郷行や、コストコなど直接行けるバスがあるといいですね。八潮中央総合病院などにもコミュニティバスがほしい。とにかくバスが少ない。
- ・市役所に行くバスを増やしてほしい。赤ちゃん連れて徒歩は無理です。
- ・鉄道開通で住みやすく変わり、地域社会は新たな近所づきあいもできてきています。
- ・市内を循環するコミュニティバスを運賃 100 円くらいで走らせていただけると、公共施設に行きやすくて助かります。
- ・東京地下鉄 8 号線の誘致促進をしてほしい。

Ⅱ. 市民意識調査結果

◆公園・緑地の整備

- ・公園をもっと明るくキレイにしてほしい。
- ・公園の芝生部分の雑草が伸びすぎていて、見た目も良くないし子どもや犬を遊ばせられません。道路沿いの雑草もすごくて通行の妨げになっているし、草むらも夜暗くて危ないと思います。
- ・同じ公園ばかりなので、それぞれ特徴のある公園にして、それぞれに日陰になる所、時計の設置をお願いします。
- ・公園などといった子どもが安心して遊べる環境、そして高齢者がコミュニティを広げるための場所として、今より緑地化された公園(または噴水広場など)を増やすべきです(イメージは江戸川区の親水公園)。

◆治水・下水道の整備

- ・上下水ともに、老朽化した施設等を整え直した方が良いと思います。水は健康の維持にもとても重要です。
- ・下水、側溝の衛生整備をお願いします。
- ・大雨の冠水をどうにかしてほしい。

◆住宅・住環境の整備

- ・私有地から歩道に出ていると狭くなって危険です。所有者への対応をお願いします。中川の河川敷はジャングルのような状態です。

◆環境保全・衛生の推進

- ・ゴミの回収が遅いと思う（特にもえるゴミ）。
- ・道端の植木が手入れされていない。植え込みの雑草が生えっぱなしになっています。使用率の低い公園も草だらけで虫が沸きやすいので整備してほしい。
- ・道路が大変汚い。「八潮」＝「砂埃」のイメージです。また、街路樹に面した雑草の放置が長すぎて、伸びすぎて外観も大変よろしくありません。市政が整った市は道路整備と緑化が整っていると思います。
- ・中川沿いの土手の除草を頻繁に行ってほしい。土手沿いの道路に草が出ており、危ないです。事故やケガ人が出てからでは遅いと思います。

(6) 新公共経営

◆広聴・広報の充実

- ・届いた資料、特に補助金などの制度が難しく理解しづらいことがあります。
- ・八潮市情報をメールでなく LINE での発信してもらいたいです。
- ・くらし、特に生活に助成する制度等の広報、内容告知が不十分と思います。
- ・八潮市公式サイト情報が常に最新であると助かります。調べても前年度の情報しかなく困りました。
- ・SNS を利用した市の PR は必須であり、周りの市と比較しても八潮市はかなり劣っているため、新規部署などを設け、加速して推進して行くことは急務だと考えます。

◆行財政運営

- ・住民税が高すぎて困っています。
- ・市の補助金、助成制度は分かりやすく公表してほしい。

◆公共施設等の整備

- ・駅周辺に学生が勉強できるスペースがほしい。図書館も遠いため集中できる場所がほしい。
- ・図書館の勉強スペースを増やしてほしい。
- ・保健センター跡地の今後の利用等を速やかに検討し実行していただきたい。
- ・小中学校の体育館にエアコン設置してほしい。
- ・図書館やプールなど子どもが安全に楽しめる施設がほしい。

Ⅱ. 市民意識調査結果

人権・男女共同参画に関するアンケート

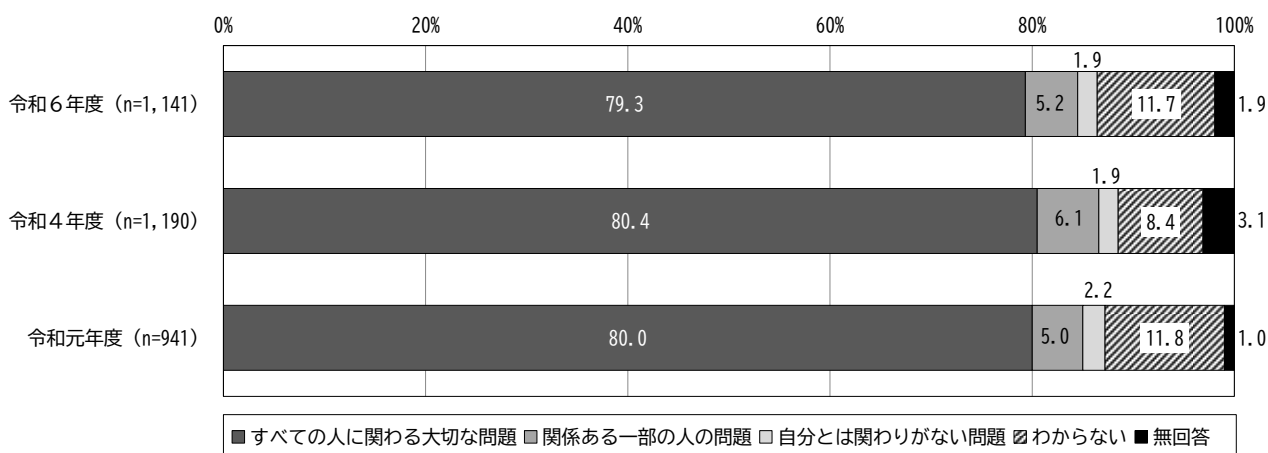
8. 人権問題について

問 32 あなたは、人権問題について、どのように考えていますか。(○は1つ)

人権問題についての考えは、「すべての人に関わる大切な問題」が79.3%と最も多く、次いで、「わからない」が11.7%、「関係ある一部の人の問題」が5.2%となっています。

過去の調査と比較すると、「すべての人に関わる大切な問題」は前回調査(80.4%)からほぼ変化していません。

性別、年代別でみると、「すべての人に関わる大切な問題」は70歳以上を除くすべての項目で7割半ば以上と多くっており、男女年代問わず大切な問題と考えられています。



【性別、年代別】

(単位：人)

(単位：%)

	回答者数	すべての人に関わる大切な問題	関係ある一部の人の問題	自分とは関わりがない問題	わからない	無回答
全体	1,141	79.3	5.2	1.9	11.7	1.9
性別						
男性	502	76.9	8.2	2.8	10.4	1.8
女性	629	81.2	2.9	1.3	12.6	2.1
年代別						
19歳以下	22	81.8	9.1	0.0	9.1	0.0
20歳代	174	79.3	5.7	2.3	10.9	1.7
30歳代	208	88.5	3.4	1.4	5.3	1.4
40歳代	229	79.0	8.3	2.2	9.6	0.9
50歳代	251	82.9	4.0	2.4	9.2	1.6
60歳代	142	76.1	4.9	2.1	16.9	0.0
70歳以上	110	57.3	3.6	0.9	29.1	9.1

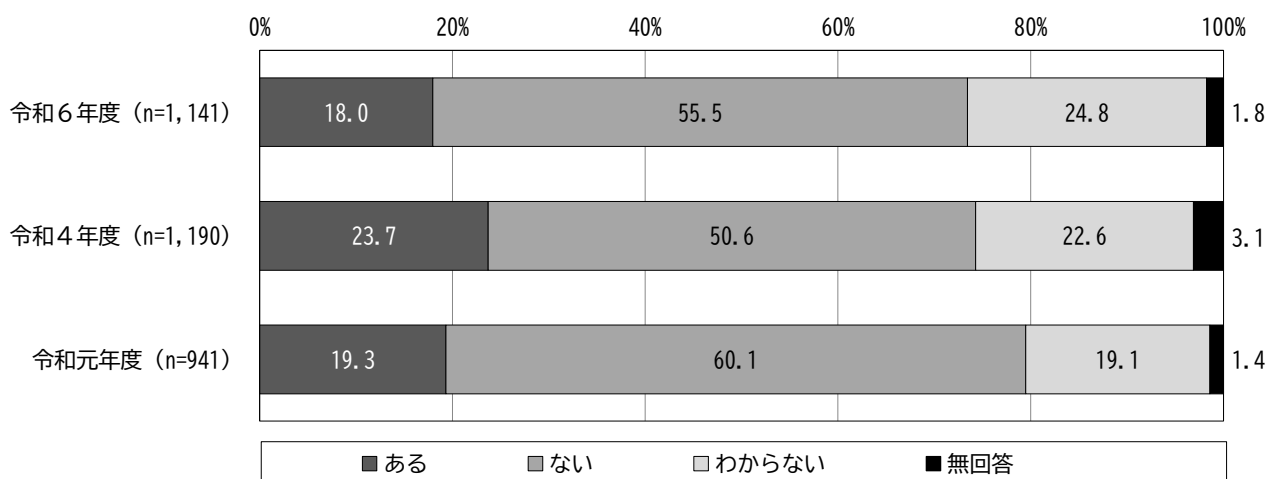
※網掛けは最も多いもの(無回答を除く)

問 33 あなたは、日常生活の中で、あなた自身、またはあなたの周りの人（家族・友人等）の人権が侵害されたと感じたことがありますか。（○は1つ）

日常生活の中で、自身や周囲の人の人権が侵害されたと感じたことは、「ない」が55.5%と最も多く、次いで、「わからない」が24.8%、「ある」が18.0%となっています。

過去の調査と比較すると、「ある」は前回調査（23.7%）から5.7ポイント減少しています。

性別、年代別でみると、「ない」はいずれも5割を超えて最も多くなっています。「ある」は男女ともに1割半ば以上、20歳代と40歳代で2割台となっています。



【性別、年代別】

		(単位：人)	(単位：%)			
		回答者数	ある	ない	わからない	無回答
全体		1,141	18.0	55.5	24.8	1.8
性別	男性	502	15.5	59.6	23.3	1.6
	女性	629	19.9	52.1	26.2	1.7
年代別	19歳以下	22	4.5	50.0	45.5	0.0
	20歳代	174	23.6	55.7	20.1	0.6
	30歳代	208	19.2	51.0	28.8	1.0
	40歳代	229	20.1	52.4	27.1	0.4
	50歳代	251	17.1	53.4	28.3	1.2
	60歳代	142	15.5	66.9	14.8	2.8
	70歳以上	110	10.0	60.9	21.8	7.3

※網掛けは最も多いもの（無回答を除く）

Ⅱ. 市民意識調査結果

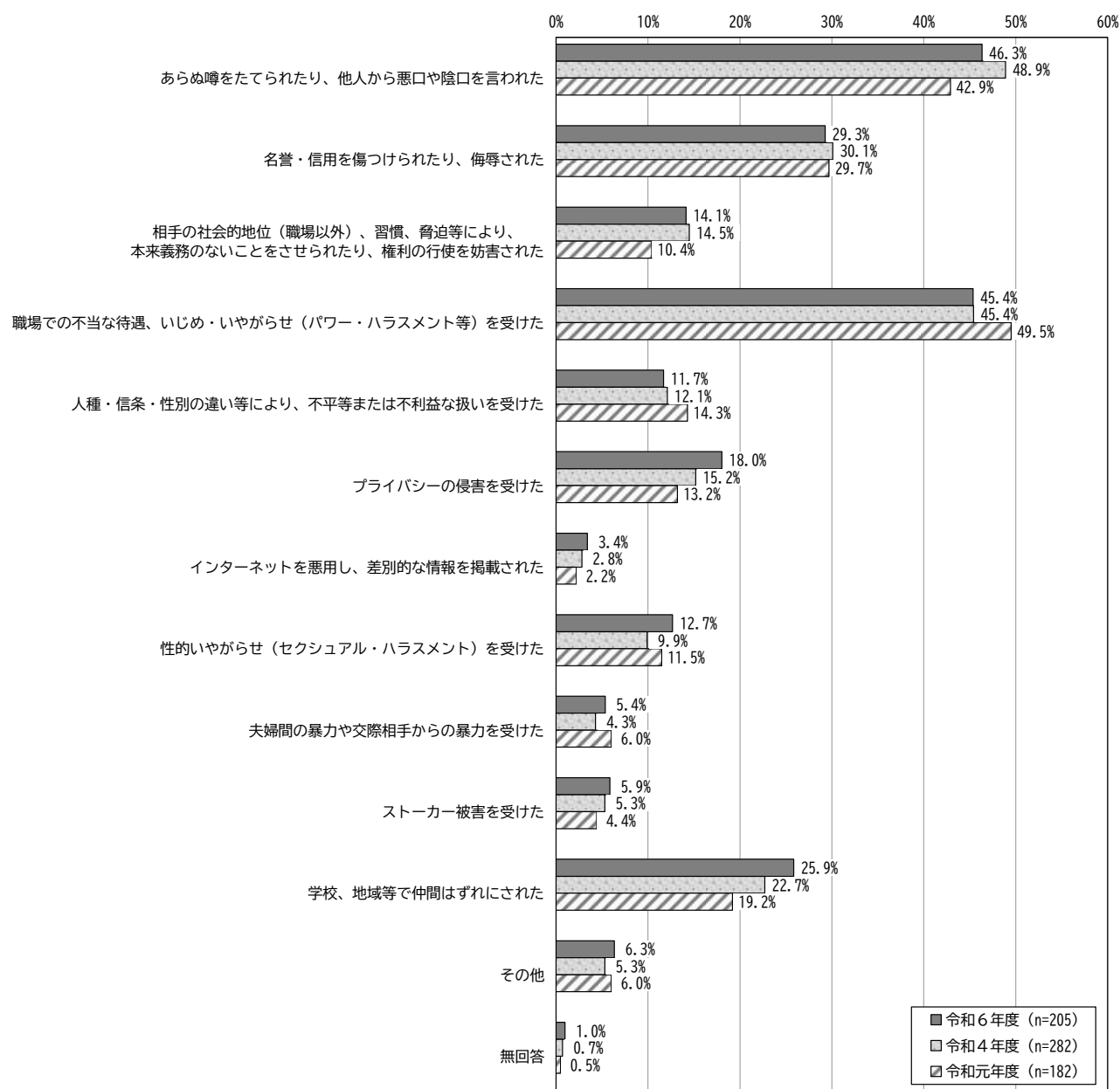
問 33 で「ある」を選択された方のみ回答

問 33-1 それはどのような内容ですか。(あてはまるものすべてに○)

人権侵害されたと感じた経験のある人の侵害内容は、「あらぬ噂をたてられたり、他人から悪口や陰口を言われた」が 46.3%と最も多く、次いで、「職場での不当な待遇、いじめ・いやがらせ（パワー・ハラスメント等）を受けた」が 45.4%、「名誉・信用を傷つけられたり、侮辱された」が 29.3%となっています。

性別でみると、「あらぬ噂をたてられたり、他人から悪口や陰口を言われた」は男性で、「職場での不当な待遇、いじめ・いやがらせ（パワー・ハラスメント等）を受けた」は女性で最も多くなっています。「相手の社会的地位（職場以外）、習慣、脅迫等により、本来義務のないことをさせられたり、権利の行使を妨害された」は男性が女性を 15.1 ポイント上回っており、反対に「性的いやがらせ（セクシュアル・ハラスメント）を受けた」は女性が男性を 8.8 ポイント上回っています。

年代別でみると、「あらぬ噂をたてられたり、他人から悪口や陰口を言われた」は 20 歳代と 50 歳代と 70 歳以上で、「職場での不当な待遇、いじめ・いやがらせ（パワー・ハラスメント等）を受けた」は 19 歳以下と 30 歳代から 40 歳代と 60 歳代で最も多くなっています。



Ⅱ. 市民意識調査結果

【性別、年代別】

(単位：人)

(単位：%)

		回答者数	陰口を言われた	名誉・信用を傷つけられたり、侮辱された	相手の社会的地位（職場以外）、習慣、脅迫等により、本来義務のないことをさせられたり、権利の行使を妨害された	職場での不当な待遇、いじめ・いやがらせ（パワー・ハラスメント等）を受けた	人種・信条・性別の違い等により、不平等または不利益な扱いを受けた	プライバシーの侵害を受けた	インターネットを悪用し、差別的な情報を掲載された	性的いやがらせ（セクシュアル・ハラスメント）を受けた	夫婦間の暴力や交際相手からの暴力を受けた	ストーカー被害を受けた	学校、地域等で仲間はずれにされた	その他	無回答
全体		205	46.3	29.3	14.1	45.4	11.7	18.0	3.4	12.7	5.4	5.9	25.9	6.3	1.0
性別	男性	78	46.2	32.1	23.1	39.7	6.4	19.2	2.6	6.4	3.8	0.0	19.2	5.1	0.0
	女性	125	45.6	26.4	8.0	48.0	13.6	16.0	3.2	15.2	5.6	8.8	28.8	7.2	1.6
年代別	19歳以下	1	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20歳代	41	46.3	36.6	9.8	31.7	9.8	12.2	0.0	9.8	2.4	2.4	31.7	4.9	0.0
	30歳代	40	37.5	22.5	22.5	42.5	20.0	17.5	2.5	17.5	0.0	7.5	22.5	2.5	2.5
	40歳代	46	50.0	34.8	15.2	60.9	17.4	23.9	6.5	15.2	10.9	10.9	23.9	10.9	0.0
	50歳代	43	48.8	25.6	11.6	46.5	4.7	14.0	4.7	7.0	4.7	4.7	25.6	7.0	2.3
	60歳代	22	40.9	22.7	13.6	45.5	0.0	13.6	0.0	13.6	0.0	0.0	31.8	9.1	0.0
	70歳以上	11	63.6	27.3	9.1	27.3	9.1	36.4	9.1	9.1	27.3	9.1	9.1	0.0	0.0

※網掛けは最も多いもの(その他・無回答を除く)

9. 男女共同参画について

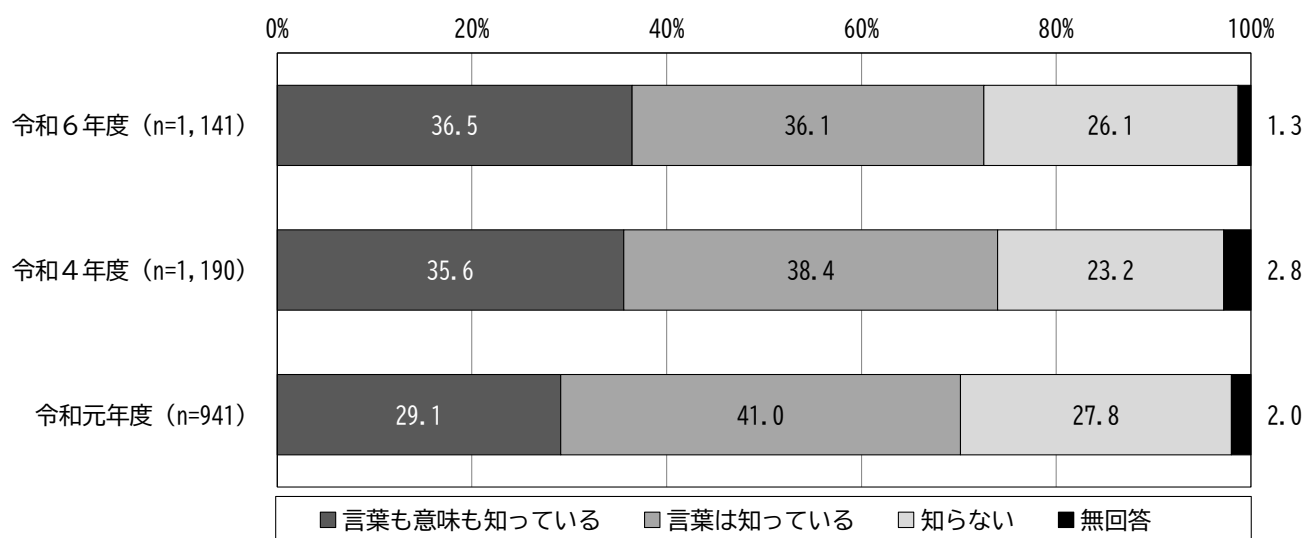
問 34 あなたは、男女共同参画という言葉を知っていますか。(○は1つ)

男女共同参画という言葉の認知度は、「言葉も意味も知っている」が36.5%と最も多く、次いで、「言葉は知っている」が36.1%、「知らない」が26.1%となっています。

過去の調査と比較すると、『知っている（計）』は前回調査（74.0%）から1.4ポイント減少しています。

性別でみると、「言葉も意味も知っている」は男性が約4割、「言葉は知っている」は女性が約4割と最も多く、『知っている（計）』は男女ともに7割台となっています。

年代別でみると、『知っている（計）』は20歳代から30歳代で8割台となっており、70歳以上で7割台になっています。「言葉も意味も知っている」は30歳代以下で4割を超えており、年代が下がるにつれて多くなる傾向にあります。



【性別、年代別】

		(単位：人)	(単位：%)			
		回答者数	言葉も意味も知っている	言葉は知っている	知らない	無回答
全体		1,141	36.5	36.1	26.1	1.3
性別	男性	502	42.2	33.7	23.1	1.0
	女性	629	32.1	38.5	28.0	1.4
年代別	19歳以下	22	54.5	13.6	31.8	0.0
	20歳代	174	55.7	25.3	18.4	0.6
	30歳代	208	47.6	33.2	18.8	0.5
	40歳代	229	32.3	36.2	31.0	0.4
	50歳代	251	30.3	37.5	30.7	1.6
	60歳代	142	25.4	43.7	28.9	2.1
	70歳以上	110	20.0	51.8	24.5	3.6

※網掛けは最も多いもの（無回答を除く）

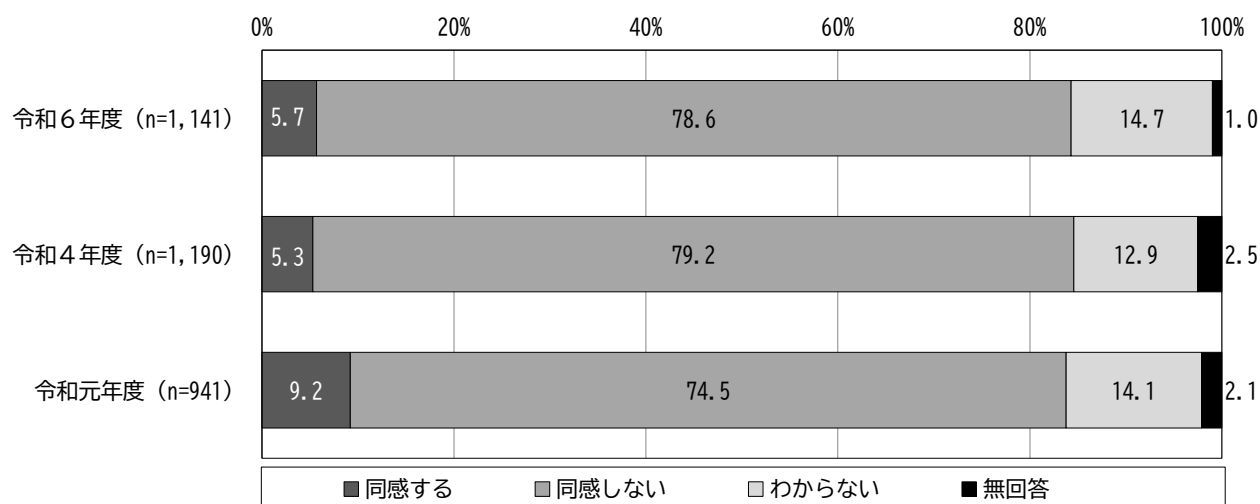
問 35 あなたは、「男は仕事、女は家庭」という固定的な性別役割分担の考え方について、どう思いますか。(〇は1つ)

固定的な性別役割分担の考え方は、「同感する」が 5.7%、「同感しない」が 78.6%となっています。

過去の調査と比較すると、「同感しない」は前回調査（79.2%）から 0.6 ポイント減少しています。

性別でみると、「同感しない」は女性が8割を超えており、男性を 11.5 ポイント上回っています。

年代別でみると、「同感しない」はすべての年代で最も多く、30 歳代から 40 歳代で 8 割以上となっています。



【性別、年代別】

(単位：人)

(単位：%)

		回答者数	同感する	同感しない	わからない	無回答
全体		1,141	5.7	78.6	14.7	1.0
性別	男性	502	9.2	72.1	17.7	1.0
	女性	629	2.9	83.6	12.6	1.0
年代別	19歳以下	22	4.5	68.2	27.3	0.0
	20歳代	174	2.3	79.3	17.2	1.1
	30歳代	208	4.3	81.7	13.9	0.0
	40歳代	229	5.2	81.7	13.1	0.0
	50歳代	251	6.4	79.3	13.5	0.8
	60歳代	142	7.7	76.8	13.4	2.1
	70歳以上	110	10.9	67.3	18.2	3.6

※網掛けは最も多いもの（無回答を除く）

Ⅱ. 市民意識調査結果

問 36 あなたは、以下の「家庭生活で」～「社会全体で」の場において、男女の地位が平等になっていると思いますか。あてはまる番号それぞれ1つに○印をお付けください。

生活場面における男女の平等感について、「男性の方が優遇されている」では、『政治の場で』が35.5%と最も多く、次いで、『社会通念・慣習・しきたり等で』が22.3%、『社会全体で』が13.8%となっています。

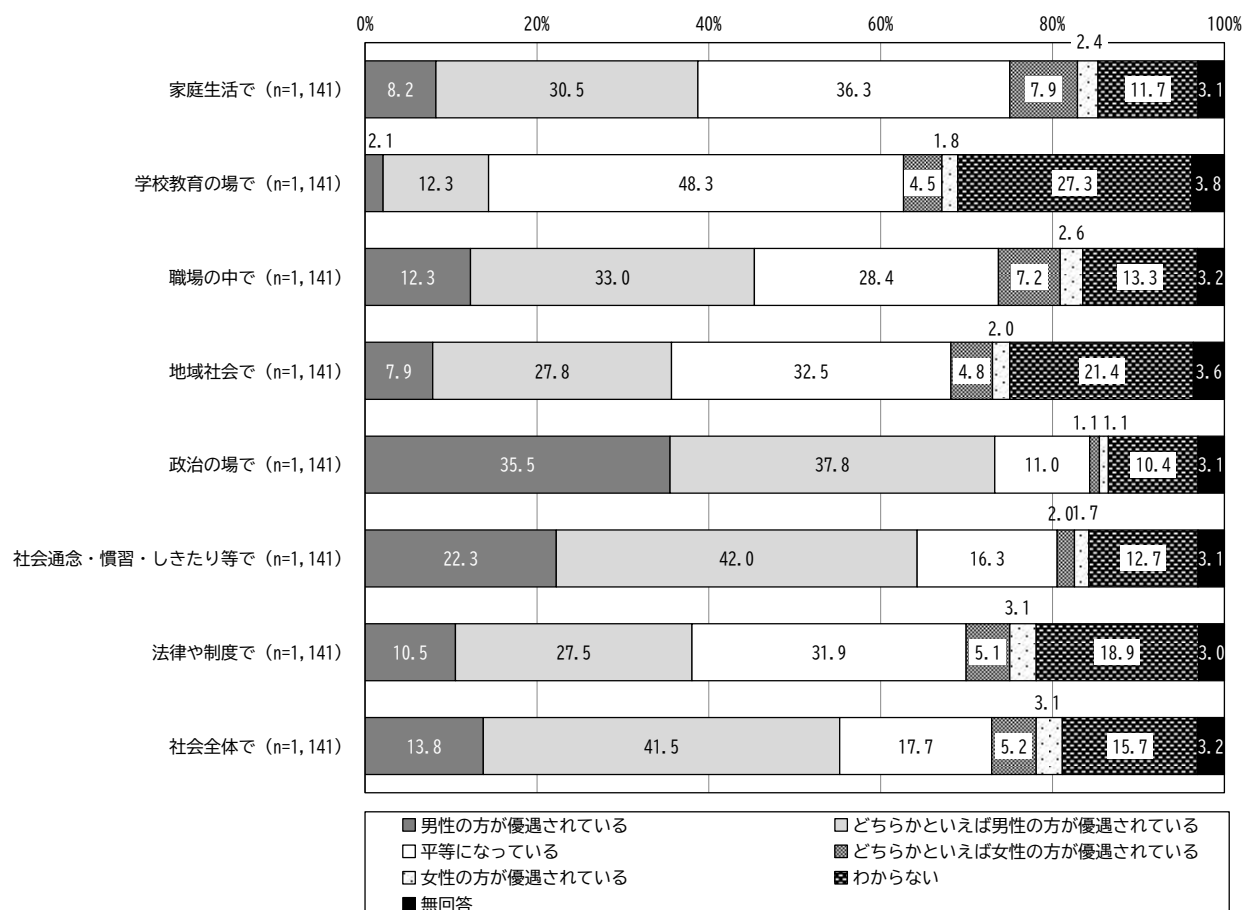
「どちらかといえば男性の方が優遇されている」では、『社会通念・慣習・しきたり等で』が42.0%と最も多く、次いで、『社会全体で』が41.5%、『政治の場で』が37.8%となっています。

「平等になっている」では、『学校教育の場で』が48.3%と最も多く、次いで、『家庭生活で』が36.3%、『地域社会で』が32.5%となっています。

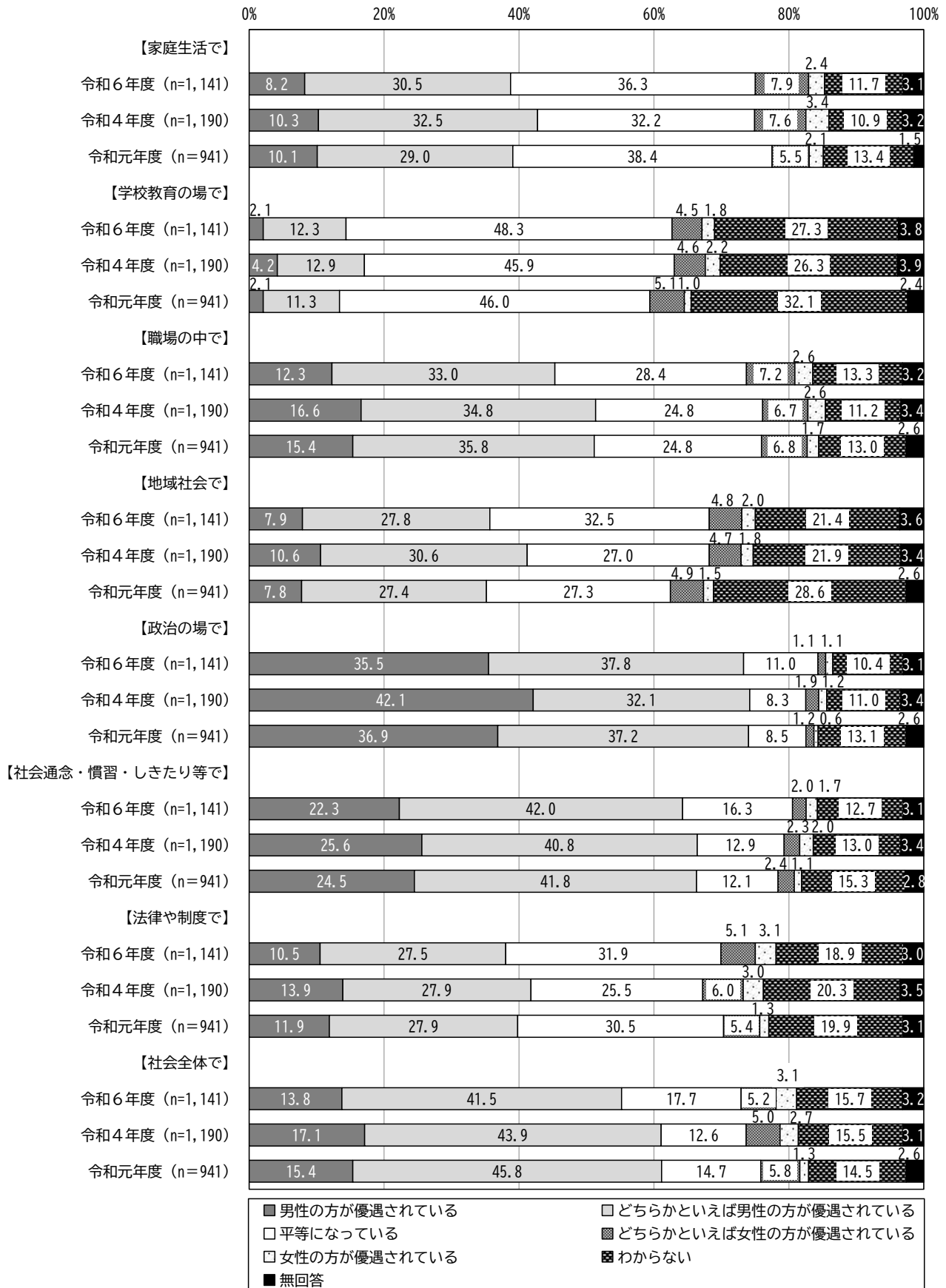
「どちらかといえば女性の方が優遇されている」では、『家庭生活で』が7.9%と最も多く、次いで、『職場の中で』が7.2%、『社会全体で』が5.2%となっています。

「女性の方が優遇されている」では、『法律や制度で』、『社会全体で』がともに3.1%と最も多く、次いで、『職場の中で』が2.6%となっています。

「わからない」では、『学校教育の場で』が27.3%と最も多く、次いで、『地域社会で』が21.4%、『法律や制度で』が18.9%となっています。



【経年比較】



Ⅱ. 市民意識調査結果

【性別、年代別】

◆家庭生活で

(単位：人)

(単位：%)

	回答者数	男性の方が優遇	どちらかという方が優え	平等になつて	どちらかという方が優え	女性の方が優遇	わからない	無回答
全体	1,141	8.2	30.5	36.3	7.9	2.4	11.7	3.1
性別	男性	502	4.8	21.1	42.6	11.2	4.0	12.9
	女性	629	11.0	37.8	31.6	5.2	1.1	10.5
年代別	19歳以下	22	0.0	40.9	36.4	13.6	0.0	9.1
	20歳代	174	3.4	31.0	40.8	11.5	4.0	9.2
	30歳代	208	8.2	21.6	44.2	9.1	2.9	12.5
	40歳代	229	9.2	29.7	30.6	10.9	3.1	14.8
	50歳代	251	9.2	31.9	39.0	6.0	2.4	8.8
	60歳代	142	8.5	38.0	30.3	2.8	0.7	14.8
	70歳以上	110	13.6	30.9	28.2	3.6	0.0	10.9

※網掛けは最も多いもの（無回答を除く）

◆学校教育の場で

(単位：人)

(単位：%)

	回答者数	男性の方が優遇	どちらかという方が優え	平等になつて	どちらかという方が優え	女性の方が優遇	わからない	無回答
全体	1,141	2.1	12.3	48.3	4.5	1.8	27.3	3.8
性別	男性	502	1.0	10.4	50.6	6.0	3.8	24.1
	女性	629	2.9	13.8	46.3	3.3	0.3	29.9
年代別	19歳以下	22	4.5	9.1	63.6	9.1	4.5	9.1
	20歳代	174	2.9	12.6	56.3	7.5	2.9	17.8
	30歳代	208	1.9	10.6	54.3	4.8	2.4	24.0
	40歳代	229	1.7	11.4	51.1	5.2	1.7	26.6
	50歳代	251	1.6	12.0	44.2	4.0	1.6	33.5
	60歳代	142	1.4	19.7	36.6	1.4	1.4	33.1
	70歳以上	110	2.7	9.1	38.2	1.8	0.0	32.7

※網掛けは最も多いもの（無回答を除く）

◆職場の中で

		(単位：人)							(単位：%)
		回答者数	男性の方が優遇	どちらかという方が優え	平等になつて	どちらかという方が優え	女性の方が優遇	わからない	無回答
全体		1,141	12.3	33.0	28.4	7.2	2.6	13.3	3.2
性別	男性	502	7.8	31.1	31.7	10.4	5.6	10.4	3.2
	女性	629	15.6	34.8	25.6	4.6	0.3	15.9	3.2
年代別	19歳以下	22	22.7	22.7	22.7	13.6	9.1	9.1	0.0
	20歳代	174	15.5	28.7	29.9	8.6	4.0	13.2	0.0
	30歳代	208	11.1	34.1	29.3	13.9	3.4	6.3	1.9
	40歳代	229	12.2	31.0	31.0	6.1	4.4	13.1	2.2
	50歳代	251	11.6	34.7	31.5	5.6	1.6	12.7	2.4
	60歳代	142	9.2	41.5	24.6	2.8	0.0	17.6	4.2
	70歳以上	110	11.8	29.1	18.2	2.7	0.0	24.5	13.6

※網掛けは最も多いもの（無回答を除く）

◆地域社会で

		(単位：人)							(単位：%)
		回答者数	男性の方が優遇	どちらかという方が優え	平等になつて	どちらかという方が優え	女性の方が優遇	わからない	無回答
全体		1,141	7.9	27.8	32.5	4.8	2.0	21.4	3.6
性別	男性	502	5.2	20.9	40.2	7.6	4.4	17.9	3.8
	女性	629	9.9	33.4	26.4	2.5	0.2	24.2	3.5
年代別	19歳以下	22	4.5	22.7	40.9	0.0	9.1	22.7	0.0
	20歳代	174	6.9	21.8	39.7	4.0	4.0	23.6	0.0
	30歳代	208	8.2	24.0	37.0	8.7	2.4	18.3	1.4
	40歳代	229	7.4	28.8	30.6	4.4	3.1	23.6	2.2
	50歳代	251	7.6	31.5	28.7	4.8	0.8	23.1	3.6
	60歳代	142	9.9	33.1	27.5	3.5	0.0	20.4	5.6
	70歳以上	110	8.2	27.3	30.0	2.7	0.0	17.3	14.5

※網掛けは最も多いもの（無回答を除く）

Ⅱ. 市民意識調査結果

◆政治の場で

		(単位：人)							(単位：%)
		回答者数	男性の方が優遇	どちらかという方が優え	平等になつてい	どちらかという方が優え	女性の方が優遇	わからない	無回答
全体		1,141	35.5	37.8	11.0	1.1	1.1	10.4	3.1
性別	男性	502	26.5	35.7	16.7	2.6	2.2	12.7	3.6
	女性	629	42.6	39.7	6.5	0.0	0.0	8.4	2.7
年代別	19歳以下	22	36.4	27.3	18.2	0.0	0.0	18.2	0.0
	20歳代	174	37.4	36.8	12.6	0.6	2.3	10.3	0.0
	30歳代	208	40.9	36.1	12.5	1.4	1.0	6.7	1.4
	40歳代	229	37.1	34.5	11.4	2.2	1.3	11.8	1.7
	50歳代	251	37.1	39.8	10.8	0.8	0.4	8.4	2.8
	60歳代	142	28.9	43.0	9.2	1.4	0.0	12.7	4.9
	70歳以上	110	22.7	40.9	6.4	0.0	1.8	15.5	12.7

※網掛けは最も多いもの（無回答を除く）

◆社会通念・慣習・しきたり等で

		(単位：人)							(単位：%)
		回答者数	男性の方が優遇	どちらかという方が優え	平等になつてい	どちらかという方が優え	女性の方が優遇	わからない	無回答
全体		1,141	22.3	42.0	16.3	2.0	1.7	12.7	3.1
性別	男性	502	14.3	40.4	21.5	4.4	3.2	12.5	3.6
	女性	629	28.5	43.6	11.8	0.2	0.5	12.9	2.7
年代別	19歳以下	22	18.2	22.7	31.8	0.0	0.0	27.3	0.0
	20歳代	174	23.0	36.8	21.3	4.0	1.7	12.6	0.6
	30歳代	208	27.9	36.5	18.8	2.9	2.9	9.1	1.9
	40歳代	229	20.5	40.6	15.7	2.2	1.7	17.5	1.7
	50歳代	251	22.7	50.2	13.5	0.8	0.8	9.6	2.4
	60歳代	142	21.8	43.0	13.4	2.1	2.1	13.4	4.2
	70歳以上	110	13.6	48.2	10.9	0.0	0.9	13.6	12.7

※網掛けは最も多いもの（無回答を除く）

◆法律や制度で

		(単位：人)							(単位：%)
		回答者数	男性の方が優遇	どちらの方がいい	平等になってい	どちらの方がいい	女性の方が優遇	わからない	無回答
全体		1,141	10.5	27.5	31.9	5.1	3.1	18.9	3.0
性別	男性	502	5.2	19.5	39.6	8.8	6.4	17.3	3.2
	女性	629	14.9	33.7	25.4	2.2	0.5	20.3	2.9
年代別	19歳以下	22	4.5	27.3	40.9	0.0	0.0	27.3	0.0
	20歳代	174	10.9	21.3	37.4	5.7	6.9	17.8	0.0
	30歳代	208	14.4	26.9	28.4	7.7	5.3	15.9	1.4
	40歳代	229	10.9	28.4	28.4	7.4	3.1	20.1	1.7
	50歳代	251	10.4	27.5	33.9	4.8	1.6	19.5	2.4
	60歳代	142	8.5	32.4	31.7	1.4	0.7	19.7	5.6
	70歳以上	110	6.4	30.0	30.0	0.9	0.0	20.9	11.8

※網掛けは最も多いもの（無回答を除く）

◆社会全体で

		(単位：人)							(単位：%)
		回答者数	男性の方が優遇	どちらの方がいい	平等になってい	どちらの方がいい	女性の方が優遇	わからない	無回答
全体		1,141	13.8	41.5	17.7	5.2	3.1	15.7	3.2
性別	男性	502	6.4	34.3	24.9	10.0	6.8	14.7	3.0
	女性	629	19.4	47.2	11.9	1.4	0.2	16.5	3.3
年代別	19歳以下	22	4.5	36.4	27.3	0.0	9.1	22.7	0.0
	20歳代	174	10.9	31.6	21.3	9.8	6.3	20.1	0.0
	30歳代	208	15.4	36.5	19.2	9.1	3.8	14.4	1.4
	40歳代	229	12.7	45.9	16.6	3.9	3.9	15.3	1.7
	50歳代	251	14.7	45.8	17.1	3.6	2.0	13.9	2.8
	60歳代	142	13.4	49.3	14.8	2.8	0.0	14.1	5.6
	70歳以上	110	16.4	38.2	14.5	0.9	0.0	17.3	12.7

※網掛けは最も多いもの（無回答を除く）

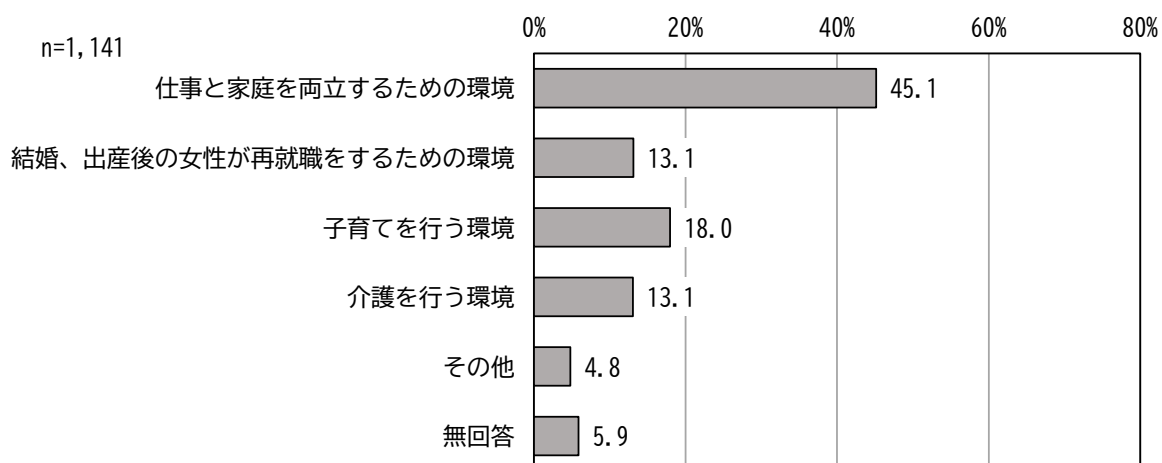
Ⅱ. 市民意識調査結果

問 37 性別にとらわれず多様な生き方を選択するためにさらに充実を求めるのはどのような環境ですか。(〇は1つ)

性別にとらわれず多様な生き方を選択するためにさらに充実を求める環境は、「仕事と家庭を両立するための環境」が 45.1%、「子育てを行う環境」が 18.0%、「結婚、出産後の女性が再就職をするための環境」、「介護を行う環境」がともに 13.1%となっています。

性別でみると、「仕事と家庭を両立するための環境」は男女ともに4割を超えて最も多くなっています。

年代別でみると、「仕事と家庭を両立するための環境」はすべての年代で最も多く、20歳代以下は5割以上となっており、70歳以上は「介護を行う環境」もともに最も多くなっています。



【性別、年代別】

		(単位：人)							(単位：%)
		回答者数	仕事と家庭を両立する環境	結婚、出産後の女性が再就職するための環境	子育てを行う環境	介護を行う環境	その他	無回答	
全体		1,141	45.1	13.1	18.0	13.1	4.8	5.9	
性別	男性	502	44.8	13.1	20.3	11.2	4.8	5.8	
	女性	629	45.0	13.0	16.4	14.6	4.9	6.0	
年代別	19歳以下	22	50.0	4.5	31.8	0.0	13.6	0.0	
	20歳代	174	52.9	15.5	25.3	2.9	2.3	1.1	
	30歳代	208	45.7	14.4	30.8	1.4	4.3	3.4	
	40歳代	229	45.0	14.0	17.9	7.9	8.3	7.0	
	50歳代	251	43.4	13.9	12.4	20.3	4.8	5.2	
	60歳代	142	47.2	9.9	7.7	25.4	4.9	4.9	
	70歳以上	110	31.8	9.1	6.4	31.8	0.9	20.0	

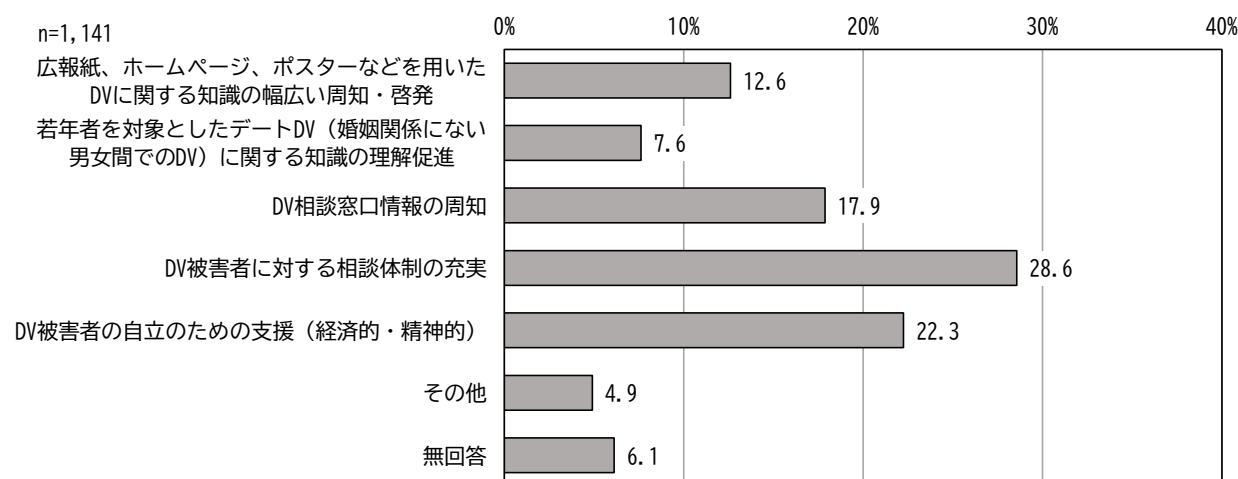
※網掛けは最も多いもの（その他・無回答を除く）

問 38 年々増加する配偶者等からの暴力（DV）の防止及び被害者支援のために特に重要だと思うものはどのようなことですか。（○は1つ）

配偶者等からの暴力（DV）の防止及び被害者支援のために特に重要だと思うものは、「DV 被害者に対する相談体制の充実」が 28.6%と最も多く、次いで、「DV 被害者の自立のための支援（経済的・精神的）」が 22.3%、「DV 相談窓口情報の周知」が 17.9%となっています。

性別でみると、「DV 被害者に対する相談体制の充実」は男性が3割を超えて、女性より 3.3 ポイント上回っています。

年代別でみると、「DV 被害者に対する相談体制の充実」は 70 歳以上を除くすべての年代で最も多く、50 歳代と 60 歳代は3割台となっており、19 歳以下は「DV 被害者の自立のための支援（経済的・精神的）」もともに最も多くなっています。



【性別、年代別】

		(単位：人)							(単位：%)	
		回答者数	知識の幅広い周知・啓発	広報紙、ホームページ、ポスターなどを用いたDVに関する知識の理解促進	（DV）（婚姻関係にない男女間でのDV）に関する知識の理解促進	DV相談窓口情報の周知	DV被害者に対する相談体制の充実	DV被害者の自立のための支援（経済的・精神的）	その他	無回答
全体		1,141	12.6	7.6	17.9	28.6	22.3	4.9	6.1	
性別	男性	502	14.7	7.6	18.5	30.5	16.1	6.4	6.2	
	女性	629	10.7	7.8	17.6	27.2	26.9	3.8	6.0	
年代別	19歳以下	22	13.6	9.1	18.2	27.3	27.3	4.5	0.0	
	20歳代	174	5.7	14.4	16.7	28.7	27.0	5.2	2.3	
	30歳代	208	10.6	10.1	17.3	28.4	23.1	6.7	3.8	
	40歳代	229	10.9	7.4	19.7	28.8	20.5	7.9	4.8	
	50歳代	251	11.2	5.6	20.3	32.3	23.1	3.2	4.4	
	60歳代	142	13.4	2.8	20.4	30.3	21.1	2.1	9.9	
	70歳以上	110	31.8	3.6	9.1	18.2	14.5	2.7	20.0	

※網掛けは最も多いもの（その他・無回答を除く）

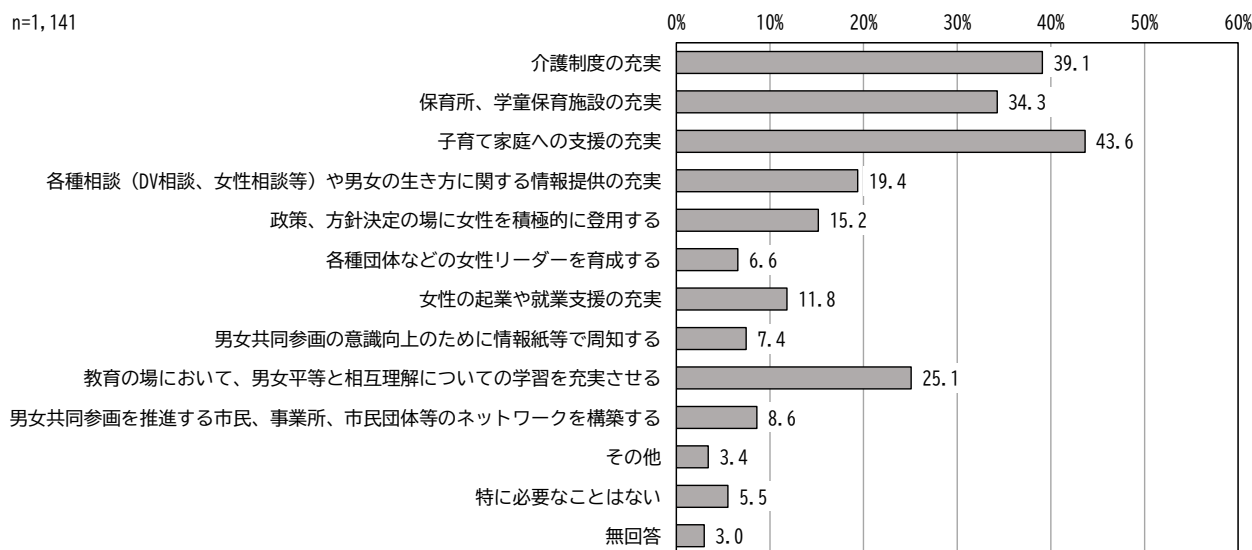
Ⅱ. 市民意識調査結果

問 39 男女共同参画推進のために本市が力を入れてほしいことは何ですか。(〇は3つまで)

男女共同参画推進のために市が力を入れてほしいことは、「子育て家庭への支援の充実」が 43.6%と最も多く、次いで、「介護制度の充実」が 39.1%、「保育所、学童保育施設の充実」が 34.3%となっています。

性別でみると、「子育て家庭への支援の充実」は男性で最も多く、「介護制度の充実」は女性で最も多くなっています。また、「女性の起業や就業支援の充実」は女性が男性を 6.6 ポイント上回っています。

年代別でみると、「子育て家庭への支援の充実」は 40 歳代以下で最も多く、年代が下がるにつれて多くなる傾向にあります。「介護制度の充実」は 50 歳代以上で最も多く、年代が上がるにつれて多くなる傾向にあります。



【性別、年代別】

(単位：人)

(単位：%)

	回答者数	介護制度の充実	保育所、学童保育施設の充実	子育て家庭への支援の充実	各種相談 (DV相談、女性相談等) や男女の生き方に関する情報提供の充実	政策、方針決定の場に女性を積極的に登用する	各種団体などの女性リーダーを育成する	女性の起業や就業支援の充実	男女共同参画の意識向上のために情報紙等で周知する	教育の場において、男女平等と相互理解についての学習を充実させる	男女共同参画を推進する市民、事業所、市民団体等のネットワークを構築する	その他	特に必要なことはない	無回答
全体	1,141	39.1	34.3	43.6	19.4	15.2	6.6	11.8	7.4	25.1	8.6	3.4	5.5	3.0
性別														
男性	502	34.7	32.3	45.8	19.9	13.9	5.8	8.2	9.4	23.1	10.2	3.2	8.8	2.8
女性	629	42.6	36.1	42.1	18.8	16.2	7.2	14.8	5.9	26.9	7.3	3.7	2.9	3.2
年代別														
19歳以下	22	13.6	31.8	72.7	13.6	18.2	4.5	9.1	13.6	36.4	4.5	0.0	4.5	0.0
20歳代	174	14.9	50.0	67.8	19.5	11.5	4.6	16.1	2.9	25.3	4.6	3.4	6.9	0.0
30歳代	208	19.7	48.6	61.5	13.5	15.4	8.2	12.0	4.8	25.0	5.3	4.8	5.8	1.9
40歳代	229	41.9	34.1	46.7	21.8	16.2	9.2	13.5	4.4	24.5	7.4	3.1	5.7	3.1
50歳代	251	50.2	23.5	26.3	21.5	15.1	4.8	13.9	10.8	25.9	10.0	4.4	4.8	2.0
60歳代	142	59.2	23.2	25.4	21.1	14.1	6.3	3.5	11.3	25.4	12.0	2.8	4.2	4.2
70歳以上	110	61.8	22.7	22.7	19.1	20.0	6.4	7.3	11.8	21.8	16.4	0.9	6.4	10.9

※網掛けは最も多いもの (その他・無回答を除く)

Ⅲ. 調査票

第 19 回 八潮市市民意識調査

調査ご協力のお願い

平素から市民の皆様には、市政にご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

この調査は、より快適なまちづくりを進めていく上で、市民の皆様が日常どのようなご意見をもっておられるかを伺い、市政運営の基礎資料とさせていただきますので、この機会にぜひお考えをお聞かせください。

なお、この調査票は令和6年6月1日現在の住民基本台帳から、市内にお住まいの18歳以上の方3,000人を無作為に抽出してお送りいたしました。集計結果は公表させていただく予定ですが、無記名回答方式のため、個人に関わる情報が公表されることは決してございません。また、ご回答の内容が皆様の不利益になるようなことはありません。

お忙しいところ大変恐縮ではございますが、本調査の趣旨をご理解の上、ご協力いただきますようお願いいたします。

令和6年8月 八潮市長 大山 忍

【ご記入にあたってのお願い】

- ・郵送またはインターネットのいずれかを選択してご回答ください。両方から回答することはできません。
- ・インターネット回答の場合は、別紙の2次元コードを読み込むか、URLをご入力ください。
- ・必ず宛名のご本人がお答えください。
- ・質問は全部で39問です（人権・男女共同参画に関するアンケート8問含む）。
- ・回答時間の目安は10分程度です。

⇒郵送の場合

- この調査票に直接記入します。お答え（指示のあるもの以外）は、あてはまる回答番号に○印をお付けください。
- 記入が終わりましたら、同封の返信用封筒に入れ、切手を貼らずに8月31日（土）までに投函してください（消印有効）。調査票や封筒には、ご住所・お名前を記入する必要はありません。

◆ 本調査についてご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

八潮市 企画財政部 秘書広報課

【電 話】048-996-2111 内線 226

【E-mail】hishokoho@city.yashio.lg.jp



©八潮市

1. あなた（回答者）ご自身について

問1 あなたの性別をお尋ねします（あなたが自認している性別をお答えください）。（○は1つ）

- | | | |
|-------|-------|--------|
| 1. 男性 | 2. 女性 | 3. その他 |
|-------|-------|--------|

問2 あなたの年齢をお尋ねします。（○は1つ）

- | | | | |
|----------|---------|---------|----------|
| 1. 19歳以下 | 3. 30歳代 | 5. 50歳代 | 7. 70歳以上 |
| 2. 20歳代 | 4. 40歳代 | 6. 60歳代 | |

問3 あなたのお住まいの地区をお尋ねします。（○は1つ）

- | |
|--|
| 1. Aブロック（八条、鶴ヶ曽根、新町、小作田、松之木、伊草、伊草一～二丁目） |
| 2. Bブロック（上馬場、中馬場、中央一～四丁目、八潮一～八丁目、緑町一～五丁目） |
| 3. Cブロック（木曽根、二丁目、南川崎） |
| 4. Dブロック（伊勢野、大瀬、古新田、圀、大原、浮塚、大瀬一～六丁目、茜町一丁目） |
| 5. Eブロック（大曽根、西袋、柳之宮、南後谷） |

問4 あなたのご職業をお尋ねします。（○は1つ）

- | | | |
|-----------------|--------------|-----------|
| 1. 会社員・公務員 | 4. 農業 | 7. 家事専業 |
| 2. 会社、団体の役員 | 5. パート・アルバイト | 8. 無職 |
| 3. 自営業（商工業、医院等） | 6. 学生 | 9. その他（ ） |

問5 あなたの通勤・通学先をお尋ねします（パートタイマー等の方も含みます）。（○は1つ）

- | | |
|------------------------|----------------|
| 1. 八潮市内 | 6. 千葉県内 |
| 2. 草加市・三郷市・越谷市・吉川市・松伏町 | 7. 茨城県内 |
| 3. 「1」・「2」以外の埼玉県内 | 8. その他（ ） |
| 4. 足立区・葛飾区 | 9. 自宅 |
| 5. 「4」以外の東京都内 | 10. 通勤・通学していない |

※問5で「1」～「8」を選択された方にお聞きします。

問5-1 あなたが通勤・通学に利用している交通手段についてお尋ねします。

（あてはまるものすべてに○）

- | | | |
|--------|-------|-----------|
| 1. 徒歩 | 3. 電車 | 5. 自家用車 |
| 2. 自転車 | 4. バス | 6. その他（ ） |

問6 あなたが住んでいる住宅の家族構成をお尋ねします。（○は1つ）

- | | | |
|---------|-----------------|--------|
| 1. 単身世帯 | 3. 二世帯世帯（親と子） | 5. その他 |
| 2. 夫婦のみ | 4. 三世帯世帯（親と子と孫） | （ ） |

問7 あなたご自身を含めて同居の家族の中に 65 歳以上の方はいますか。(○は1つ)

1. いる

2. いない

問8 同居の家族の中に中学生以下の方はいますか。(○は1つ)

1. いる

2. いない

問9 あなたの住宅の形態をお尋ねします。(○は1つ)

1. 一戸建て住宅（持ち家）

5. 民間アパート・賃貸マンション

2. 一戸建て住宅（借家）

6. 社宅・会社寮

3. 公営住宅（借家）

7. その他（ ）

4. 分譲マンション

2. 定住意向、住みやすさについて

問10 あなたは、八潮市に住んでから何年になりますか。(○は1つ)

1. 1 年未満

3. 5 年～10 年未満

5. 20 年以上

2. 1 年～5 年未満

4. 10 年～20 年未満

問11 あなたが八潮市に住んだきっかけは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 生まれた時から八潮市に住んでいるため

6. 子どもの独立のため

2. 進学のため

7. 退職したため

3. 就職・転勤のため

8. 親や子と同居・近隣に住むため

4. 結婚のため

9. 住宅を購入したため

5. 出産のため

10. その他（ ）

問12 あなたが八潮市に住んでいる理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 生まれた時から八潮市に住んでいるため

5. 子育て・教育環境が良いため

2. 住環境が良いため

6. 介護のため

3. 通勤・通学に便利なため

7. その他（ ）

4. 買い物に便利なため

Ⅲ. 調査票

問 13 あなたは、八潮市に引き続き住みたいですか。(○は1つ)

1. ずっと住み続けたい

2. 当分の間は住み続けたい

3. 引っ越したい

4. わからない ⇒ 問 14 へ

問 13-1 その理由は次のうちどれですか。(あてはまるものすべてに○)

※問 13 で「1」または「2」を選択された方

1. 通勤・通学の便が良い
2. 働くところがある(近い)
3. 買い物の便が良い
4. 近所との人間関係が良い
5. 住みなれていて愛着を感じる
6. 交通の便が良い
7. 公共施設が整っている
8. 居住環境が整っている
9. 子育て・教育環境が整っている
10. 医療体制が整っている
11. 治安が良い
12. 自然環境が良い
13. 災害の心配が少ない
14. その他 ()

※問 13 で「3」を選択された方

1. 通勤・通学の便が悪い
2. 働くところがない(遠い)
3. 買い物の便が悪い
4. 近所との人間関係が悪い
5. 住みなれず愛着を感じない
6. 交通の便が悪い
7. 公共施設が整っていない
8. 居住環境が整っていない
9. 子育て・教育環境が整っていない
10. 医療体制が整っていない
11. 治安が悪い
12. 自然環境が良くない
13. 災害の心配がある
14. その他 ()

3. 市からの情報について

問 14 あなたは、市からの情報をどのように得ていますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---------------------------|--------------------|
| 1. 広報紙 | 7. 公共施設にあるポスターやチラシ |
| 2. 市ホームページ | 8. 関係機関に直接問い合わせる |
| 3. 840 メール配信サービス | 9. 町会・自治会の回覧、掲示板 |
| 4. 市公式 X (エックス) | 10. 知人に聞く |
| 5. 市公式 Facebook (フェイスブック) | 11. その他 () |
| 6. アプリ(子育てやゴミ情報) | |

問 15 市から発信してほしい情報は何か。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------|----------------------|
| 1. 健康・医療・福祉 | 5. くらし(手続き、申請、補助金など) |
| 2. 防災・防犯 | 6. 市政情報(政策や財政情報など) |
| 3. 観光・イベント | 7. その他 () |
| 4. 子育て・教育 | |

問 16 あなたが普段利用している SNS（ソーシャルネットワーキングサービス）を教えてください。

（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|-----------------------|--------------------|
| 1. X（エックス） | 5. YouTube（ユーチューブ） |
| 2. Facebook（フェイスブック） | 6. TikTok（ティックトック） |
| 3. LINE（ライン） | 7. その他（ ） |
| 4. Instagram（インスタグラム） | 8. 利用していない |

問 17 今後、どのような手段で市からの情報を入手したいですか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|-----------------------|--------------------|
| 1. 広報紙 | 8. YouTube（ユーチューブ） |
| 2. 市ホームページ | 9. TikTok（ティックトック） |
| 3. メール | 10. 新聞 |
| 4. X（エックス） | 11. 情報発信アプリ |
| 5. Facebook（フェイスブック） | 12. 動画配信・電子掲示板 |
| 6. LINE（ライン） | 13. その他（ ） |
| 7. Instagram（インスタグラム） | |

問 18 あなたは、「広報やしお」（電子版を含む）をどの程度読みますか。（○は1つ）

- | | | |
|--------------|-------------------|------------------------|
| 1. よく読んでいる | 問 18－1 から問 18－2 へ | 3. まったく読まない ⇒ 問 18－3 へ |
| 2. ときどき読んでいる | | |

※問 18 で「1」または「2」を選択された方にお聞きます。

→ 問 18－1 「広報やしお」は、毎月1回12ページを基本に発行しています。

紙面についてお答えください。あてはまる番号それぞれ1つに○印をお付けください。

① 記事の分かりやすさ	1. 大変分かりやすい	2. 分かりやすい	3. 分かりにくい (理由:)
② 紙面のレイアウト	1. 大変良い	2. 良い	3. 改善すべきである (理由:)
③ 文字の大きさ	1. 適当である	2. 大きい (理由:)	3. 小さい
④ ページ数 (12 ページ)	1. 適当である	2. 多い (理由:)	3. 少ない
⑤ 広報紙のサイズ (タブロイド判)	1. 適当である	2. 大きい (理由:)	3. 小さい

→ 問 18－2 あなたは、「広報やしお」をどのような方法で入手していますか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|------------|-----------------------------|
| 1. 新聞折り込み | 6. 金融機関・郵便局 |
| 2. 公共施設 | 7. スーパー・コンビニエンスストア・商店 |
| 3. 高齢者福祉施設 | 8. 電子データ（市ホームページや民間のウェブサイト） |
| 4. 医療機関 | 9. その他（ ） |
| 5. 駅・バス停 | |

Ⅲ. 調査票

※問 18 で「3」を選択された方にお聞きします。

問 18-3 その理由は次のうちどれですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------------------------|-------------|
| 1. 新聞を購読していない | 4. 必要な情報がない |
| 2. 公共施設など広報紙を設置しているところが近くにない | 5. その他 |
| 3. インターネットなど他の手段で情報を取得している | () |

問 19 現在「広報やしお」は新聞折り込みで配布のほか、公共施設、医療機関、駅、スーパー、コンビニエンスストアなどに配架しています。今後はどのような方法がよいと思いますか。(○は1つ)

- | | |
|--------------------|-----------------|
| 1. 現状のままでよい | 4. 配架場所を増やしてほしい |
| 2. デジタル配信に力を入れてほしい | 5. その他 () |
| 3. 全戸配布してほしい | |

問 20 あなたは八潮市の公式ホームページをどれぐらいの頻度でご覧になりますか。(○は1つ)

- | | | |
|-------------|-------------|-------------------|
| 1. 週に3回以上 | 3. 月に1～2回程度 | 5. 利用しない ⇒ 問 21 へ |
| 2. 週に1～2回程度 | 4. 年に数回程度 | |

※問 20 で「1」・「2」・「3」・「4」を選択された方にお聞きします。

→ 問 20-1 市ホームページについてお答えください。あてはまる番号それぞれ1つに○印をお付けください。

① デザイン	1. 大変良い	2. 良い	3. 変えたほうが良い (理由:)
② 使いやすさ (操作性)	1. 大変使いやすい	2. 使いやすい	3. 使いにくい (理由:)
③ 写真やイラスト	1. 大変良い	2. 良い	3. 変えたほうが良い (理由:)
④ 情報の見つけやすさ (分類方法)	1. 大変見つけやすい	2. 見つけやすい	3. 見つけにくい (理由:)

問 21 八潮市が市内外に誇れる魅力は何だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---------------------|----------------|
| 1. 道路や交通の便が良い | 5. 買い物の便が良い |
| 2. 自然が豊かである | 6. 有名企業がある |
| 3. おまつりやイベントが充実している | 7. 地域の人優しい・温かい |
| 4. さまざまな名産品がある | 8. その他 () |

問 22 八潮市の魅力をさらに市内外の方に PR するにはどのような方法が効果的だと思いますか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------------|------------------------------|
| 1. 広報紙を充実する | 6. ハッピーこまちゃんなどを活用した PR を充実する |
| 2. ホームページを充実する | 7. インフルエンサーを活用する |
| 3. 動画配信を活用する | 8. 有名人に市のイベントなどに参加してもらう |
| 4. SNS を活用する | 9. その他 () |
| 5. メディアに取り上げてもらう | |

4. 市政に対する評価と今後への期待

問 23 以下の 23 項目について、満足度をお答えください。

回答例にならって、これまで進めてきた施策の「満足度」について、今のお気持ちに最も近い番号を 1 つ ずつ選んで 回答欄に○印をお付けください。

項目		満足	やや満足	どちらとも いえない	やや不満	不満
→横に回答						
【回答例】〇〇の推進		①	2	3	4	5
1	生涯学習の推進	1	2	3	4	5
2	学校教育の充実	1	2	3	4	5
3	青少年育成・社会教育の推進	1	2	3	4	5
4	人権・平和教育の推進	1	2	3	4	5
5	地域コミュニティ活動の推進	1	2	3	4	5
6	市民文化活動の推進	1	2	3	4	5
7	健康・保健サービスの充実	1	2	3	4	5
8	医療体制・制度の充実	1	2	3	4	5
9	スポーツ・レクリエーション活動の推進	1	2	3	4	5
10	高齢者福祉・介護サービスの充実	1	2	3	4	5
11	障がい者（児）福祉の推進	1	2	3	4	5
12	子育て環境の充実	1	2	3	4	5
13	防災・減災体制の強化	1	2	3	4	5
14	防犯対策の充実	1	2	3	4	5
15	交通安全対策の推進	1	2	3	4	5
16	観光の振興	1	2	3	4	5
17	道路の整備	1	2	3	4	5
18	公共交通機関	1	2	3	4	5
19	公園・緑地の整備	1	2	3	4	5
20	治水・下水道の整備	1	2	3	4	5
21	住宅・住環境の整備	1	2	3	4	5
22	環境保全・衛生の推進	1	2	3	4	5
23	公共施設等の整備	1	2	3	4	5

Ⅲ. 調査票

問 24 問 23 の表中の 23 項目で、特に力を入れてほしい施策を3 つまで選び、回答欄にその番号を記入してください。また、上記以外の項目で、力を入れてほしい施策があれば、その他の回答欄にご記入ください。

<回答例>

7	12	15
---	----	----

回答欄

--	--	--

その他（具体的に： _____ ）

問 25 市内ではさまざまな地域活動（防災・防犯対策、清掃活動など）が行われていますが、それらが町会・自治会の活動であることを知っていますか。（○は1 つ）

1. 知っている	2. 知らない
----------	---------

問 26 あなたは、町会・自治会、NPO、ボランティア等（文化・スポーツ活動等も含む）の地域活動にどの程度参加していますか。（○は1 つ）

1. 積極的に参加している 2. ときどき参加している	問 27 へ	3. あまり参加したことがない 4. 参加したことがない	問 26-1 へ
--------------------------------	--------	---------------------------------	----------

※問 26 で「3」または「4」を選択された方にお聞きます。

問 26-1 その理由は次のうちどれですか。（○は1 つ）

1. 活動に関心がない 2. 活動するきっかけがない 3. 活動がわずらわしい 4. 活動に参加する時間がない	5. 活動についての情報がない 6. どこに問い合わせれば良いかわからない 7. その他（ _____ ）
--	---

5. 多文化共生について

「多文化共生」とは

国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的ちがいを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていくことです。本市では、令和3年3月に「多文化共生推進プラン」を策定し、外国人市民と日本人市民が、よりよい関係を築き支え合うまちづくりを進めています。

問 27 あなたは、多文化共生の推進についてどう思いますか。（○は1 つ）

1. 重要だと思う 2. どちらかといえば重要だと思う 3. どちらとも言えない	4. あまり重要だと思わない 5. 重要だと思わない
--	-------------------------------

問 28 あなたは、地域社会に外国人市民が増えることで、どのような効果や影響があると思いますか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 外国についての興味・関心が高まる
2. 外国のことばや文化・生活習慣に触れる機会が増える
3. 外国人市民の友人をつくる機会が増える
4. 新たな文化や交流が生まれ、地域の活性化につながる
5. 多様性が豊かな社会になる
6. 文化や習慣等の違いからトラブルが増えるおそれがある
7. 住環境や治安が悪くなるおそれがある
8. 影響はない
9. その他 ()

6. 各家庭での防災対策について

問 29 あなたは、家庭でどのような防災対策をとっていますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------|----------------|
| 1. 家具・家電の転倒防止 | 5. 避難場所・避難所の確認 |
| 2. 水や食糧の備蓄 | 6. 想定浸水深の確認 |
| 3. 簡易トイレや携帯トイレの備蓄 | 7. ハザードマップの確認 |
| 4. 避難情報取得手段の確認 | 8. その他 () |

問 30 災害が発生した際、あなたはご近所の方にどのような支援（手助け）ができると思いますか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------------|-------------|
| 1. 「大丈夫ですか」などの声かけ | 6. 家庭内備蓄の提供 |
| 2. 災害状況や避難情報などの伝達 | 7. 支援できない |
| 3. 避難の手助け、避難所等への誘導 | 8. わからない |
| 4. 人命救助の支援 | 9. その他 () |
| 5. 応急手当や介助 | |

7. その他

問 31 市政等にご意見、ご要望がありましたら自由にご記入ください。

問 36 あなたは、以下の1～8の場において、男女の地位が平等になっていると思いますか。あてはまる番号
それぞれ1つに○印をお付けください。

→横に回答		優 男 遇 性 さ 方 れ が て り い	優 男 遇 性 さ 方 れ が て り い	ど ち ら か と い え ば	平 等 に な っ て い る	優 女 遇 性 さ 方 れ が て り い	ど ち ら か と い え ば	優 女 遇 性 さ 方 れ が て り い	わ か ら な い
【回答例】〇〇で		①	2	3	4	5	6		
1	家庭生活で	1	2	3	4	5	6		
2	学校教育の場で	1	2	3	4	5	6		
3	職場の中で	1	2	3	4	5	6		
4	地域社会で	1	2	3	4	5	6		
5	政治の場で	1	2	3	4	5	6		
6	社会通念・慣習・しきたり等で	1	2	3	4	5	6		
7	法律や制度で	1	2	3	4	5	6		
8	社会全体で	1	2	3	4	5	6		

問 37 性別にとらわれず多様な生き方を選択するためにさらに充実を求めるのはどのような環境ですか。

(○は1つ)

1. 仕事と家庭を両立するための環境	4. 介護を行う環境
2. 結婚、出産後の女性が再就職するための環境	5. その他
3. 子育てを行う環境	()

問 38 年々増加する配偶者等からの暴力（DV）の防止及び被害者支援のために特に重要だと思うものはどのようなことですか。(○は1つ)

1. 広報紙、ホームページ、ポスターなどを用いた DV に関する知識の幅広い周知・啓発
2. 若年者を対象としたデート DV（婚姻関係にない男女間での DV）に関する知識の理解促進
3. DV 相談窓口情報の周知
4. DV 被害者に対する相談体制の充実
5. DV 被害者の自立のための支援（経済的・精神的）
6. その他 ()

Ⅲ. 調査票

問 39 男女共同参画推進のために本市に力を入れてほしいことは何ですか。(○は3つまで)

1. 介護制度の充実
2. 保育所、学童保育施設の充実
3. 子育て家庭への支援の充実
4. 各種相談（DV 相談、女性相談等）や男女の生き方に関する情報提供の充実
5. 政策、方針決定の場に女性を積極的に登用する
6. 各種団体などの女性リーダーを育成する
7. 女性の起業や就業支援の充実
8. 男女共同参画の意識向上のために情報紙等で周知する
9. 教育の場において、男女平等と相互理解についての学習を充実させる
10. 男女共同参画を推進する市民、事業所、市民団体等のネットワークを構築する
11. その他（)
12. 特に必要なことはない

以上で調査は終了です。ご協力ありがとうございました。

◆調査票は8月31日（土）までに返信用封筒に入れて、切手を貼らずにご投函ください。

第 19 回 八潮市市民意識調査報告書

編集・発行：八潮市役所 企画財政部 秘書広報課
〒340-8588 埼玉県八潮市中央一丁目 2 番地 1
電話：048-996-2111（代表） 内線 226
